

Evidentiary Doc. # 2293

2

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

Doc. No. 2287 to 2294 inclusive

28 June 1946

ANALYSIS OF DOCUMENTARY EVIDENCE

DESCRIPTION OF ATTACHED DOCUMENT

Title and Nature: Manchuria Year Book, 1933, 1936, 1937, 1938, 1939, 1940; Japan-Manchukuo-China Industrial Year Book, 1939, 1940

Date: as above Original Copy Language: Japanese

Has it been translated? Yes No

Has it been photostated? Yes No

LOCATION OF ORIGINAL

Document Division

SOURCE OF ORIGINAL: East Asia Research Institute

PERSONS IMPLICATED:

CRIMES TO WHICH DOCUMENT APPLICABLE: Economic Aggression in Manchuria

SUMMARY OF RELEVANT POINTS

Manchurian Yearbook contains information on the following: Manchurian history, geography, politics, finance, defence, commerce, social organization, etc., and a list of banks and companies with their capitals. The books are published by the MANSHU-NICHI-NICHI-Press in DAIREN.

Japan-Manchukuo-China Industrial Yearbook (for dates see above) is published by the Japan-Manchukuo Industrial Press in OSAKA. Contains articles on the industrial world of the three countries, laws of the three nations pertaining to economy and finance, industrial statistics and tables, etc.

Copies of these documents can be obtained in the Document Division by asking for the following document numbers for corresponding years:

Doc. Nos. 2287 to 2294 incl
Page 1

Doc. Nos. 2287 to 2294 incl - Page 2 - SUMMARY Cont'd

Doc. No. 2287	Manchurian Yearbook	1933
Doc. No. 2288	" "	1936
Doc. No. 2289	" "	1937
Doc. No. 2290	" "	1938
Doc. No. 2291	" "	1939
Doc. No. 2292	" "	1940
Doc. No. 2293	G.M.C. Industrial Yearbook	1939
Doc. No. 2294	" " "	1940

Analyst: Lt Wilds

Doc. Nos. 2287 to 2294 incl
Page 2

1939 - J.M.C Ind. Yr. Book

昭和十四年版

2293 4873 6

日滿支工業年鑑

附 日滿支經濟懇談會記錄



2599



日滿工業新聞社

32600

5810044B

Book 32

2293



南滿洲鐵道株式會社

Proj. No.	556
S. A. No.	10044E
Book No.	32
Item No.	16

#2293

“NIH”

最大の工場. 最高の技術. 最優の製品

不二越鋼材工業株式会社

營業品目

各種切削工具類	精密工具全般
各種ゲージ全般	ゲージプロッタ
マイクロメーター	航空機部分品
治具全般	磨練ピアノ線
特殊鋼	鍛工品

本社

富山市石金二〇番地

富山郵便局私書箱第三十三號

電話 4038・4138・4139・2454 電略 フニ又ハフジコシ

東京事務所

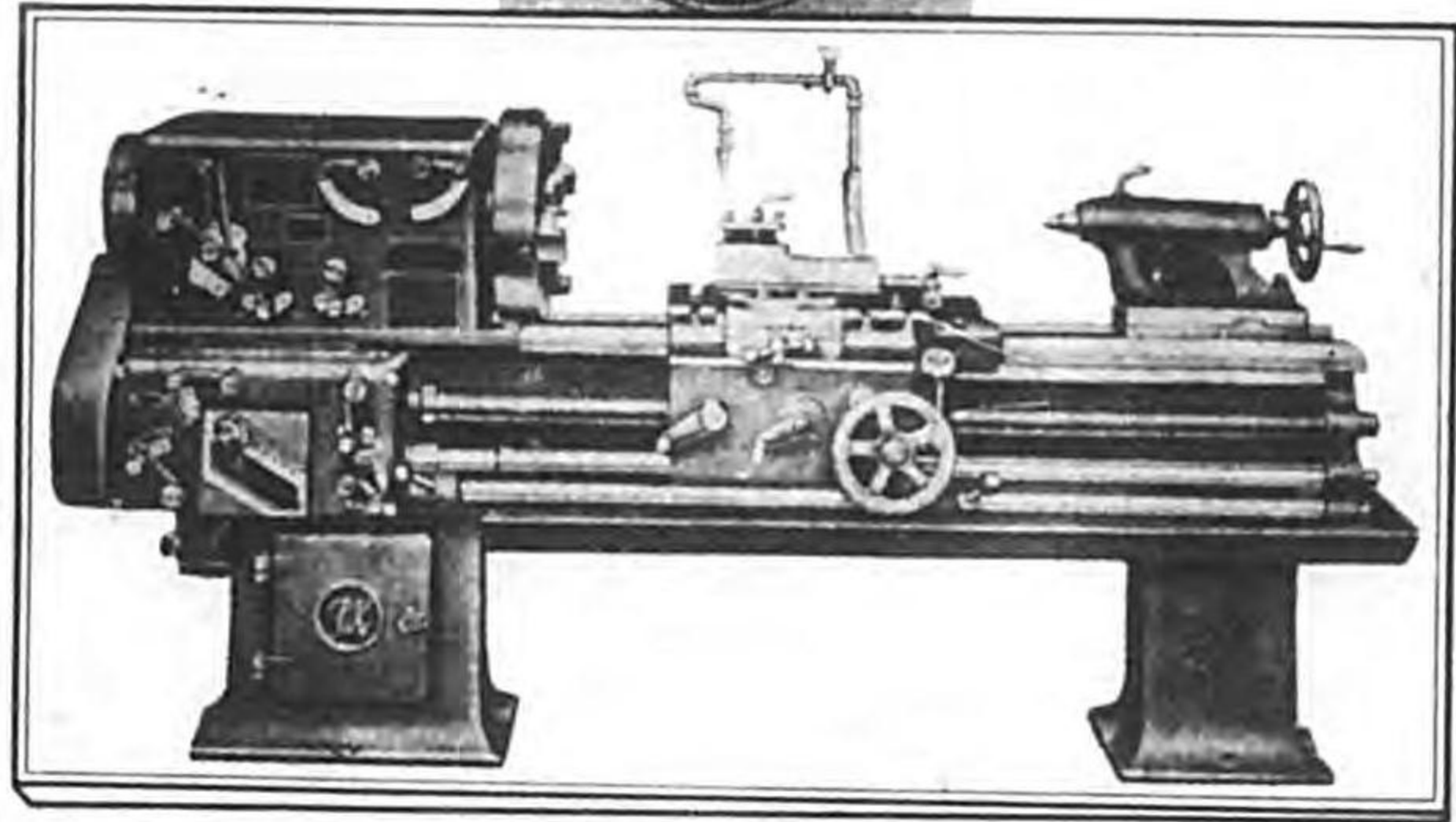
東京市京橋區銀座西三丁目一(キクマサビル) 電話 京橋 236・2528番

營業所及出張所

大阪營業所	大阪市西區新町通三丁目六番地	電話 新町 四五三六番
名古屋出張所	名古屋市熱田區熱田東町高藏四七	電話 南 四五九五番
小倉出張所	小倉市船場町七二ノ二	電話 八一一番
大連出張所	大連市初音町二九〇	電話 一五三五番

P
249

高級精密旋盤



F.&K. ENGINEERING CO.

日獨機械製作所

大森區馬込町東二丁目八九三・電話 大森 (06) 69779. 6375番

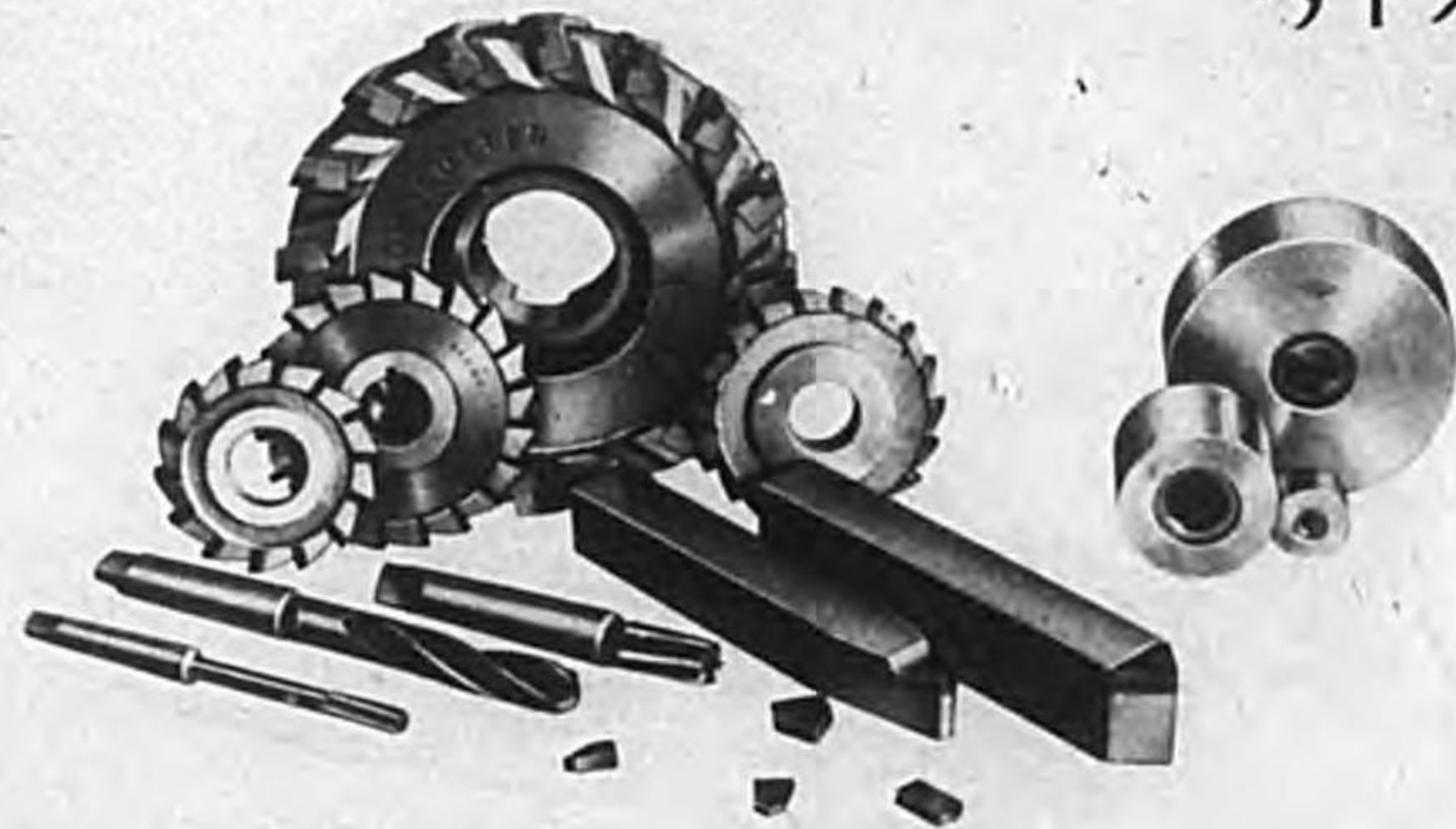
超硬質合金工具

タンガロイ

チップ・バイト・カッター・ドリル

ダイヤロイ

ダイス



タンガロイ D&T	鋳物鋼非金屬 其ノ他一般	タンガロイ SC	チルドロール 硬質鋳物用
タンガロイ SB	一般鋼・鋳物用	タンガロイ TX&GX	鋼専用



芝浦マツダ工業株式会社

川崎市 特殊合金工具製作所

特

一

登録

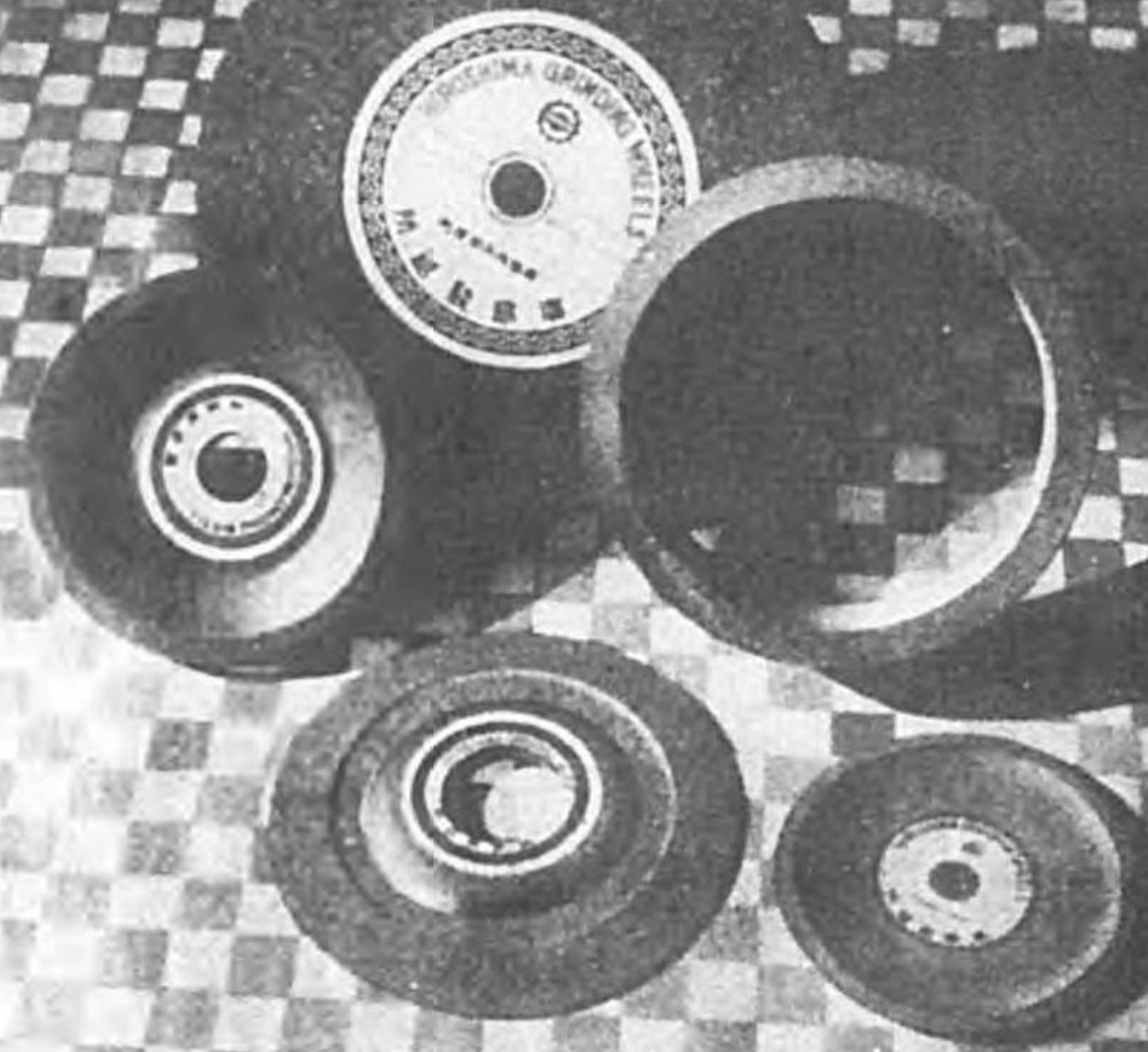


商標

陸海軍・鐵道省指定工場

廣島製砥所

廣島市南蟹屋町七八七番地



東京營業所 東京市京橋區權町二ノ七 電話京橋2771番
 大阪營業所 大阪市西區西長堀北通五ノ六 電話新町505番
 名古屋營業所 名古屋市中區橋通三ノ九 電話南115番



ダイヤデ、イ、ム、イ、ト

陸海軍省指定工場
大阪電気株式会社

本社及工場 大阪住吉區北加賀屋町
 支社及營業所 東京・大阪・名古屋・小倉・金澤・奉天

特
三



大電熔接機



大電HBL-1F特許型
 空氣壓式電氣フラッシュ銜合熔接機

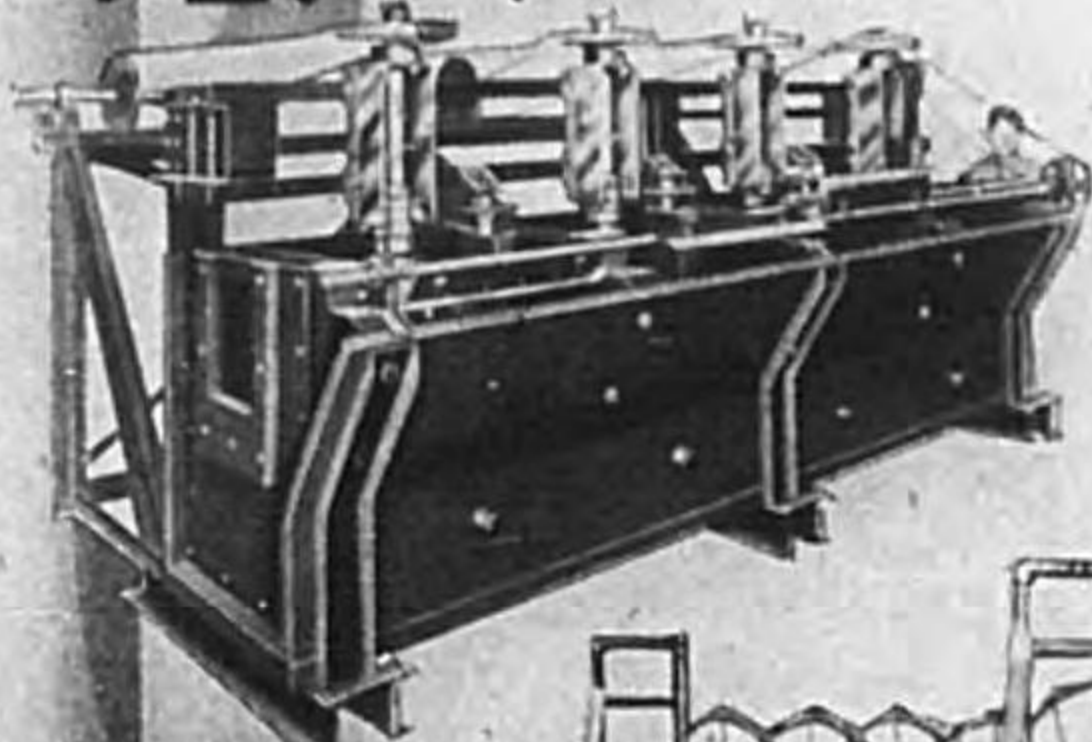
陸海軍省指定工場
大阪電気株式会社

本社及工場 大阪住吉區北加賀屋町
 支社及營業所 東京・大阪・名古屋・小倉・金澤・奉天

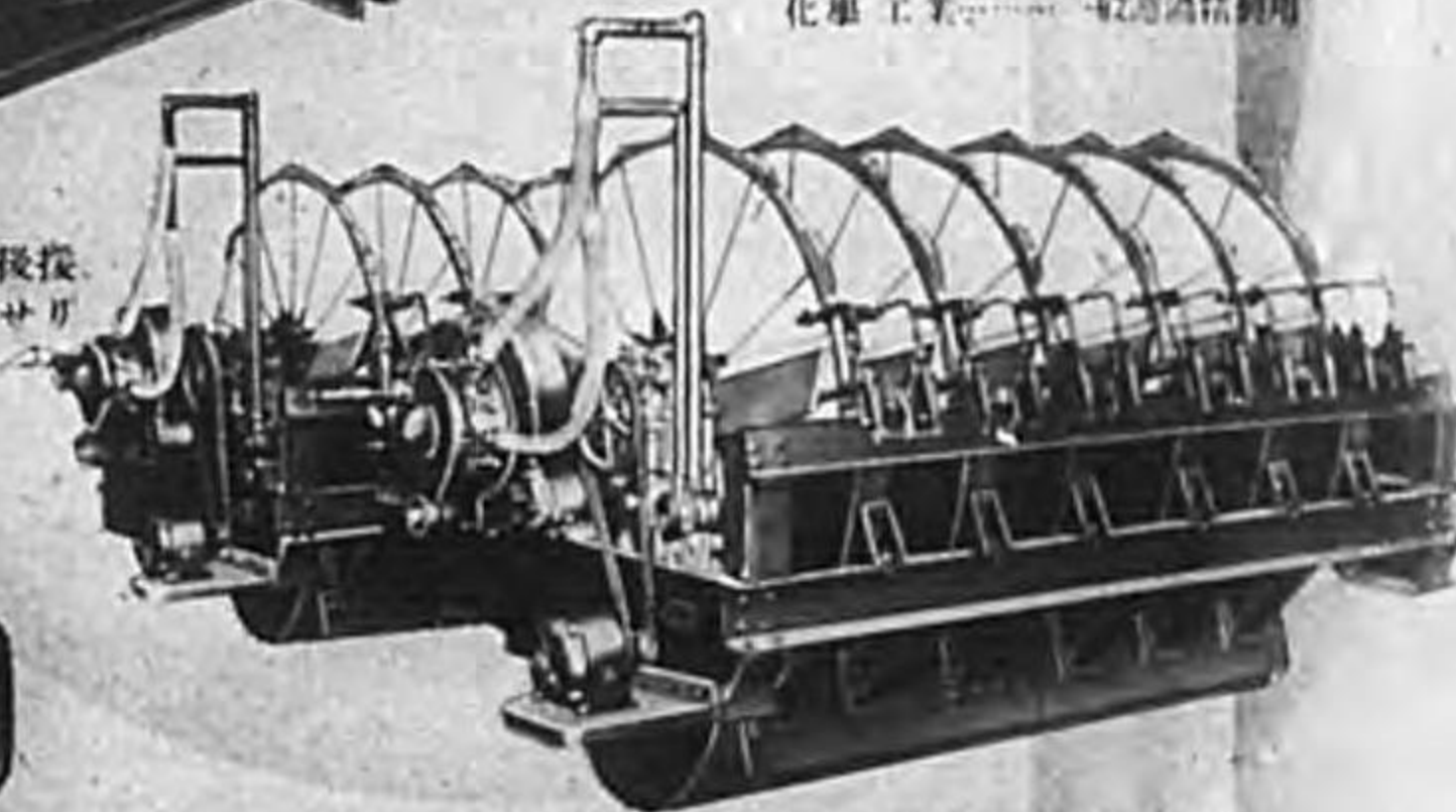
特
二

専売特許

マエダ フ井ルター フロッター



多年經驗を有する權威者の授換
に因りフロッターを製作せり



徑8呎8吋 盤數6 通過面積600平方呎

特長

1. ノミスター及びフロッター専門製作工場なる事
2. 数百年の製作經驗を有する事
3. 經驗ある技術者が常に檢査し居る事
4. 製作に當りては化學的・物理的・機械的試驗をなし而して機械の性能を保證する事
5. 顧客の試飲機には専任技師を派遣し操作其他を指導する事

用途

- 銅山………洗 銅 用
- 金山………全 鋼 精 鍊 用
- 炭 礦………炭 粉 炭 水 洗 用
- 油 質………精 製 用
- 化學工業………42 過濾精製用



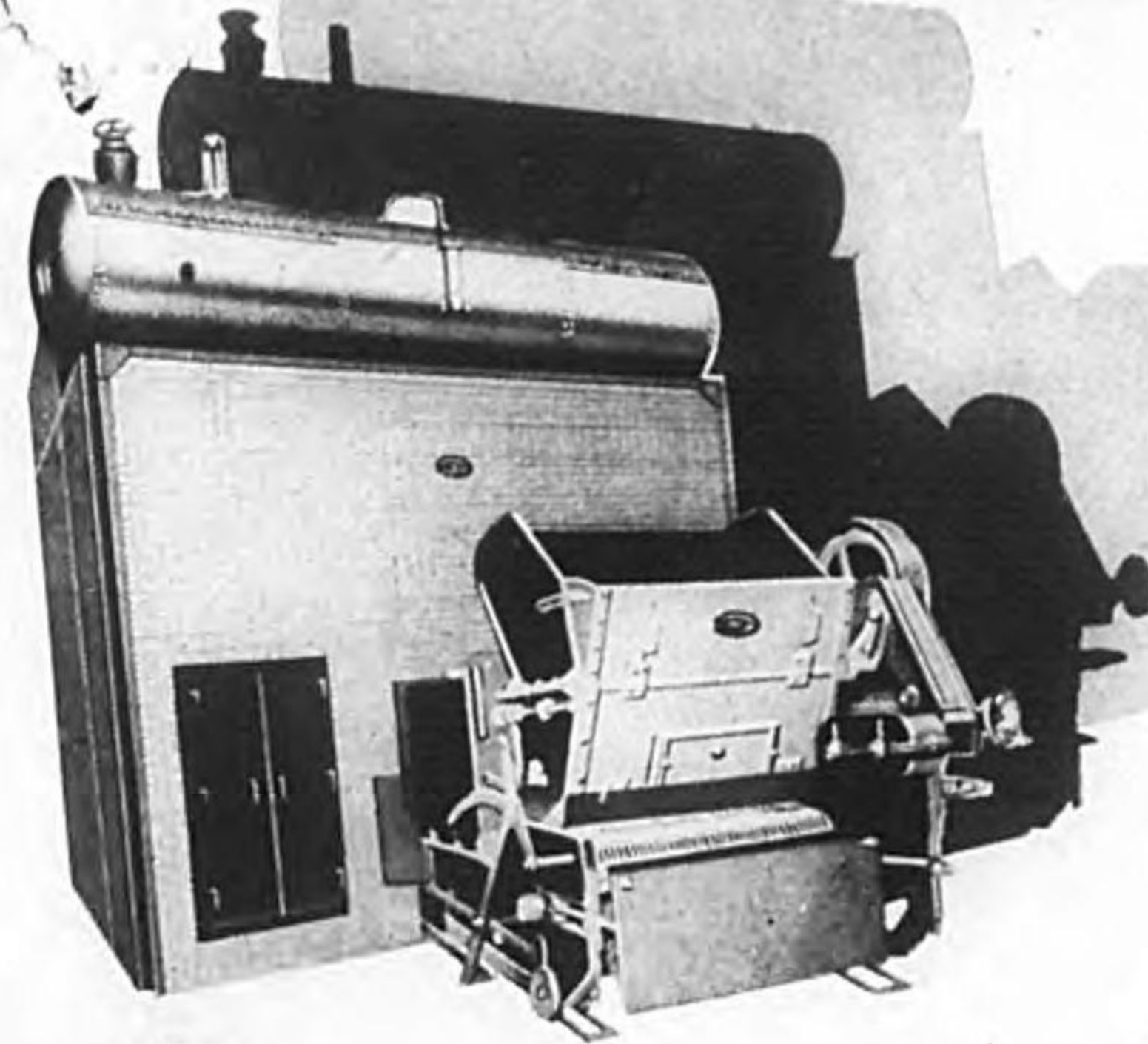
前田化学機械株式會社

社長 前田 悅 藏

大阪市西區立賣堀北通一丁目
電話新町②二四・二五・四五五・專一八七・六六〇四
出張所 東京・大連・研究所 甲子園・工場 大阪・東京

特
七

AK水管式汽罐



特許出願番號 第8276號
實用新案出願公告第14946號

型
錄
進
呈

日本汽罐製造株式會社

本社 東京市日本橋區馬喰町四丁目一番地
電話浪花⑥0663・0993番
工場 東京市深川區毛利町二番地
電話本所⑦3803・3903・5836番

特
六

オットセイ印

ベルトレシング

機械金物店
ベルト店にて 御買求ヲ乞フ。



株式会社 東洋綴金具製作所

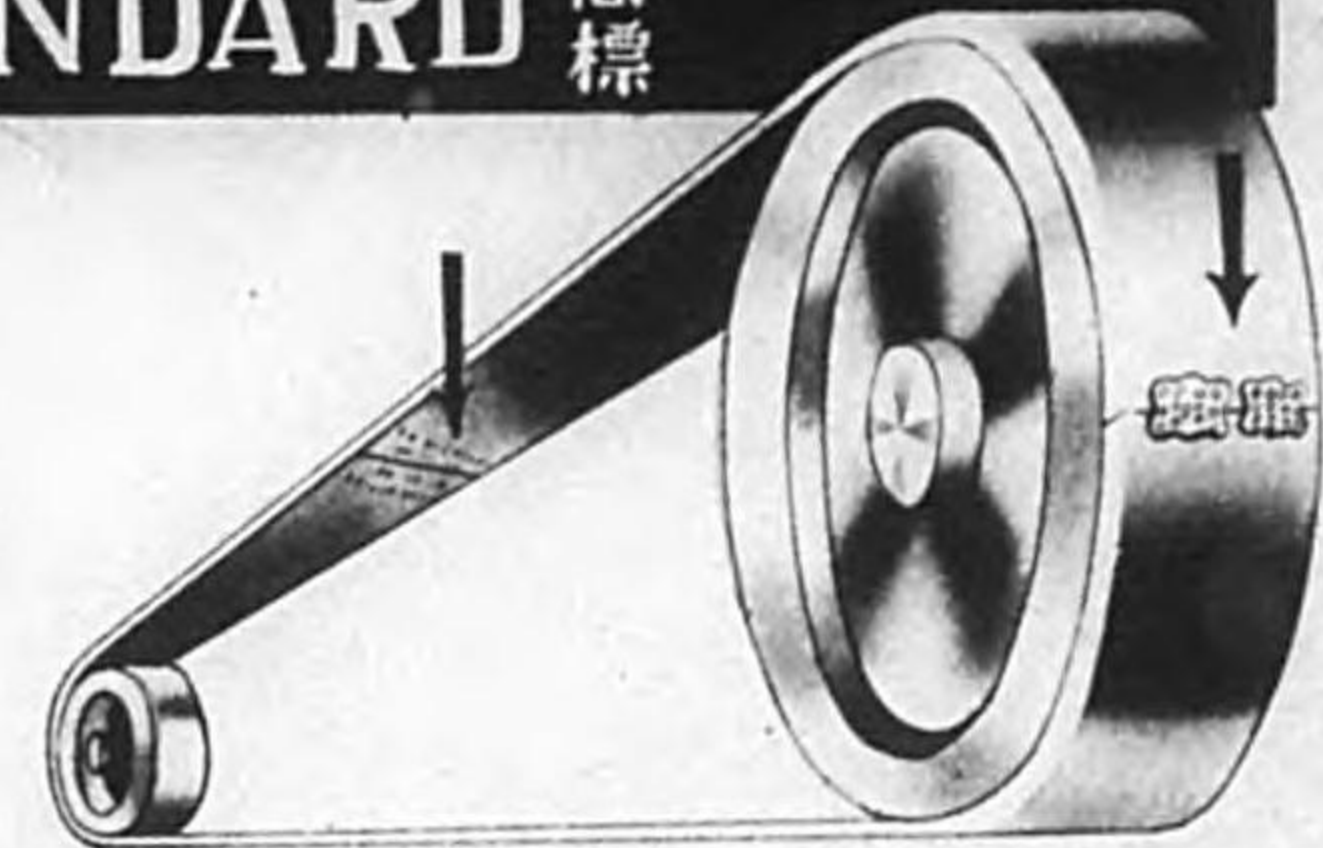
販賣所 大阪市西区立賣堀北通四丁目
電話新町1297・2084番

特
九

實用新案登録

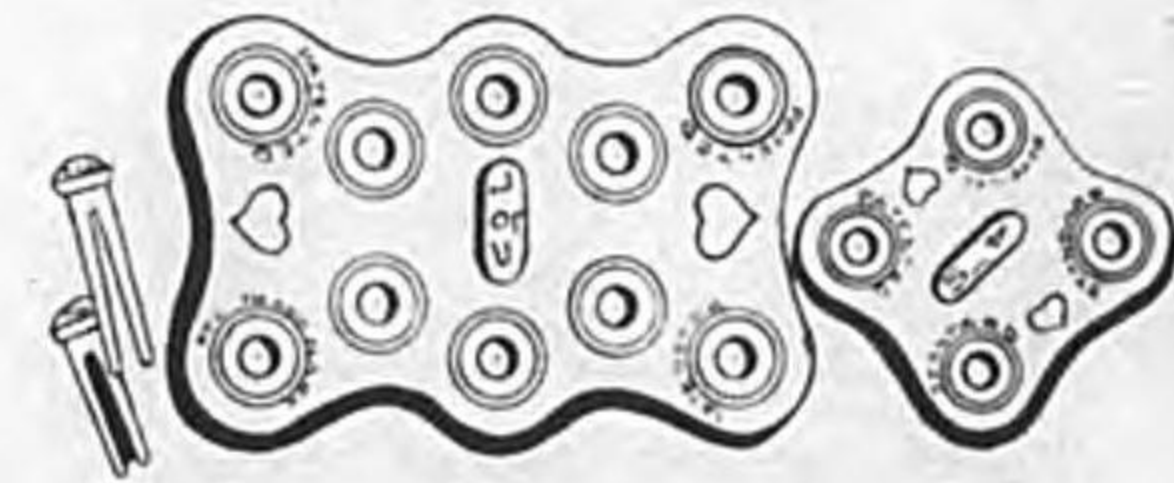
スタンダード・ベルト綴金具

登録 STANDARD 商標



推奨!!!

貴工場の危害豫防と利益の爲め特に……。



スタンダードベルト、綴金具は全国機械金物店ベルト店に販賣
(型録は下記へ御申込下さい)

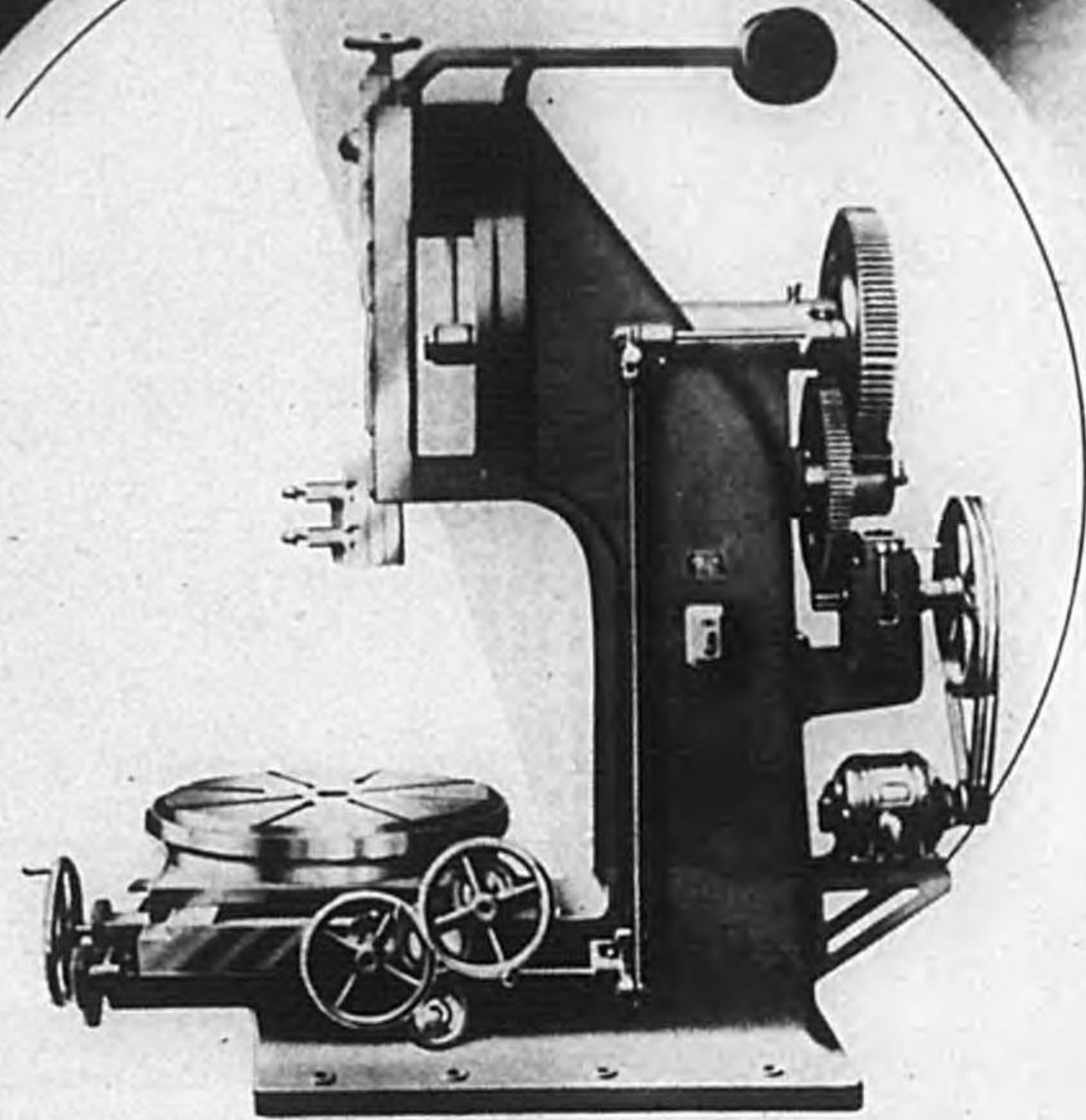
安べ理
全ル想
!!!綴的
金具

ユニオン調帯綴金具製造所

大阪市西区立賣堀北通四丁目二〇
電話新町①一二九七・二〇八四番

特
八

スロッター-専門



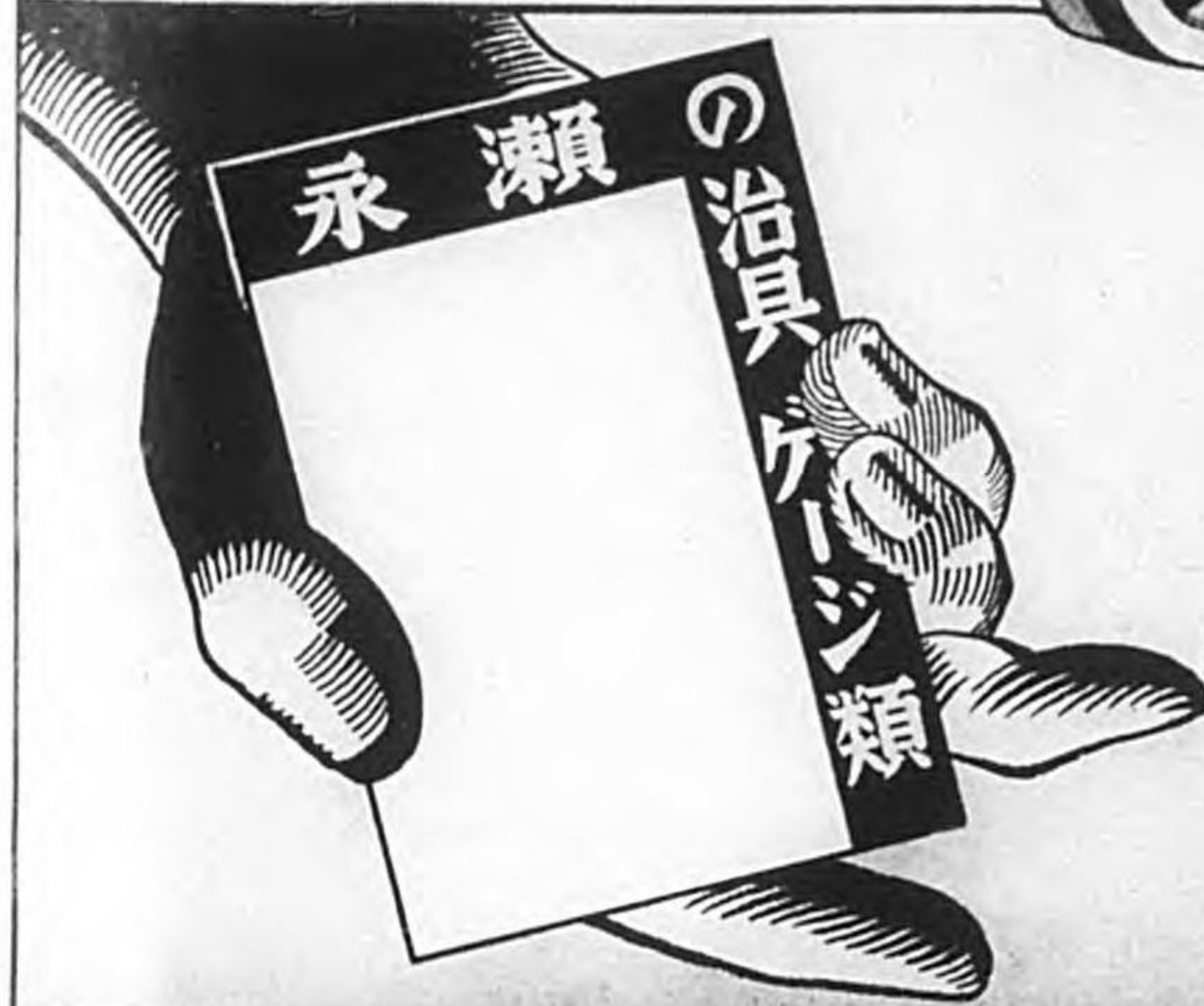
塚原鐵工所

營業所 大阪市港區市岡元町一ノ四 (市岡元町二電停前)
 電話西④四八四三・五三三三番
 第一工場 大阪市港區繁榮町一丁目
 第二工場 大阪市港區南境川町二丁目

特
一
一

營業品目

鉱山船舶用諸機械・旋盤・壓搾機
 高級鑄鉄直管及異型管・制水弁・共用栓
 水道瓦斯鉱山電話用鑄鉄直管・異型管
 消火栓・安全弁・排氣弁・給水栓
 製罐用鑄型・製罐用定盤・瓦斯清淨器
 チルドロール・チルド車輪・特殊高級鑄物
 珪素銅合金鑄物・耐酸鑄物
 挾範工場増設・治具ゲージ類製作



永瀨鐵工所

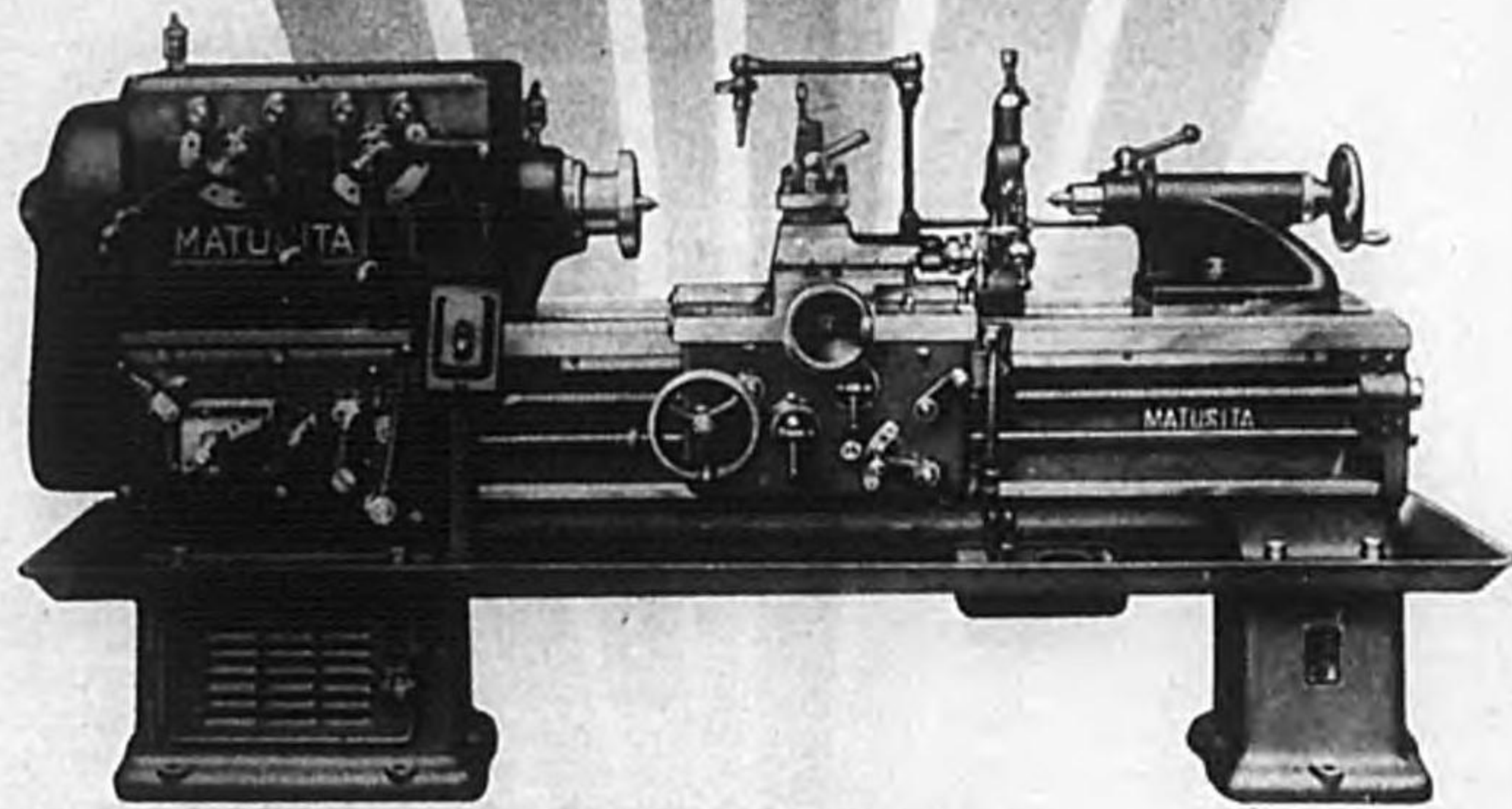
所主 永瀨寅吉

埼玉縣川口市本町一丁目二五〇番地
 電話川口二〇二二・二〇三一番 住宅用二〇〇二番
 川口郵便局私書函第三七號

特
一
〇

松下の工作機

B型六呎



松下金属株式会社

大阪府北河内郡三郷町
電話堀川 4790・5365

特
一
三

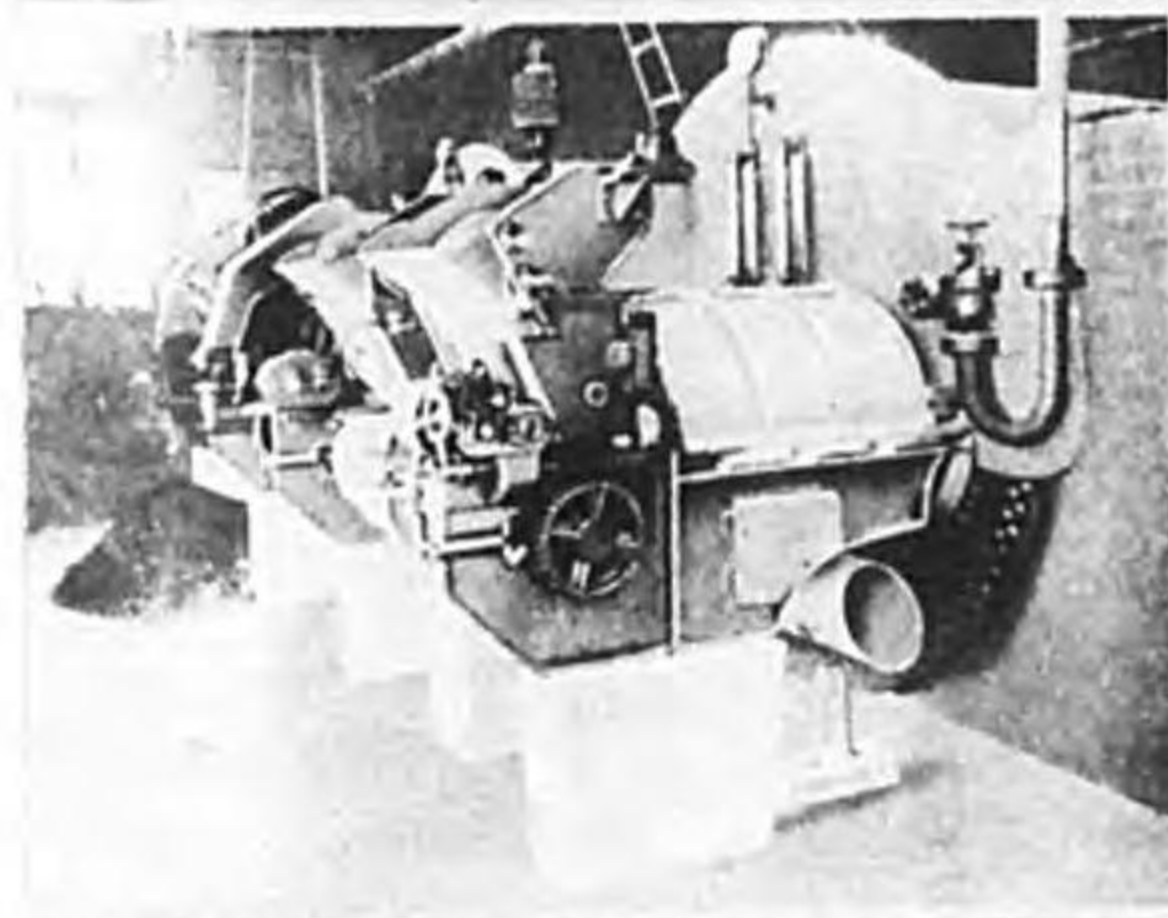
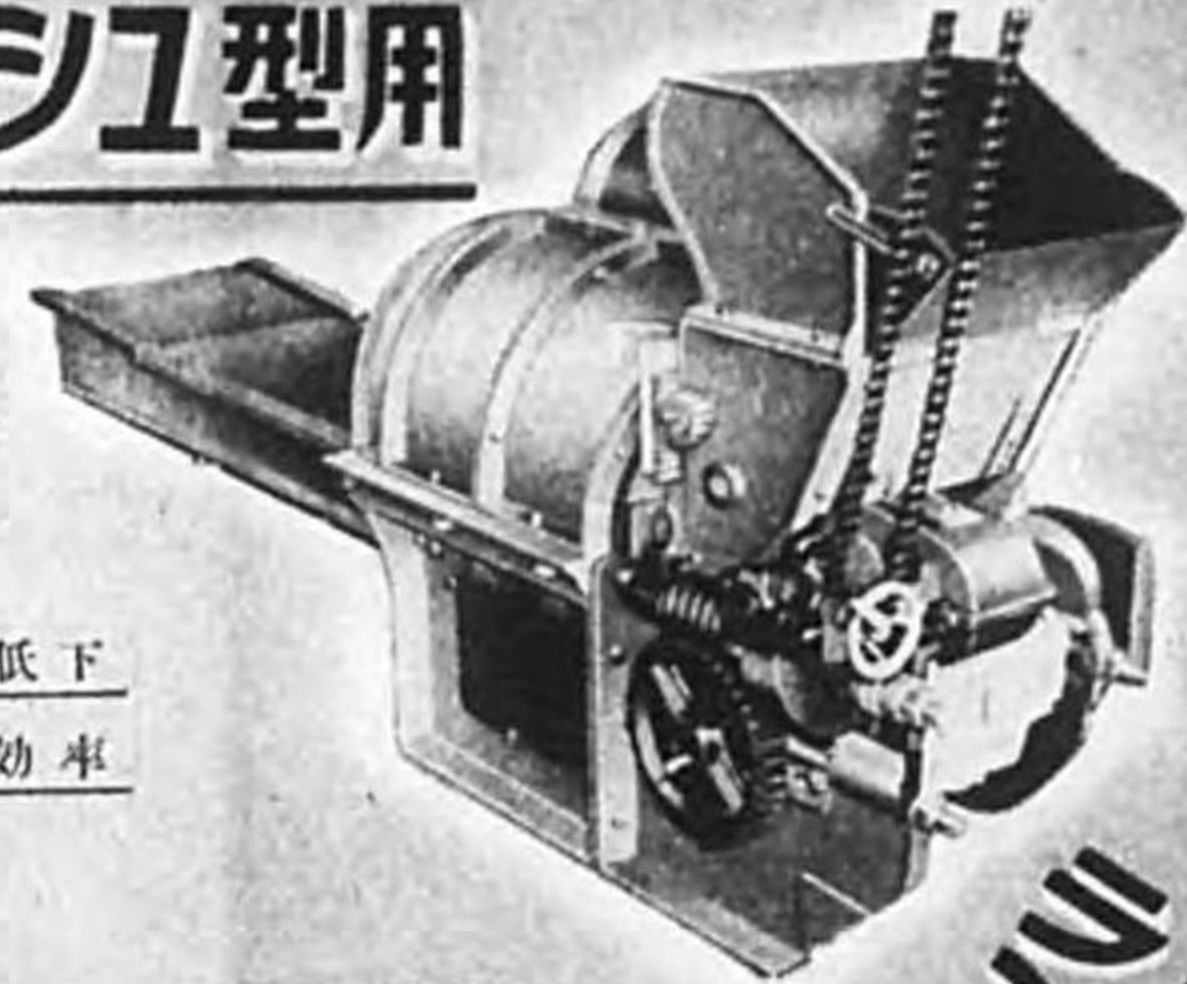
特許 A.K. チェン・グレート・ストーカ

七十年来世界待望の連鎖給炭機

コルニツシユ型用

節炭率三〇パーセント
煤極絶體〇度

生産コストの低下
水管式と同効率



コルニツシユ型用

日本給炭機製作所

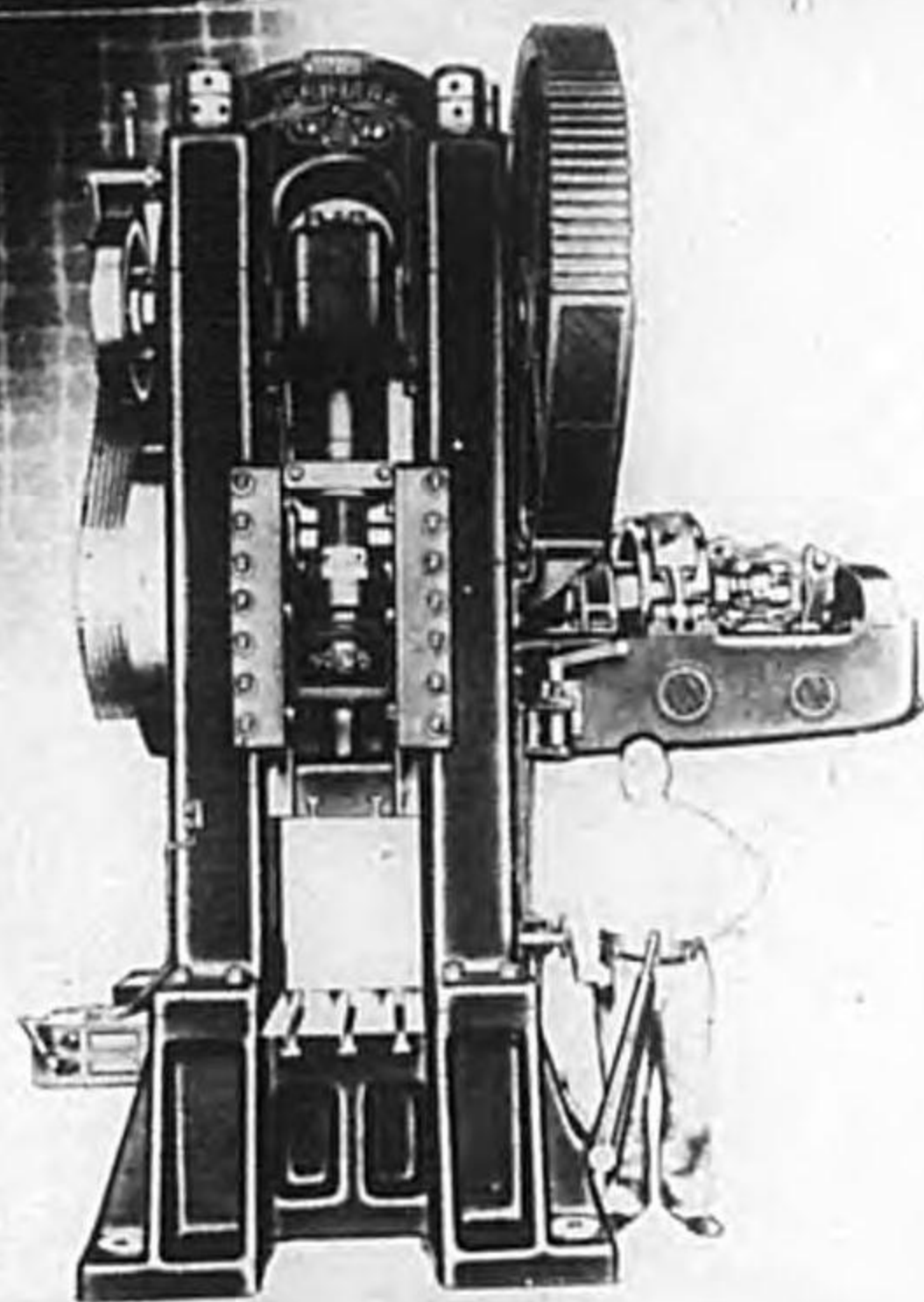
所主 村と利春

工場兼二 埼玉縣川口市朝日町一丁目一二二番地
電話 川口二五一五番
店 神戸市神戶區加納町四丁目(厚生ビル)
電話 弁合七二七三番

特
一
三

板金工業用機械製作

600⁰噸 ストレートサイドプレス



大阪石原

株式会社 石原兄弟製作所

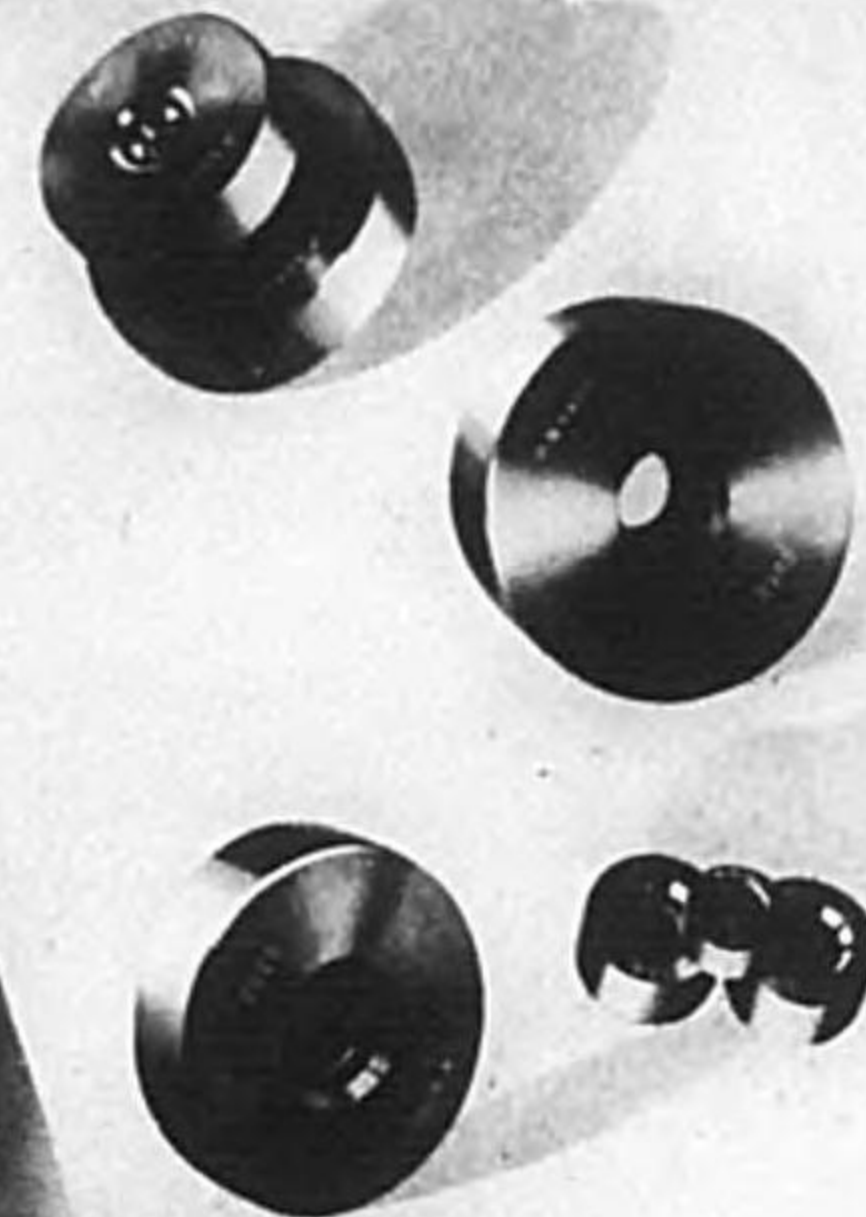
大阪市西成区出城通三丁目 電話 戎 1956・1985 番

東京営業所 東京市京橋区銀座西七丁目 電話 銀座 526 番

特
一
五

住友超硬質合金

井ゲタロイ
ダイヤ



伸縮用・伸管用・シャフト引抜用・打抜用
ダイヤ 孔径 0.3 耗 - 70 耗

住友電線製造所
大阪市此花区見島南之町六〇

特
一
四

安心して使へる
フネ印ドリル



精度 厳正
切味 絶佳
納期 確實

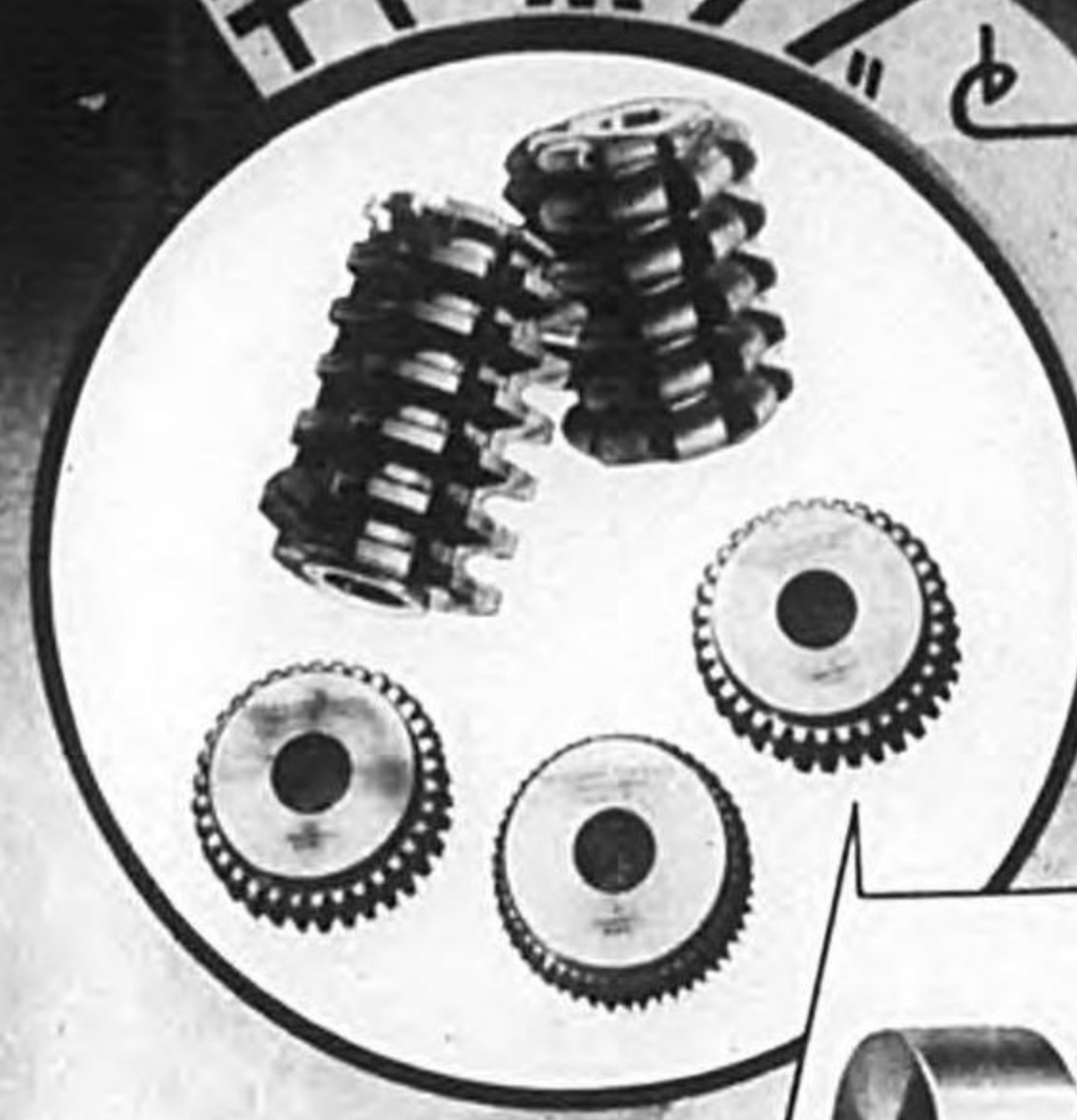
米田製作所営業所

大阪市此花区上福島南三丁目一四二
電話 福島 九六四番
城 替 大阪 一 二 一 〇 二 番
佃工場 大阪市西淀川区佃町四丁目四

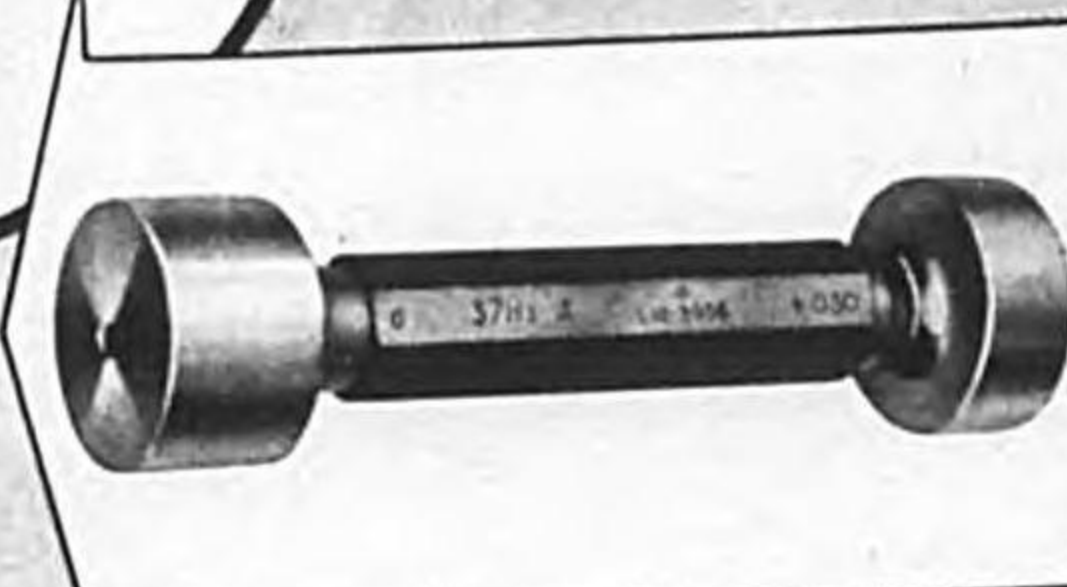
特
一
七

アツボ三の

ギヤ-ホツクも カッター



△日本標準規格
板ステリス
タレンダ
レミ
ツバツ
トトド
ゲゲゲゲ
11111
ジジジジ



安積製作所

大阪市東淀川区南濱町三丁目十一番地
電話北 四六一一・八一八五番

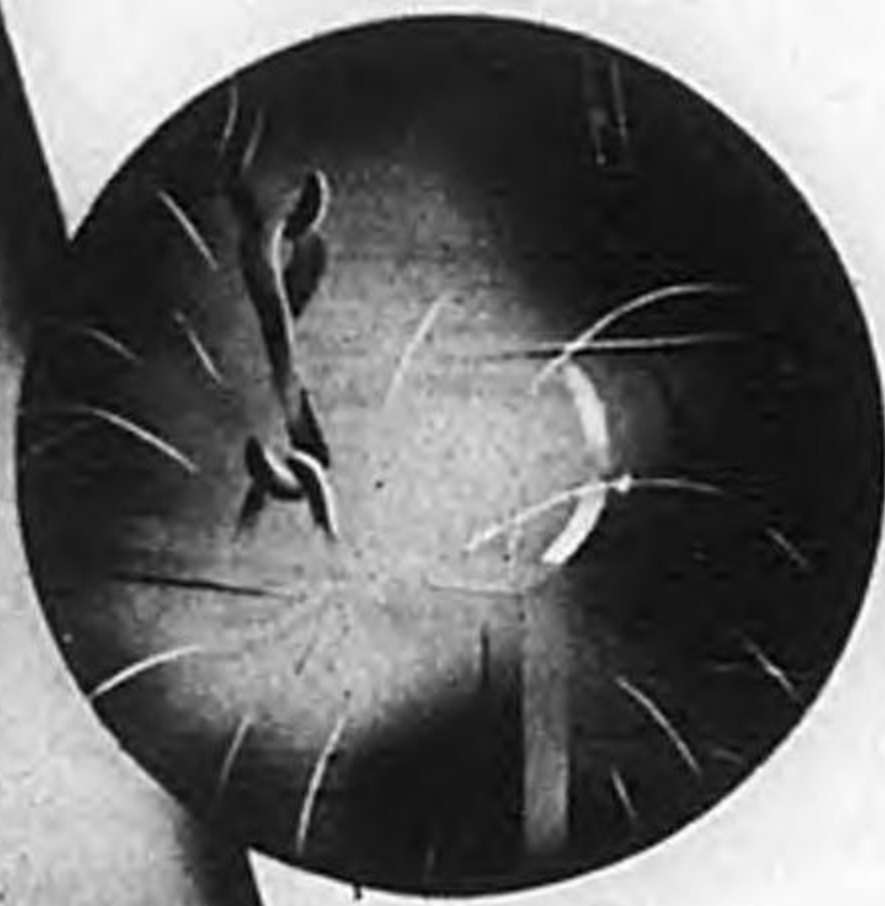
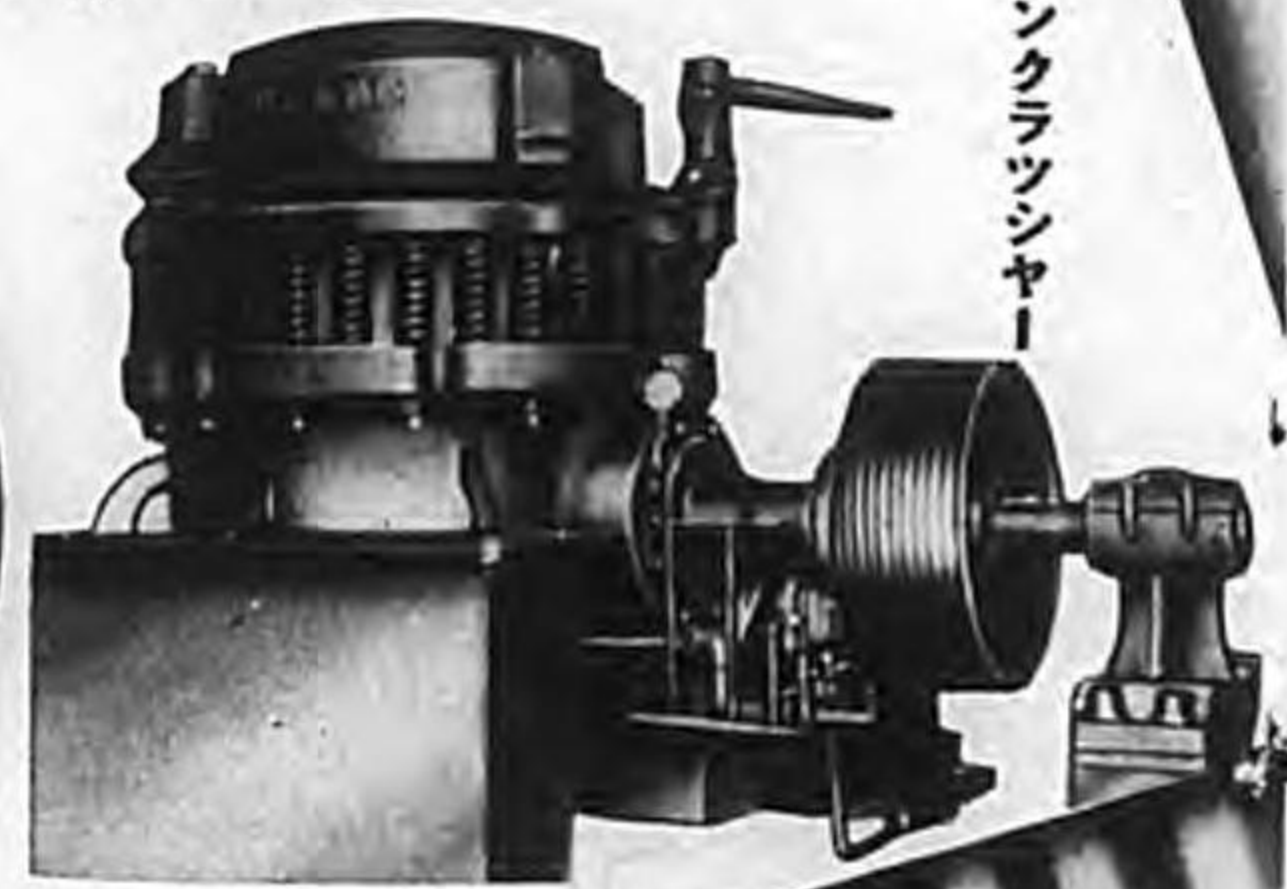
特
一
六

鑄鋼と機械山鑄

營業品目

製作機械類
鑄造機械
設計機械
機械製造
鑄造工業
諸化學工業
用鋼
山鑄
鐵七一般
滿高

保坂式四呎コンタクトマシン



株式會社 保坂製鋼所

大阪市西淀川區佃町一五番地
電話 島田 4414・4549・4587番

東京支店 東京市神田區鍛冶町一丁目六番地
電話 神田 589番

特一九



主要營業品目

電話機及交換機、指令並個別呼出電話裝置、無線電信電話裝置
放送貨線裝置、電信及信號裝置、電話中繼裝置
陸海軍用各種通信機及裝置、搬送式電信電話裝置
裝荷線聯、測定器、電氣計器、電力線搬送式電話裝置
各種真空管、放聲裝置、遠方監視制御裝置
寫真電送裝置、白金線、白金網、セレニウム、整流管

日本電氣株式會社

本社及三田工場 東京市芝區三田四丁目一〇番(五) 電話三田(四)四一〇一(三)

玉川向工場 川崎市下沼部玉川向一丁目一七番(五) 電話田園(四)二〇一六番(三)

大阪支店 大阪市東區北濱四丁目九番(〇) 電話北濱(四)〇〇一六番(三)

出張代理店 滿洲洲 奉天 新機 株 京 大 式 天 四 番 (三)

代理店 福 札 網 幌 洲 滿 大 川 東 京 芝 三
 岡 幌 洲 滿 大 川 東 京 芝 三
 佐 仙 洲 滿 大 川 東 京 芝 三
 世 本 通 北 電 話 田 園 布 川 向 一 一 七 番 (五)
 保 臺 天 信 北 濱 四 丁 九 番 (〇) 電話 北 濱 (四) 〇 〇 一 六 番 (三)
 長 橫 須 賀 株 京 大 式 天 四 番 (三)
 崎 賀 京 名 古 城 上 神 戶 海
 津 社 實 災 海

特一八

登録 **NEWS** 商標

各種 **用盤旋**

チヤック



製造發賣元

合資社 **日本ドアーチエツク製作所**

本社 大阪市東成區中川町四九番地 電話天王寺⑧(八九〇番一三二〇番)
 東京出張所 東京市神田區小川町一丁目九番地 電話神田⑤一六一一番

特
二〇

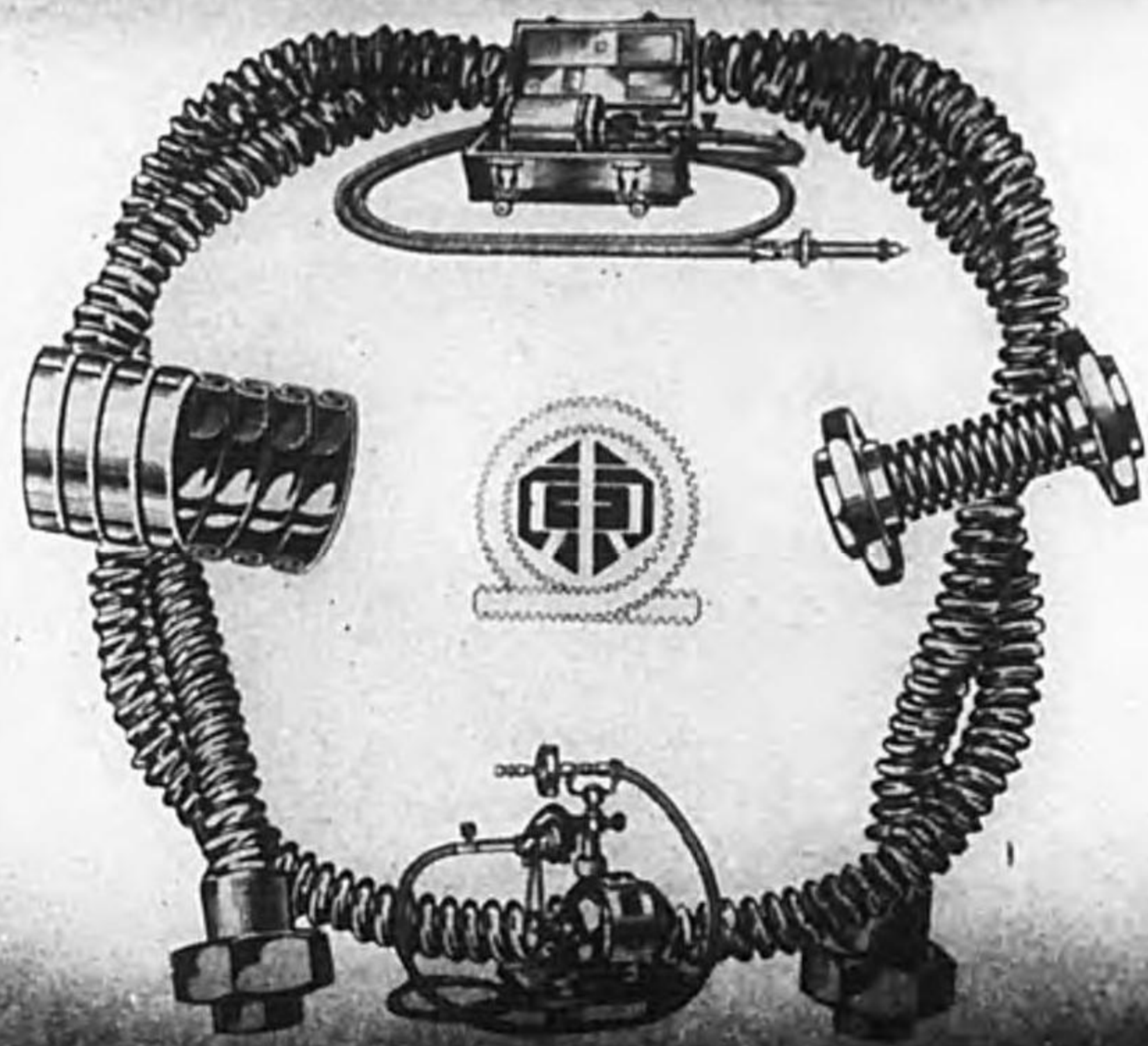
建築材料界の
光明!

建築資料常設陳列場
建築土木資料集覽

建築土木資料集覽刊行會發行
 東京市神田區西三丁、建築會館内
 建築資料集覽刊行會
 東京市神田區西三丁、建築會館内

特
二一

各種螺旋管・各種可換性軸
 エキスパンションジョイント
 各種フレキシブルシャフト工具
 特許片山式電動ボイラーチューブクリーナー
 フレキシブルシャフトクラインダー



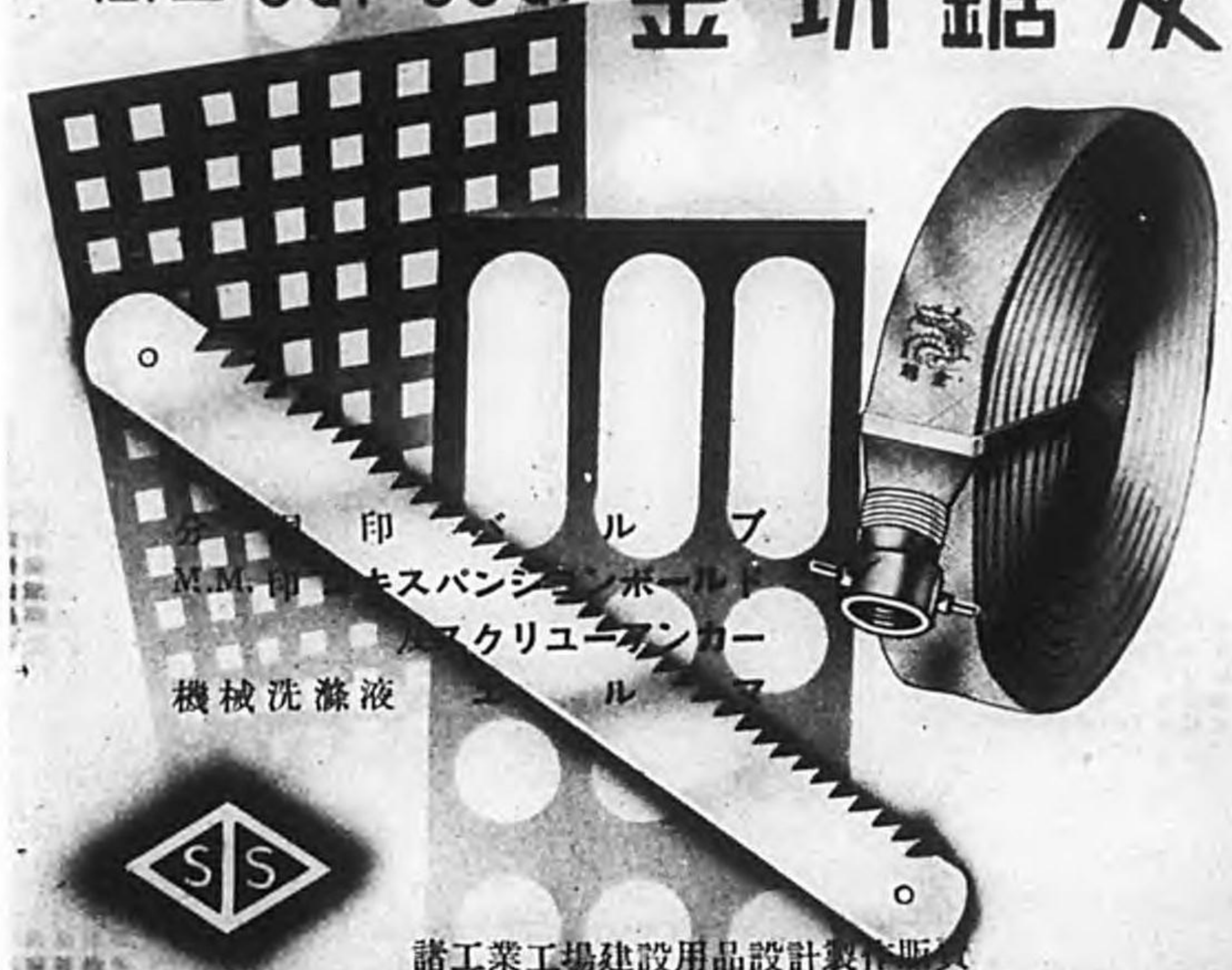
陸海軍省御指定品
東京螺旋管製作所

東京市大森區堤方町二四二
 電話大森・6120・6785

特
 三

諸金屬打抜金網

大正製麻株式会社製 布木一入
 萬里・SGP・SSGP・金切鋸刃



印
 M.M.印
 機械洗滌液



諸工業工場建設用品設計製作所

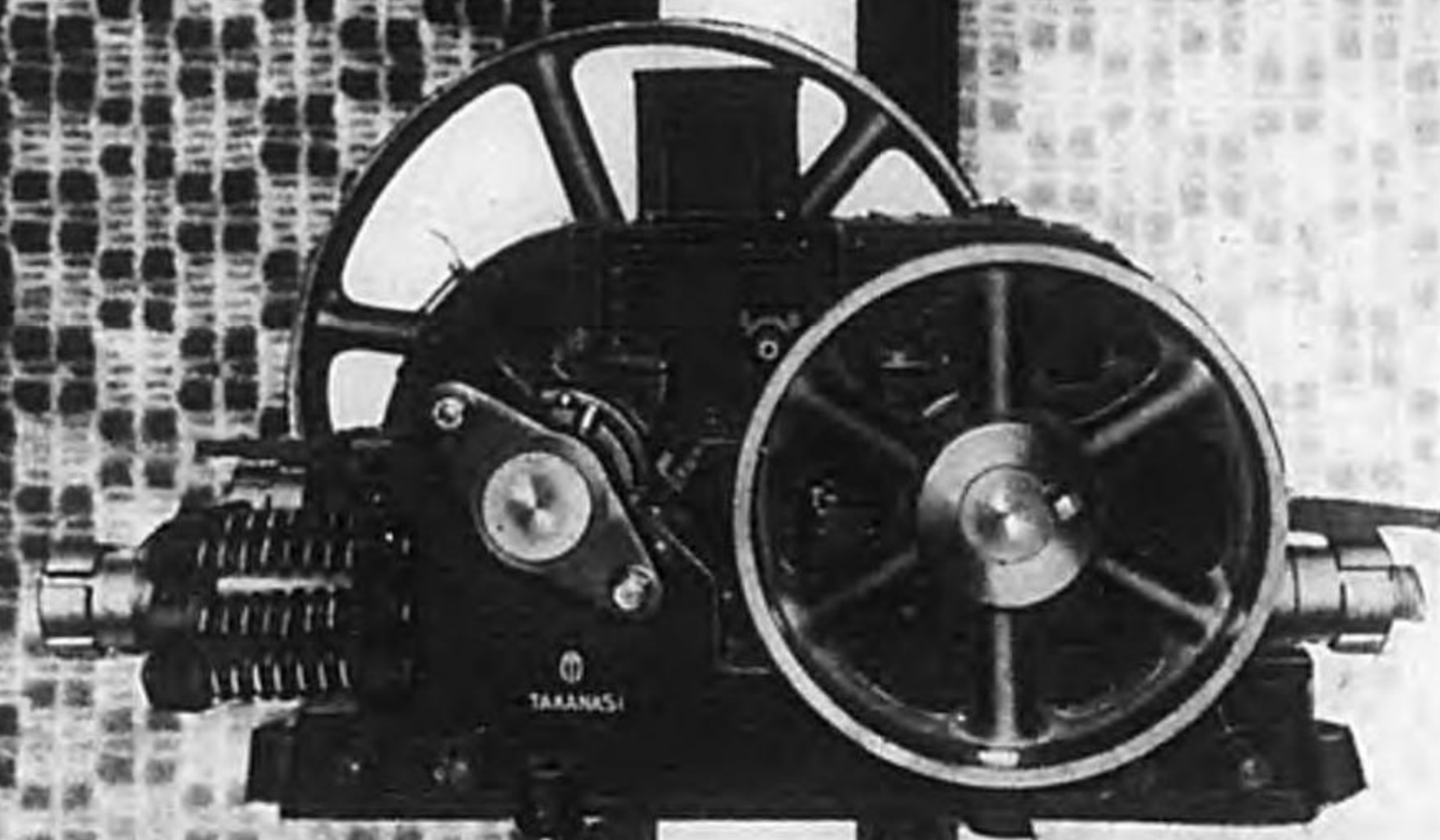
杉本松商店

大阪市西區立賣場北通六丁目四番地 電話國新町975番・1423番・2988番
 發電略號(0ス) 振替口座大阪會社四四五番
 出張所 名古屋市西區和泉町二丁目十四番地 三原縣四日市市南町東新地
 電話本局一二五六番 電話一五四六番

特
 三

鉦山製鉄化摩用諸機械

専門設計製作



株式 高梨機械製作所
會社

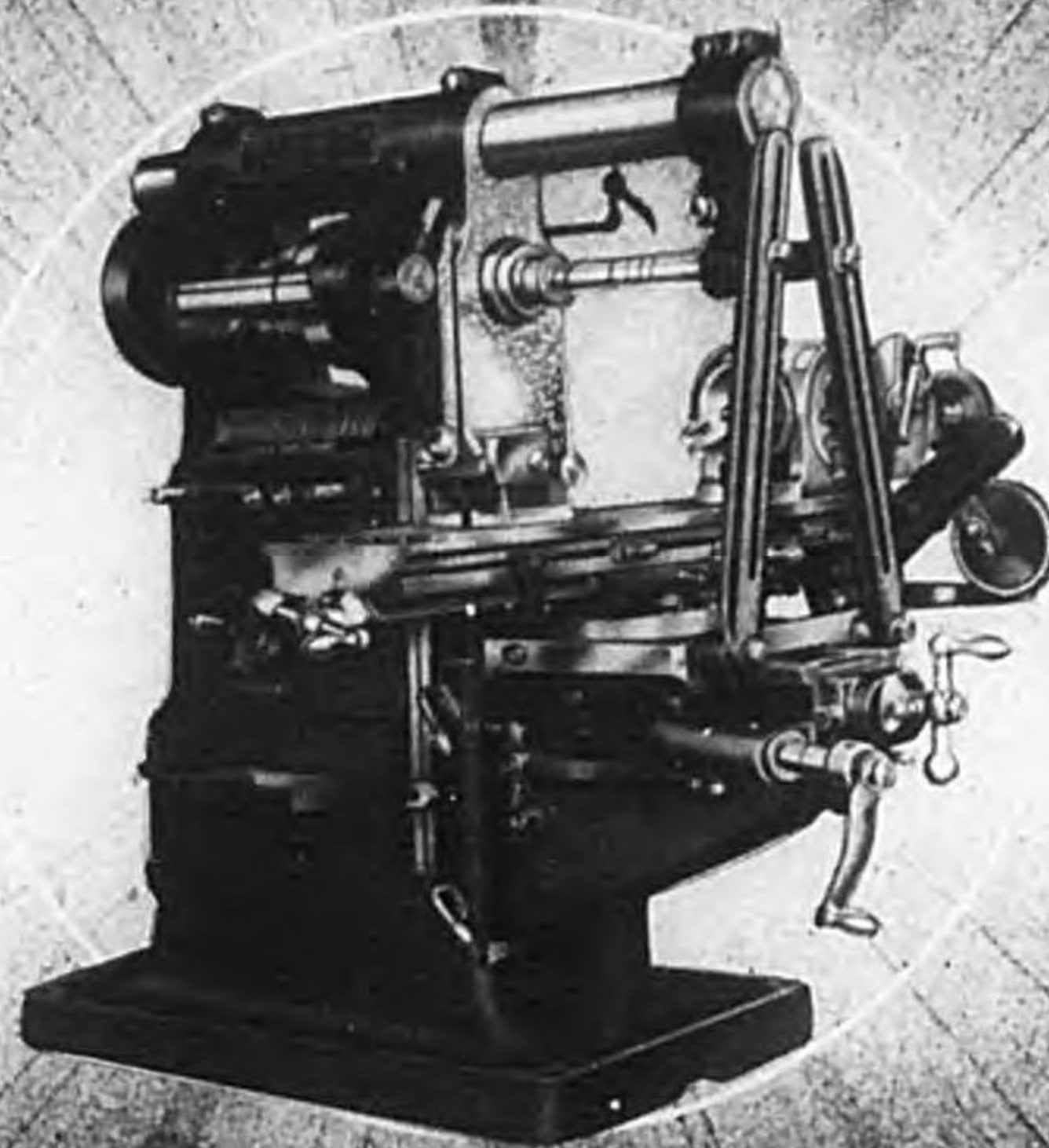
大阪市大正區大正通一丁目二五泉尼ビル
電話 櫻川 @ 390・1307・2225 番

工場 尼崎市西向島町二六二 電話 尼崎 815 番
東京營業所 東京市京橋區銀座五丁目四 ワチダビル
電話 銀座 1504・1505・6404 番

特
二
五

オオタニ

No.2CC.型万能フライス盤又は横フライス盤



東京市品川区大井南濱川町一京濱国道一

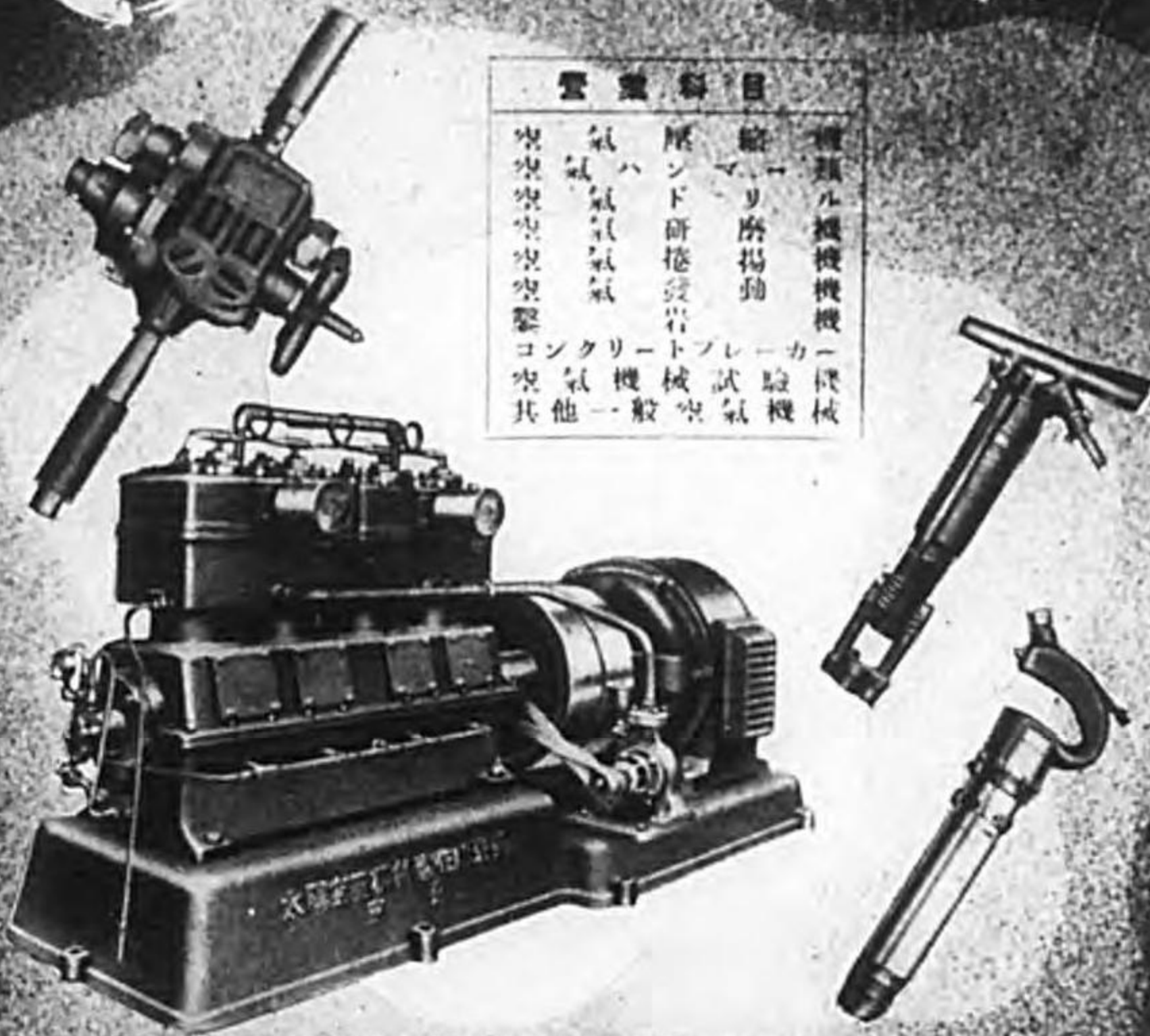
大田771 盤製作所

TEL 03-5612

特
二
四



空氣機械



營業科目	
空氣機械	各種機械
空氣壓縮機	各種試驗機
空氣乾燥機	各種試驗機
空氣淨化機	各種試驗機
空氣其他	各種試驗機

太陽空氣機械製作所

東京市蒲田區今泉町三九番地
電話蒲田二七五四番 電略(タイヨウクウキ)

總代理店 株式會社 安宅商會機械部

東京・大阪・名古屋・大連・奉天
博多・京城・新京・天津・上海

特二七

最硬鋼 半硬鋼



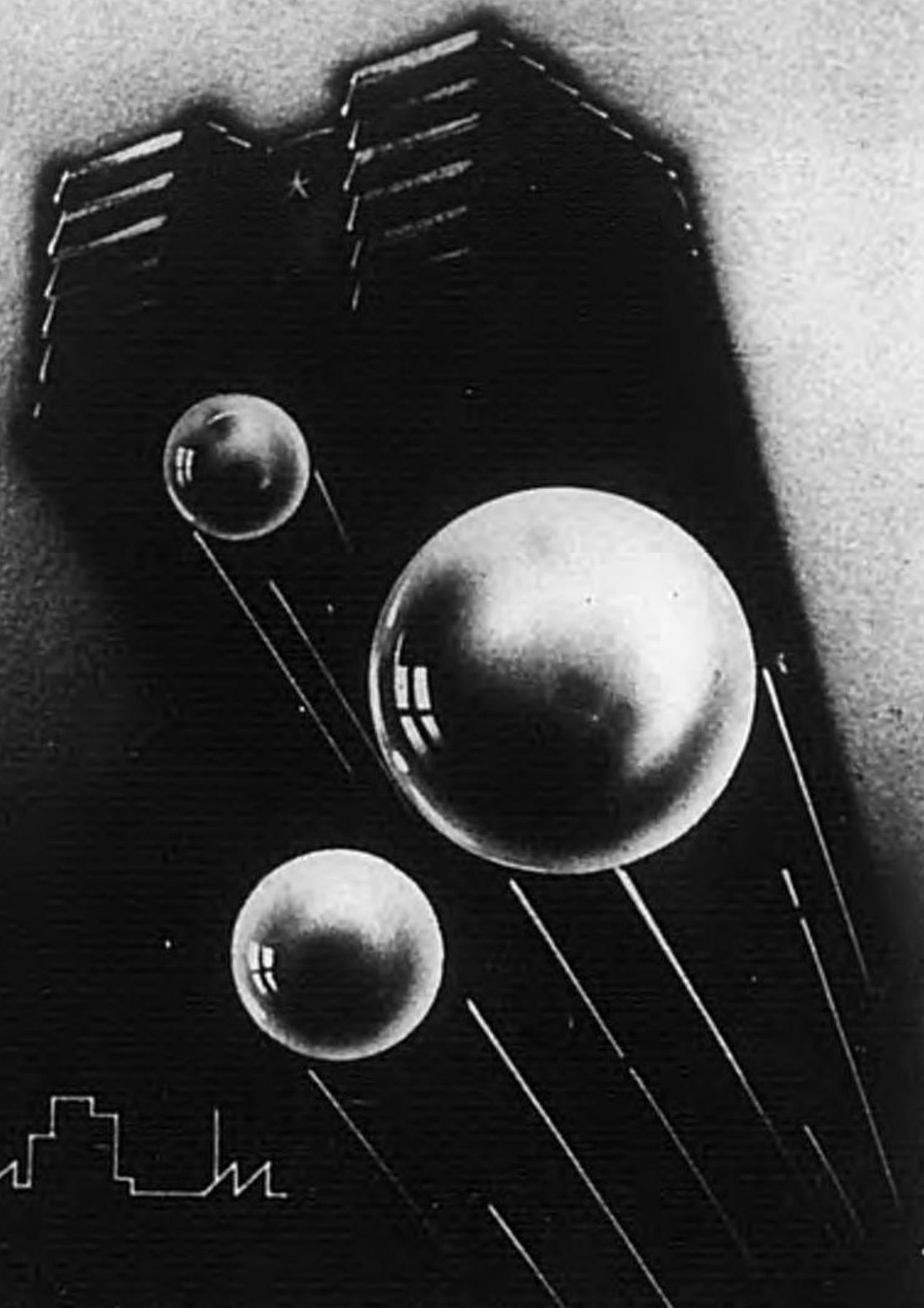
在庫豐富
安價提供

株式會社 東洋製鋼商會

大阪市西區西長堀南通四丁目
電話 5525・5526・5527

特二六

ローレル  ローム



特
二九

株式 天辻鋼球製作所
會社

本社 大阪市西區北堀江通二丁目
電話 新町二一六一・三七〇九・五場北七六五三

ムスチー
ール
ゴ
ール

NTN



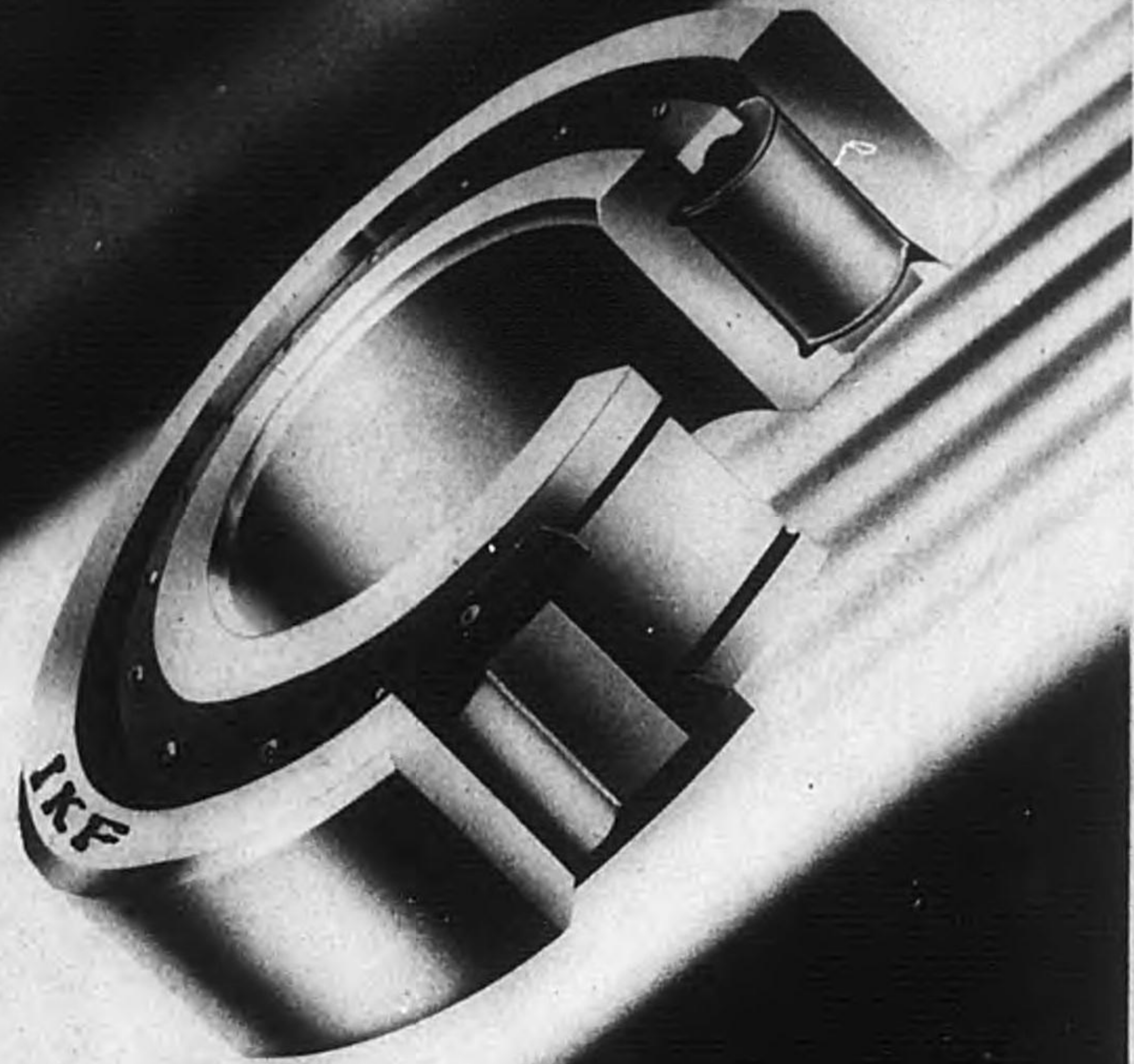
BALL &
ROLLER
BEARINGS

東洋ベアリング製造株式會社

大阪 東京 名古屋

特
二八

IKF



特三三〇
光洋精工株式會社

本社 大阪市東成區中川町二八一
電話天王寺 三〇六五・三〇六八・二四七六・五七六六番
各地出張所 東京・高松・小倉・京城

諸官廳並ニ
設計大家指定品

國産品輸入品對比優良國産品鑑査合格

佐久間工業株式會社

取締役社長 佐久間榮吉



本 社 東京市京橋區銀座西三の一 電話京橋七三三六・七三三七番
大 阪 支 店 大阪市東區高麗橋五の二〇 電話北濱三〇・三〇三三番
大 城 出 張 所 京府府漢江通り一三七五號 電話龍山一三三六番
大 連 出 張 所 大連市山縣通り五三三號 電話二二四四番
天 津 出 張 所 天津日本租界松島街廣興角 電話二〇二五番
千 住 工 場 東京市足立區千住東町九三 電話淺草五六番・足立三〇三番
綾 瀨 工 場 東京市葛飾區小菅町 電話足立二三八九番

國産振興
陸屋根地下室防水工事材料



STYLUS RECORDING PAPER

スタイラス記録紙

・用途・
 振動計
 歪度計
 温度計
 測深機
 撓度計
 傾斜計
 速度計
 各種電氣計器
 加速度計
 瓦斯分析器
 材料試験機

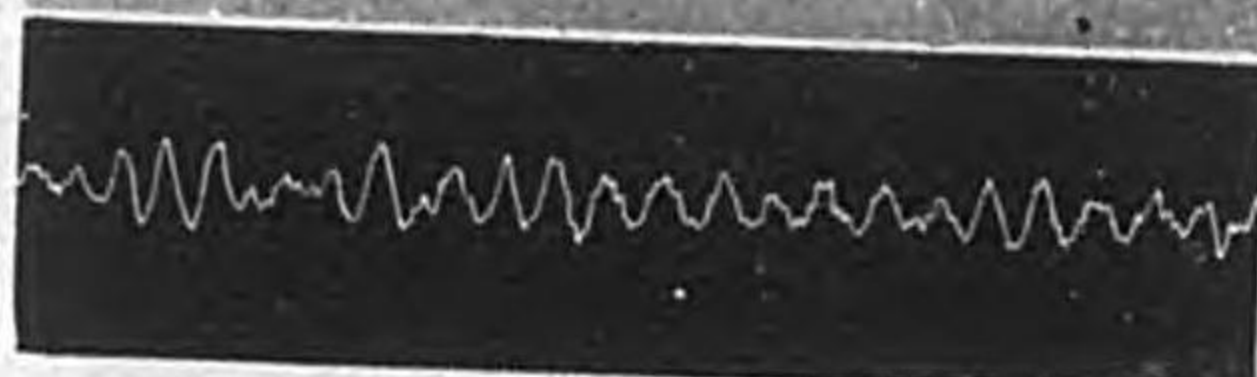
特許出願中



株式会社

明石製作所

東京市丸の内仲七號館
 電話丸の内(23)3672・4017



特長

●記録 詳明

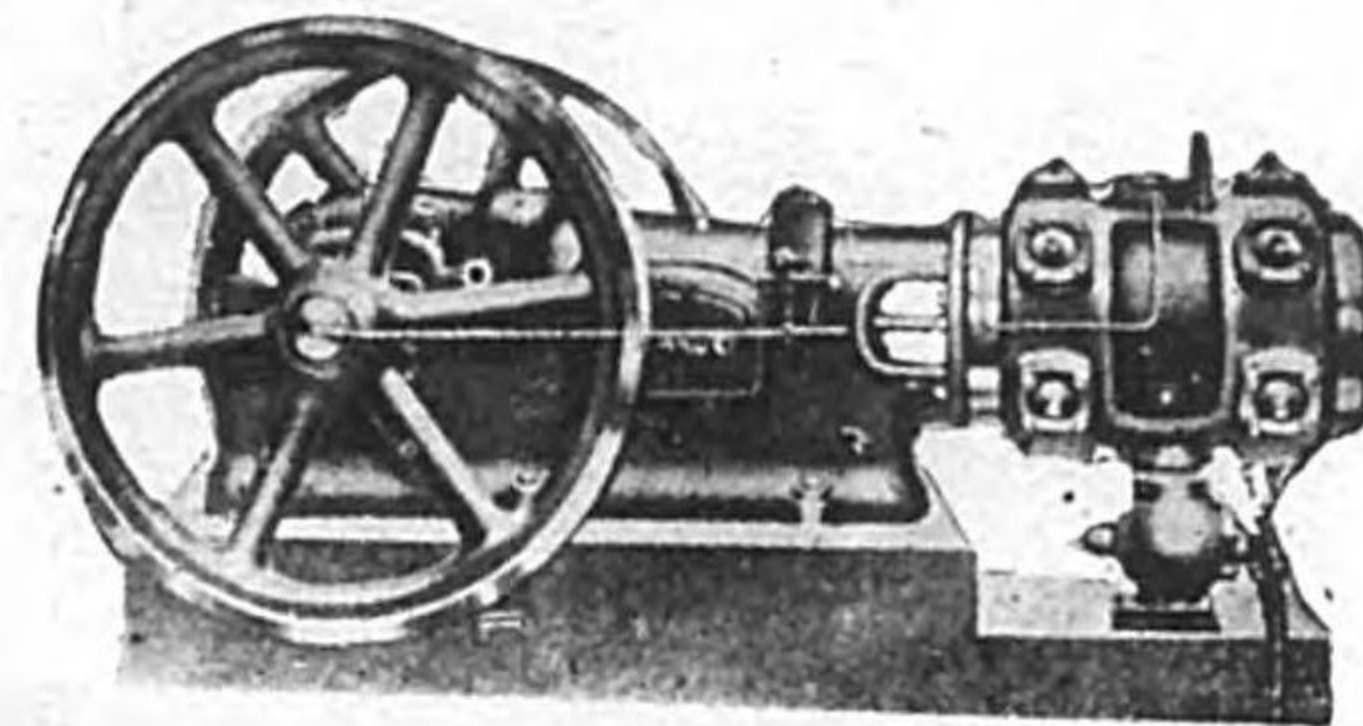
- (イ) インク記録ニ比シ遙カニ繊細ナル記録ヲ得
- (ロ) 鉛筆記録ノ如ク次第ニ太サヲ増スコトナシ

●取扱 簡便

- (イ) 煤煙記録ノ如ク他物ノ接觸ニ依リ記録ヲ汚スコトナク、且定着ノ要ナシ
- (ロ) インク記録ノ如ク、インク補充、吸取乾燥ノ要ナク凍結ノ憂ナシ、且慣性能率極メテ小ナル描針ヲ使用シ得
- (ハ) 雨中ニテモ使用シ得
- (ニ) 細上ニ任意ノ印刷ヲ施スコトヲ得

・見本御申込次第贈呈致します・

東亞空氣機械工作所製 空氣壓縮機



營業科目

空氣壓縮機
 水壓機械
 鉸鉸用器具

資社 神銅商店
 合會

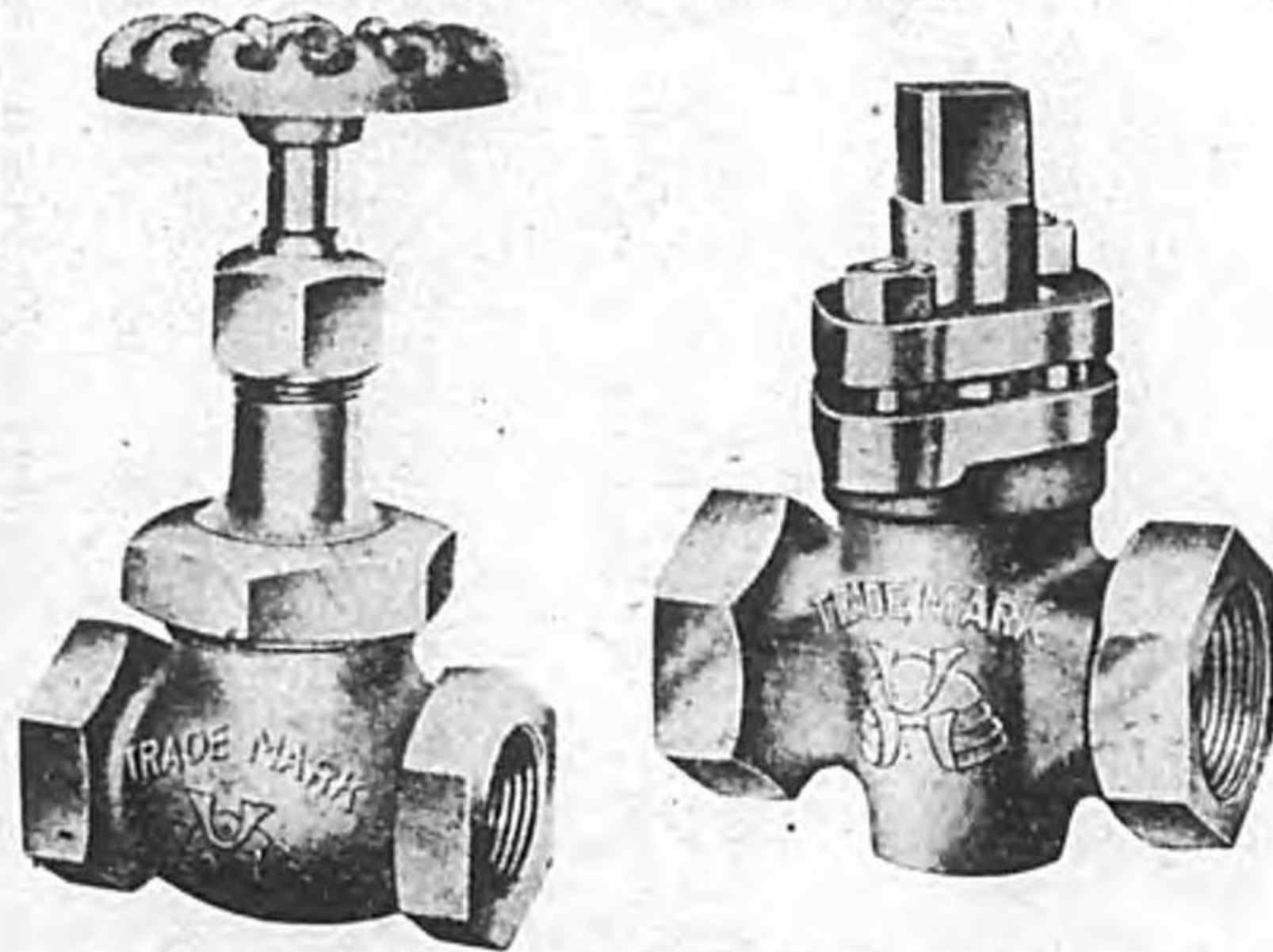
東京市京橋區築地一丁目二十二ノ六
 電話京橋⑥六八八・二六七八・九三七六番
 工場 東京市深川區木場四丁目二十六番地
 電話本所⑧一三四九番



砲金製高圧用

「カブト印」ストップバルブ

耐水圧500ポンド保証品



吾がカブト印は耐壓、耐熱、耐久力に富み、その材質の精撰——その工作の卓越せる點において斷然一等地を抜き、匠産品中稀に見る優良品であります。何卒御用命を乞ふ。

高級バルブ及コック製作

カブト印バルブ製作所

大阪市西區新町通五ノ六番地 電話新町④長四〇八・四〇九
工場 東京市蒲田 電話羽田二一六番

前
五

引拔鋼管



營業種目

鉄鋼管・ロール用鋼管・高圧用鋼管・ボイラーチューブ管・ボ—リング用鋼管・紡績用鋼管・熱身用鋼管・平角鋼管・ヘアリング用鋼管・アンモニアパイプ・自轉車用パイプ・建築用鋼管・各種用パイプ

海軍省納入



松本鋼管販賣所

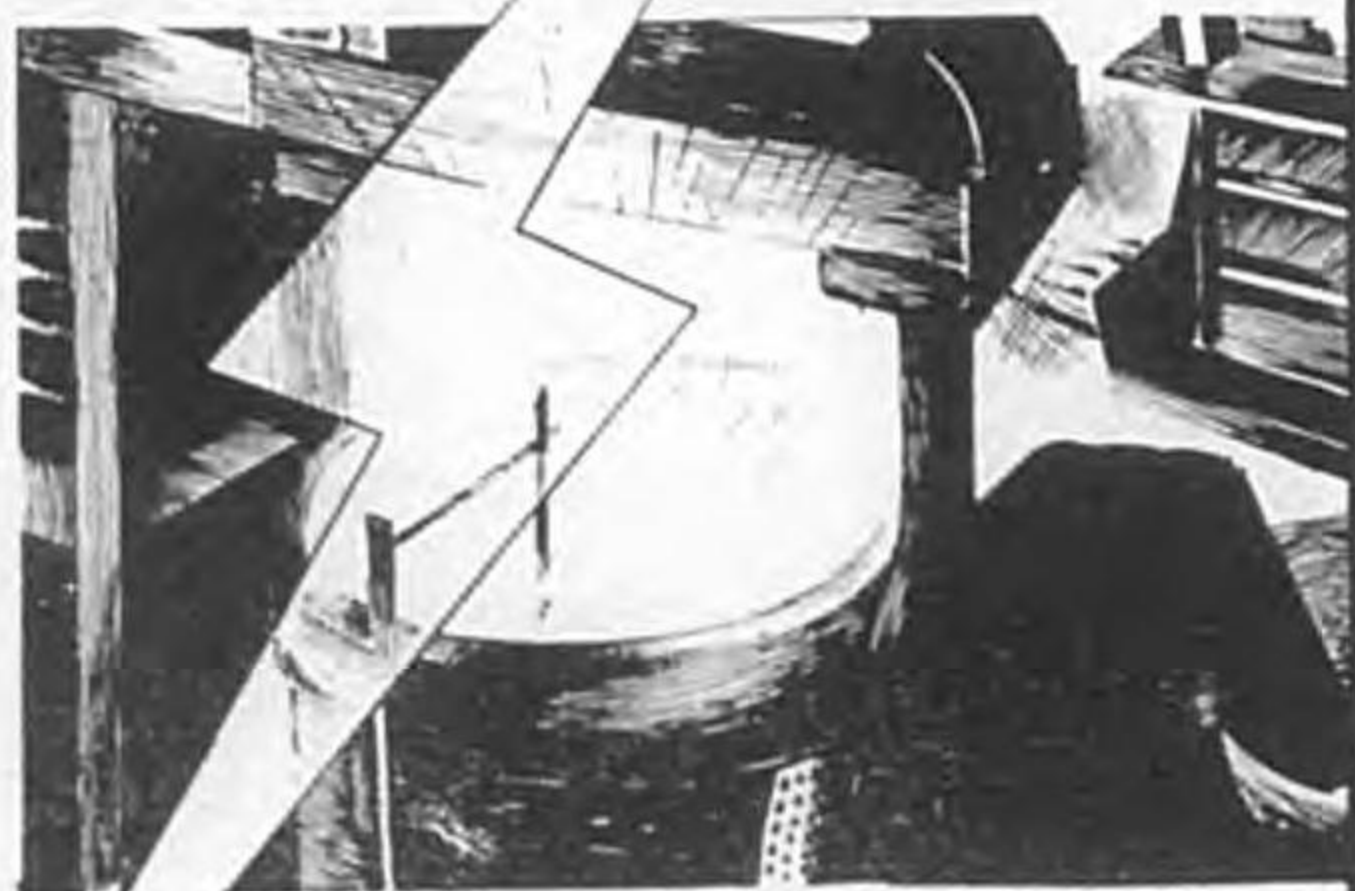
營業所 大阪市西區新町通四ノ四十三 電話新町四五五・四一七四番
引拔工場 大阪市西區成津守町三四一ノ一 電話 下茶屋三〇〇四番

前
四

特
三〇

特殊鋼

電氣炉製鋼
坩堝炉製鋼



耐酸鋼・耐熱鋼
不銹鋼・ニツケルクローム
鋼・ニツケル鋼
ボールベアリング鋼、高速度鋼
各種炭素鋼・各種指定特殊鋼
鍛延仕上及ロール品



海軍省指定工場
陸軍指定工場

山陽製鋼株式會社

本社營業所 東京出張所
大阪市西區立賣堀南通二丁目
電話新町三三九
電話芝三三九
電話節座三三九
兵庫縣節座町中島
電話節座三三九

瓦斯管 引拔鋼管

各各高アスホ瓦
種徑壓ンテイ
鋼鋼モニラ
管管用ヤチチ斯
材製鋼ユユ
料作管ブブ管

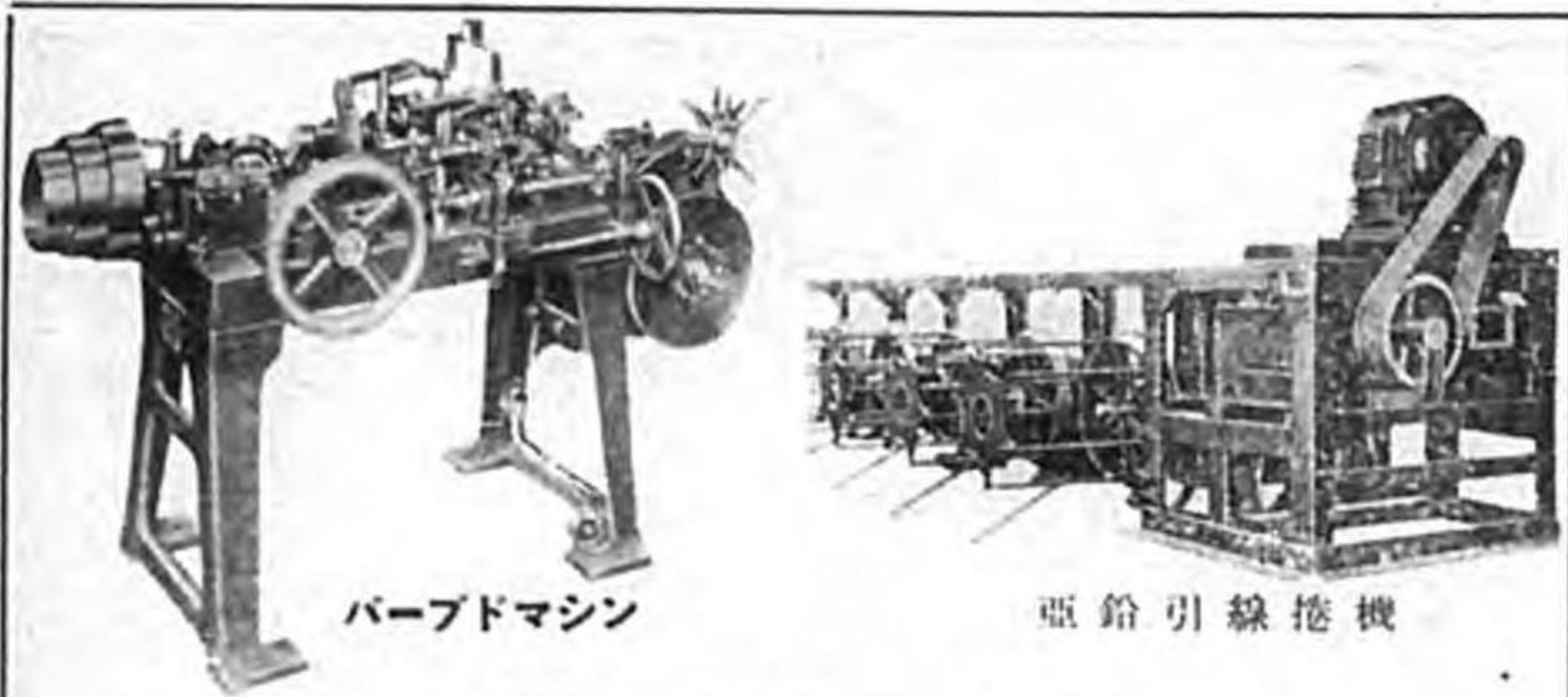


株式會社
ニ崎製鋼所
鋼管販賣所

丸榮商事株式會社

大阪市西區立賣堀南通五丁目四

電話新町 三五五
振替口座大阪一七七一三四番
受信略號 オサカ アマコ テツカン
發信略號 (マルエ) (〇エ) (〇)



バーブマシン

亜鉛引線捲機

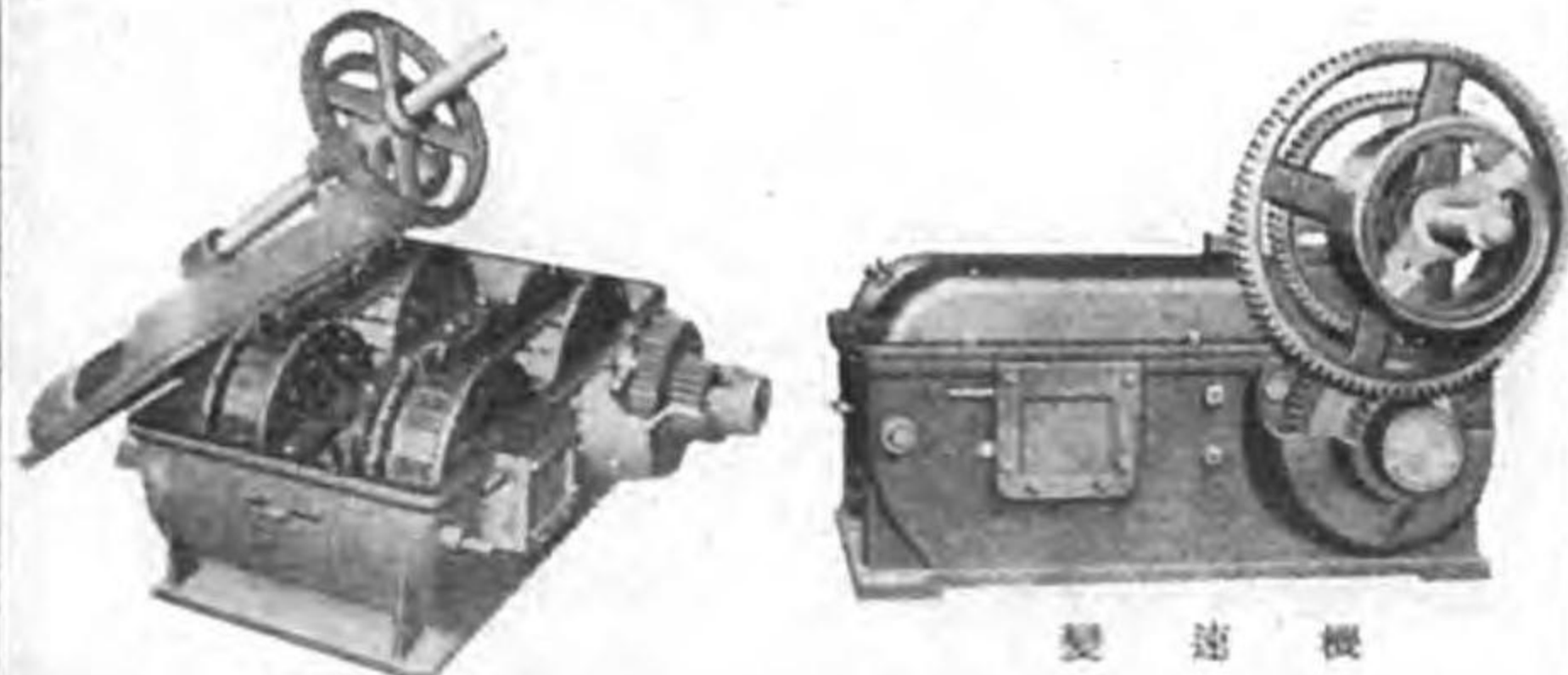
主要製作品目

各種食料品機械
製鐵製線機械
化學工業機械
土木鑛山機械
ターレットレース
川村式變速機
一般諸機械

製作及販賣

後藤製作所
變速裝置工業所

東京市荒川區南千住町三ノ六〇
電話 淺草 ⑧ 八四〇番



變速機

變速機

MOTOK 工ムチカハ一夫

#1050

最古/歴史
最良/品質

逓信省、鉄道省
納入

優良國産

美和商會

大阪市西區立賣場北一電話新町1350・1359

國産品ノ代表

三菱印
MOTOK

螺旋工具

全國有名機械工具店ニアリ

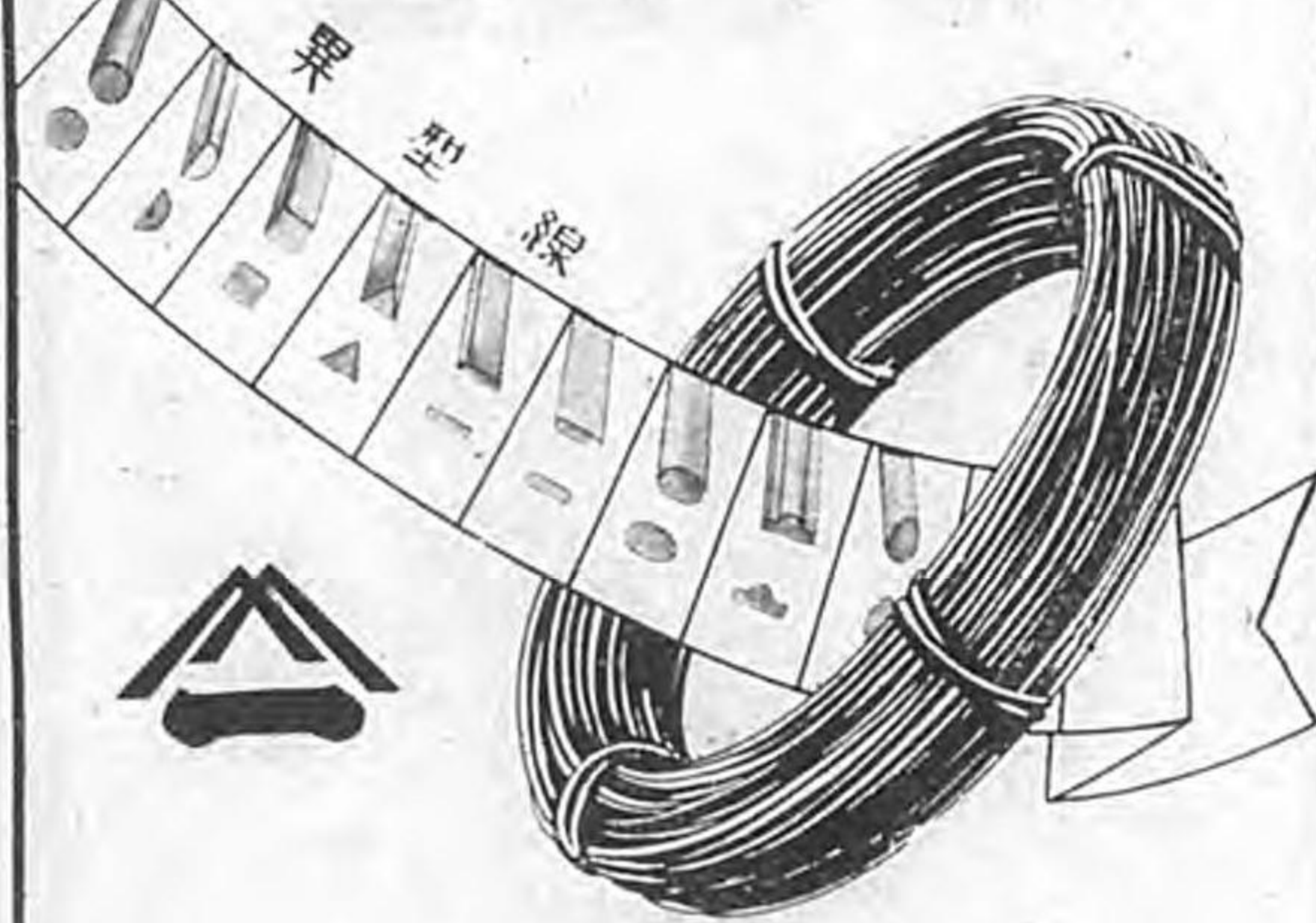
發賣元
合名會社

美和商會

大阪市西區立賣場北通一
電話新1350・1359工場南7151

鋼線と鉄線

ピアノワイヤー



製造店 代理店
A. R. J. H. S. 社 總代理店
各種鐵鋼線製
逸美印ビアノ鋼線直輸入
立琴人印アノ鋼線代
瑞典魚印鋼線理

山田屋鐵線營業所

大阪市南區內安堂寺町三丁目

電話東② 3132・3946・5619

工場 布施市高井田本通三丁目六・支店 上海

御法川 御法川 御法川
I M 下 方 給 炭 機
法川式 多條式 燃燒機
電動式 穿條孔 絲燒機
小型 理 埃 機 八 械

會社 御法川工場

發賣元代理店

淺野物産株式會社
三井物産株式會社
合資會社 ナカヤス
合資會社 ナカヤス
合資會社 ナカヤス

工場

東京市小石川區初音町
電話小石川② 〇二四一・三三〇六・五一二一

御法川工場川口出張所
埼玉縣川口市金山町
電話川口二四三六・二七一五・二九四三

用途無限の高級化学工業原料

純國産

ベントナイト

東洋ベントナイト興業株式会社

主要用途

窯業 可塑劑
石棉製品 可塑劑
セメント 防水劑
鑄物砂型 粘結劑
煉炭 粘結劑
製糖及醸造 脫色劑
油脂 脫色劑

製藥 原料
アスファルト 乳劑
製紙工業 糊劑
纖維工業 糊劑
ホーリング 泥液劑
特殊 研磨劑
其他一般 充填劑

營業所

東京市芝區田村町二ノ八 (樓田館ビル)

電話 銀座 三三五四・二三三五

東京工場

東京市王子區志茂町二ノ一七三〇

電話 赤羽 二二二一・二二一五

研究所

東京市王子區志茂町二ノ一七三六

産地

北海道、福島、新潟、栃木



國産石油



揮発油 輕油
燈油 重油

潤滑油 パラフィン
絶縁油 アマルト

日本石油株式会社

品製大五の社工化脂油

アロー

水洗可能の水性塗料

トキメツ

特許

防水塗料

出願特許品

特許品

トキメツ

トキメツ

本社の特許品は、その性能が優れており、防水、防汚、耐候性にすぐれています。また、施工が容易で、コストも低く、幅広い用途に適用できます。特に、建築現場での防水処理や、船舶の防汚塗料として、その効果を発揮しています。また、最近では、環境に優しい水性塗料の開発にも力を入れています。お客様のニーズに応じた最適な製品を提供いたします。

社工化脂油

東京市東区原下町明
電話 原八七六番
東京市東区南宮町
第一工場
第二工場

東京市東区橋本一丁目
電話 橋本八五〇番
本社営業所

型録進呈

會社資

森岡平右衛門商店

東京市日本橋區江戸橋通一丁目二番地

株式會社

森岡商會

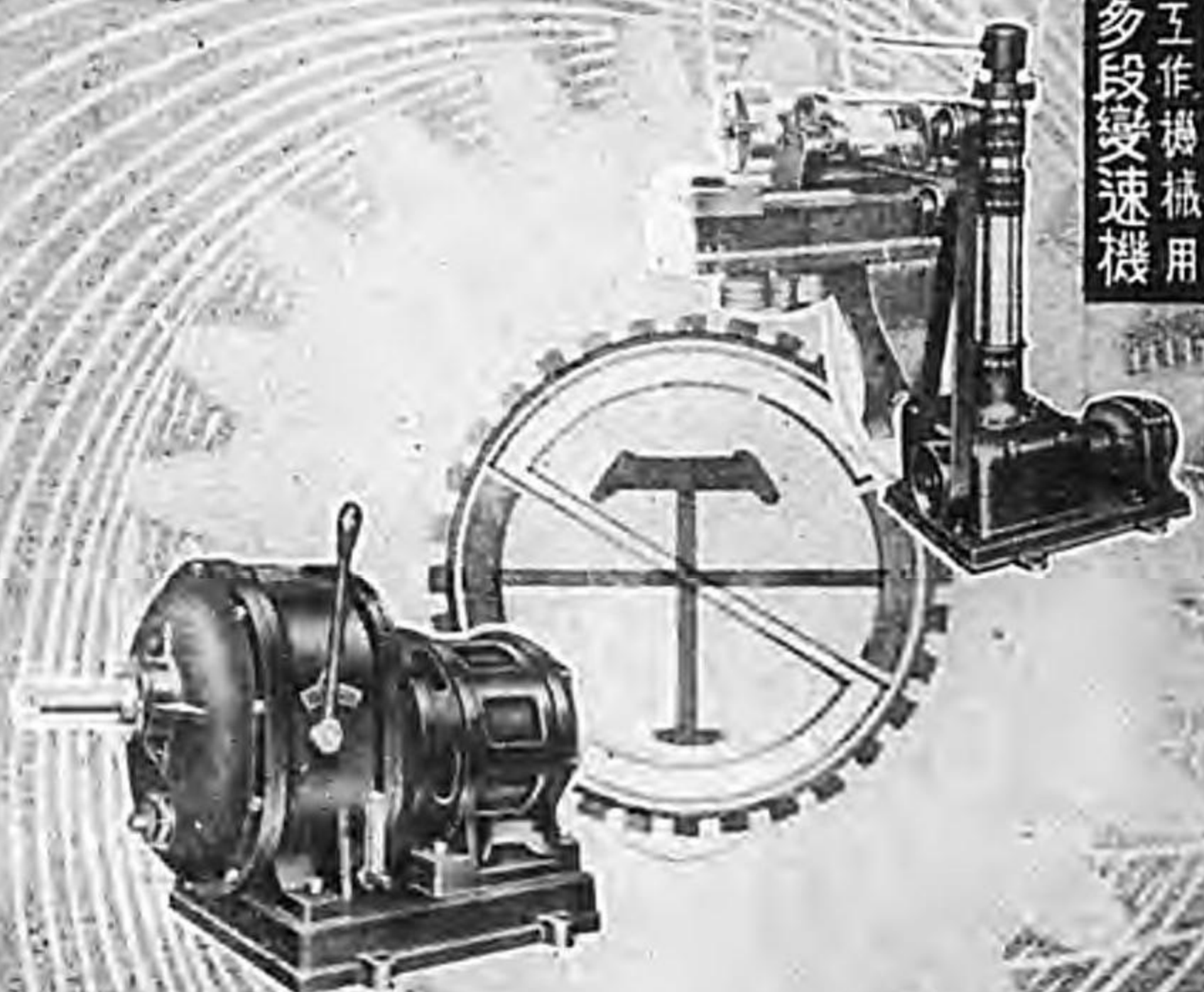


出張所 大阪 大連

森岡ステンレス工業所
鐵硝子部
金物部
特殊鋼部

多段変速機

工作機械用
多段変速機



HM型可愛速キヤトモタ

東京変速機製造株式会社

本社 東京市東橋区月島東仲通五丁目
電話 東京一七八二三四八四二五六八〇八五七四
代理店 鎌倉 代田組 藤井 小笠原 名 倉



創業明治四十年

製 品 種 目

各種板硝子
ソーダ灰
苛性ソーダ
純無水炭酸ソーダ
重炭酸ソーダ
セスキ炭酸ソーダ
鹽化カルシウム
耐火煉瓦
電機用絶縁火煉瓦コルハート

資本金 四千萬圓

所販出び及店支

東京支店 東京市京橋區京橋二ノ四
電話 東京一〇〇五
大阪支店 大阪市東區道修町四ノ七
電話 北區一六五五
門司出張所 門司市棧橋通り一番地
電話 門司二二〇三
名古屋出張所 名古屋市中區廣小路通二ノ三
電話 本局一六六九
小樽出張所 小樽市南濱町一ノ四
電話 小樽一六四六

東京市丸の内

旭硝子株式会社

電話九ノ内代表番號 三三一一八七五

所験試び及場工

尼崎硝子工場 兵庫縣 尼崎市
牧山硝子工場 福岡縣 戸畑市
鶴見硝子工場 横濱市 鶴見區
牧山曹達工場 福岡縣 八幡市
尼崎煉瓦工場 兵庫縣 尼崎市
試驗所 横濱市 鶴見區



諸機械電動工具

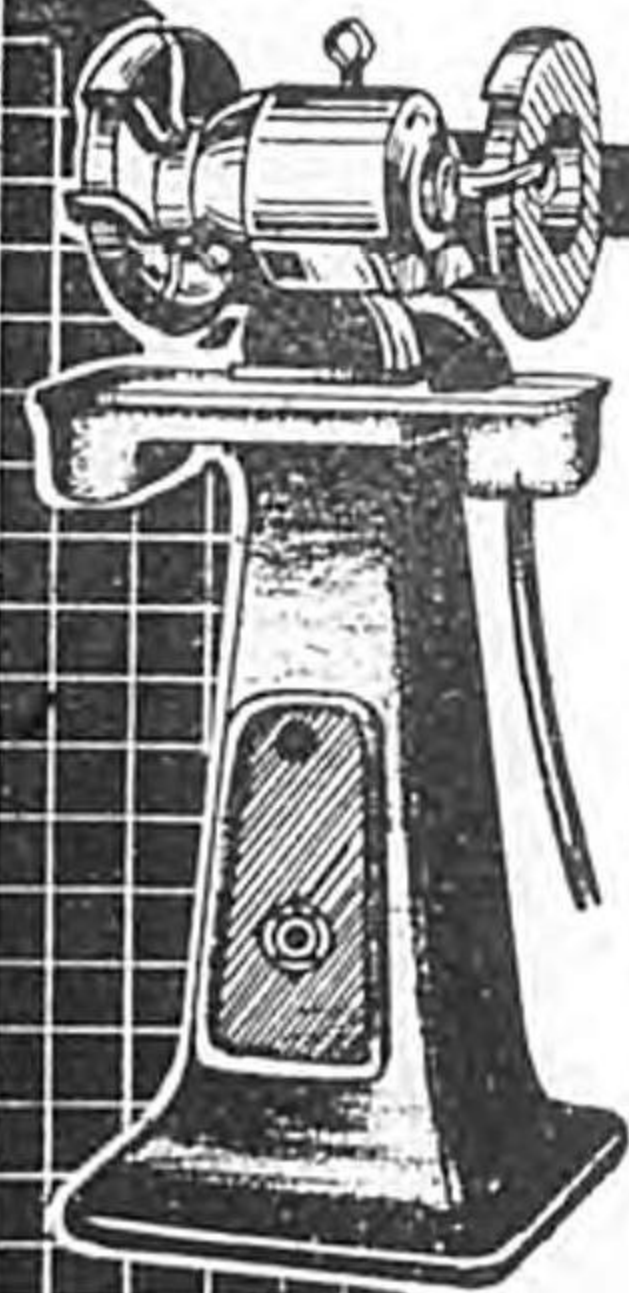
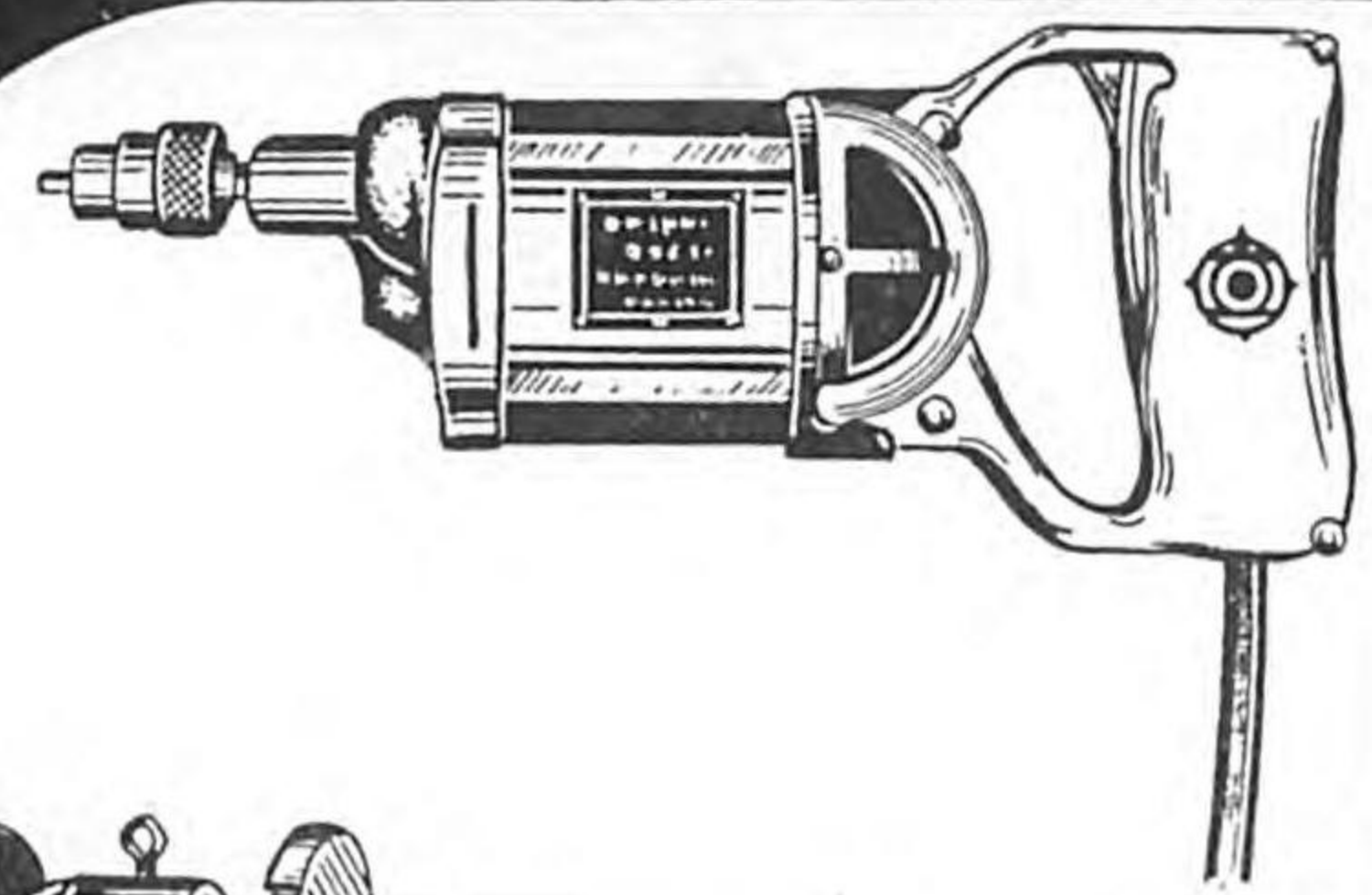
海軍省指定工場
 泰平電機機械株式會社製
 カンゴ一電動工具

會社名 水谷泰之助商店

大阪西區立賣場通丁五
 電話新町一〇三〇八・一五〇六・五〇四六番

前二五

日立電動工具



日立製作所製

特約店

株式會社 古島商店

大阪西區立賣場北六

前二四

理研

暖房 冷房換氣

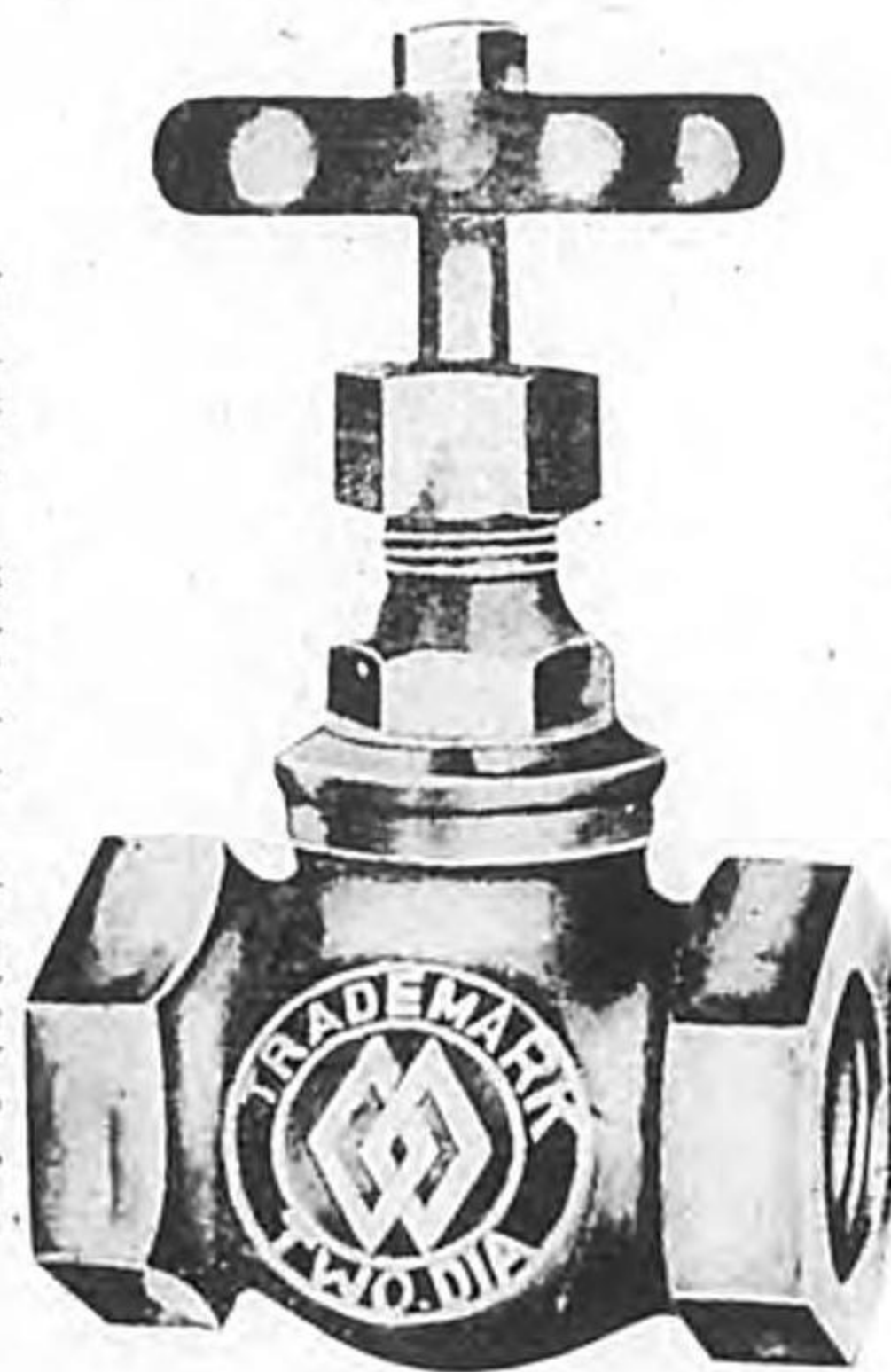
營業品目

ユニットヒーター
恒温恒湿装置
除塵装置
各種送風機
同ホイラー
同ストーカー

理化學興業株式會社

本社 東京市麹町區有樂町一ノ二(常盤生命ビル) 電話代表課座⑥7611(10)
出張所 大阪市北區宗是町(大阪ビル内) 電話土佐堀3030-3033
名古屋市中區廣小路(住友ビル内) 電話本局④4282

TRADE MARK
TWO DIA BEST



衛生器具・機械工具・各種ポンプ
南滿洲鐵道株式會社 御指定品
關東軍經理部 御指定品

日本全國ノ
各地市役所
各地造船會社
其他諸官廳
御指定品

バルブコック・暖房用品・水道用品

製作發賣元



合資
會社

辻仲商店

大阪市西區立賣堀北通二丁目
電話新町⑤5866・5867・5868 振替口座大阪40419番
自宅用 電話堀川 2905番 電略(ツシ)又ハ(ツ)

RIKEN CORUNDUM

理研コランダム研磨布

理研ガーネット ペーパー
 理研コランダム耐水ペーパー
 理研カーボサンド耐水ペーパー
 理研アダマント 金属磨液

切 削 佳 良	粒 度 齊 一	耐 水 絶 大	價 格 低 廉
------------------	------------------	------------------	------------------

理研コランダム株式会社

本社 東京市麴町區有樂町一丁目二番地
 電話銀座㊟専用1468代表7611(10)
 工場 東京市王子區神谷町一ノ七九五
 電話 赤羽 2 6 1 0

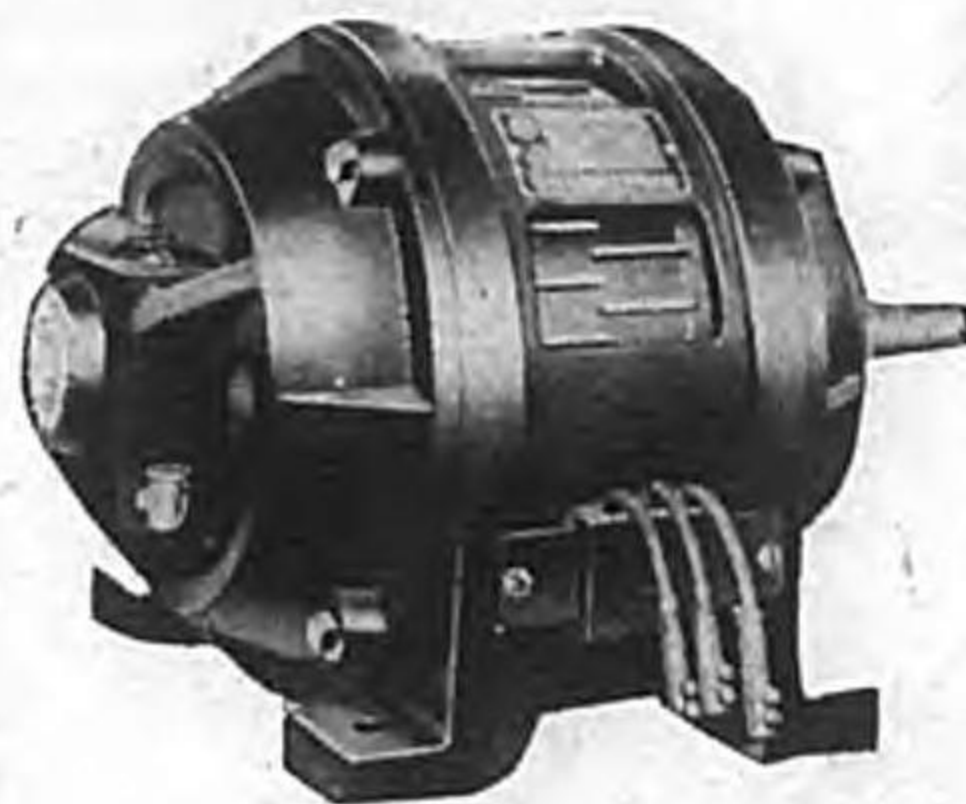
PGL-10型
 500mm x 2,050mm
 専門製作工場の旋盤

TYPE-PAL 1352 1,100mm

電動機直結旋盤

理研重工業株式会社

理研ビストンリング株式会社・理研特殊鉄鋼株式会社 合併改稱
 本社 東京市麴町區有樂町一丁目二番地 電話銀座㊟7611(10)
 出張所 大阪市北區宗是町一(大阪ビル) 電話土佐堀3030(4)
 名古屋市中区廣小路通(住友ビル) 電話本局4282



理研モートル!!

營業品目

工 作 機	鑛 山 用 機 械	電 氣 計 器	電 動 工 具 類
-------------	-----------------------	------------------	-----------------------

財團法人理化學研究所電機部製品販賣店
理研電動機株式會社
滿洲支那總代理店



大陸興業合資會社

本社 大連市連鎖街
大陸興業合資會社東京事務所
東京市京橋區銀座四ノ四(脇田ビル)
電話 京橋 〇九九〇四番



營業種目

自轉車タイヤ
及チューヴ
V型ロープ
サクシヨンホース
リールホース
靴底
★自動車用品★
フアンベルト
オイルパット
オイルブレーキホース

理研護謨工業株式會社

本社 東京市麴町區有樂町一丁目二番地
常磐生命ビル五階 電話 銀座 〇七六一—七六一九



資本金 二億圓

營業品目

肥料、燃料油脂、可塑物、食料品

グレス ステアリン	スリセリン	バテアリン	チラフ石	旭味粉	減酸油	アミノ酸	大豆粕	大磯安	硫磺	過燐	硫酸	調合肥	粒状石灰	カーバイド	重油	石油	石炭	半成コークス	揮発油	タービツチ	クレオソール	クレオソール	煉炭	
硝酸アンモニア	亞硝酸曹達	硫酸曹達	硝化棉	窒素瓦	無水醋酸	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール	アセトール
苛性曹達	液體アンモニア	無水アンモニア	アンモニア水	硅弗化曹達	カーボン電極	並ニ刷子生地	アークカーボン	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム	マグネシウム

日本窒素肥料株式會社

大阪市北區宗是町一番地
 電話土佐堀 { 929 (代表長3305-3309)
 930 土佐堀 (代表長5095-5099)
 931 (代表長8350-8354)

TK式 電動チェーンブクリナー

専門製作



資社 グリーナー工業所

神戸市兵庫區須佐野通八丁目一二〇
 電話湊川⑤二七四八番

各種引拔鋼管(引拔シャフト)
耐蝕、耐酸、耐熱ステンレスパイプ

(製造販賣)

中島鋼管合資會社

本社

大阪市西成區津守町二六一番地

電話天下茶屋 二三五七三番

津守第一工場

大阪市西成區津守町二六一番地

津守第二工場

大阪市西成區津守町二七四番地

粉濱工場

大阪市西成區粉濱西之町一ノ一〇

最大口径12"まで

泉鉛管製造所

大阪市西淀川區高見町一丁目
電話土佐地 一〇八五〇
一〇八五〇
一〇八五〇

硬鉛純鉛二重管	ハイドレツ	合水道鉛管	水金道鉛管	燈裝鉛管	特種加品	鉛耐酸	耐酸	化學工業用	岩鉛鉛鉛鉛	線類其他	鉛錫鉛	錫類	管類	板類



目録業營

特殊鋼工出
 耐摩鋼・不銹鋼
 耐熱鋼・其他特殊鋼
 合金工出
 銅・鋁・鉛
 シルチン・ブロンズ
 錳・鋼・ブロンズ
 ニッケル・ブロンズ
 モネル・メタル
 其他特殊合金

圓藤特殊合金製作所

大阪市西淀川区創町一〇六七
 (阪神國道歌島橋電停西一丁)
 電話 島二五七四番

普通品
高級品

引拔磨シャフト

六角、丸、角、線
棒、異形品各種

製造販賣
寸法切

大阪市南区南桃谷町二番地

高橋シャフト製造所

電話南 ☎ (六二七六番
六五八六番)

倉庫

大阪市天王寺區東平野町二丁目二十二番地

工場

大阪市港區田中元町一丁目一五〇番地

電話 築港 ☎ 一三〇五番

帝國式鑿井工事請負
 工業灌漑・水質鑑定
 ボーリング及地質鑑定
 水道用器機並ニ附帶工事請負
 鑿井用パイプ製作並ニ販賣
 エヤーリフト揚水装置
 深井戸タービンポンプ
 急速濾過装置
 冷房

營業課目
 (カタログ進呈)



鑿井

帝國鑿井合資會社

大阪市西淀川區船場一八八九番地ノ一
 工場 大阪市西淀川區船場二〇八九ノ一
 倉庫 大阪市西淀川區野里町五四九
 電話編高(四六七〇番 五六四三番)
 (五六一五番(夜間専用))
 出張所 名古屋市中區水主町二丁目一番地
 電話南(6) 二一七二番



特種鑄鋼	高級鑄鋼	普通鑄鋼
------	------	------

ハイニツケル鋼	耐熱鋼	耐酸鋼	クニケム鋼	ニッケル鋼	マンガン鋼
---------	-----	-----	-------	-------	-------

大阪市旭區毛馬町三九六

會社 大阪鑄鋼所

大阪鑄鋼所東京出張所

東京市京橋區銀座通三丁目

電話京橋(56) 一三九番

電話堀川(三三四) 八八二番

各種引拔鋼管

白黑瓦斯管

合名
會社

中島健三郎商店

大阪市西區西長堀北通五丁目一〇

電話新町 一四三九〇八番

振替大阪 八二六七九番

日本被覆電極棒
ステンレス電極棒

大阪市東淀川區三津屋中通一丁目十四番地
日本熔材工業社

電話北 二五九九番

各種電氣熔接機
電氣熔接作業請負

大阪市港區市岡濱通一丁目廿七番地
特殊機械製作所

電話西 四七〇四番

一般製罐並ニパイプ工事
電氣瓦斯熔接切斷
諸機械据付現場工事請負

姫路市福澤町

高田組鐵工所

電話 六二二番

所 鐵 製 本 日
美 裝 鋼 板



特 約 販 賣 店

八幡製鐵指定販賣所
大阪 鋼 板 會

(イロハ順)

大阪市西區立賣堀北通五丁目

千 葉 金 三 郎 商 店
 電話 新町五九五八番(三)

大阪市西區新町南通三丁目

會 社 山 本 菊 藏 商 店
 電話 新町五五六六・五五六七番

大阪市西區西長堀北通四丁目

山 本 信 義 商 店
 電話 新町五九一八・五九一九番

大阪市西區立賣堀北通五丁目

松 本 茂 八 商 店
 大 阪 出 張 所
 電話 新町四二五一・四二六五番

優 秀 なる 小 鹿 の 皮 革 製 品

一 高 壓 機 械 用 革 パ ッ キ ン グ

本品は工場能率上其耐久力如何に依り不慮の損失を來す
 本所製品は耐水性は勿論耐熱性、腐蝕性、耐久性の利點を有す

一 空 氣 壓 搾 機 械 用 革 パ ッ キ ン グ

在來市販品より耐熱、耐水性に富み金屬類に對し化學的作用な
 く油分を含有せる爲自ら滑動部に對し潤滑作用を補助するが故
 に耐久力大なり

一 生 皮 製 齒 車

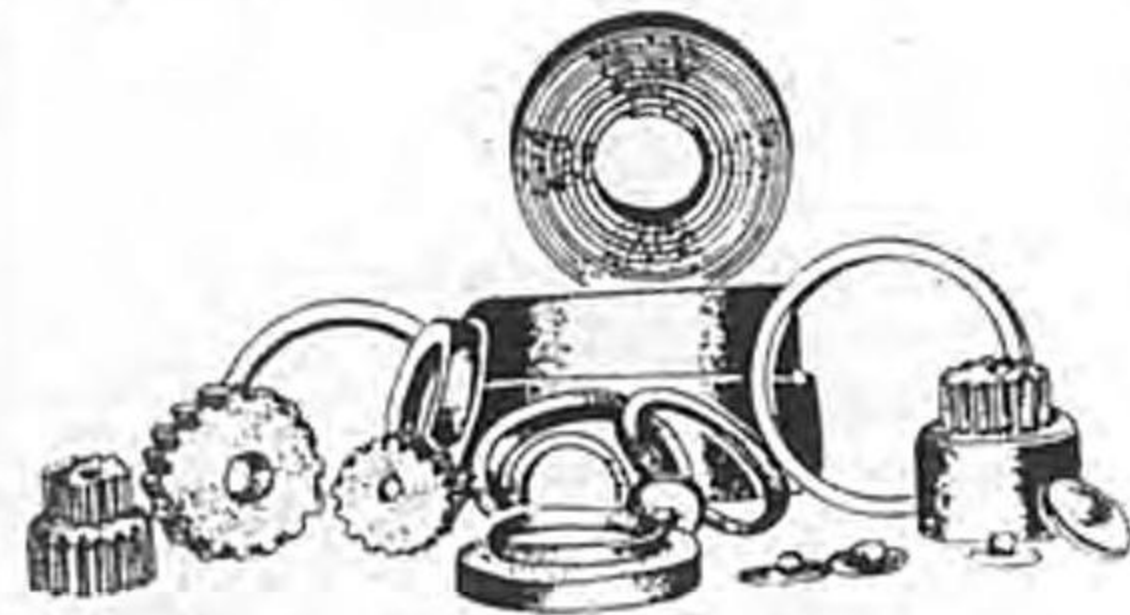
本所專賣特許の製法に依り耐
 久力數倍にして齒車の音響擦
 熱を消滅し工場能率を高め、
 機械的損失を極減す

一 滑 止 床 敷 革

本品は各種船舶又は工場用と
 して從來のリノリウム又は
 鐵板、木板等の滑止品より各
 種の特性を有す

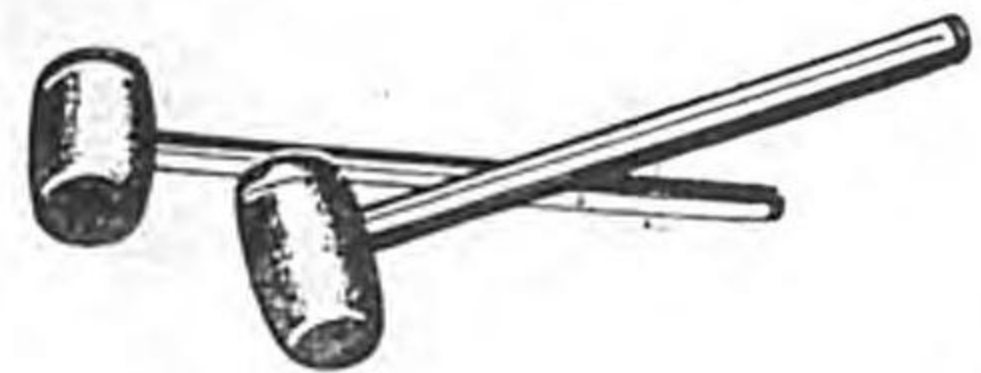
一 生 皮 槌

他品の如く毀損せず電機作業用に適す



製 品 種 目

高 壓 機 械 用 革 パ ッ キ ン グ
 空 氣 壓 搾 機 械 用 革 パ ッ キ ン グ
 生 皮 製 齒 車 ・ 滑 止 床 敷 革
 生 皮 槌 ・ 帶 革 ・ 丸 皮 製 品
 其 他 各 種 皮 革



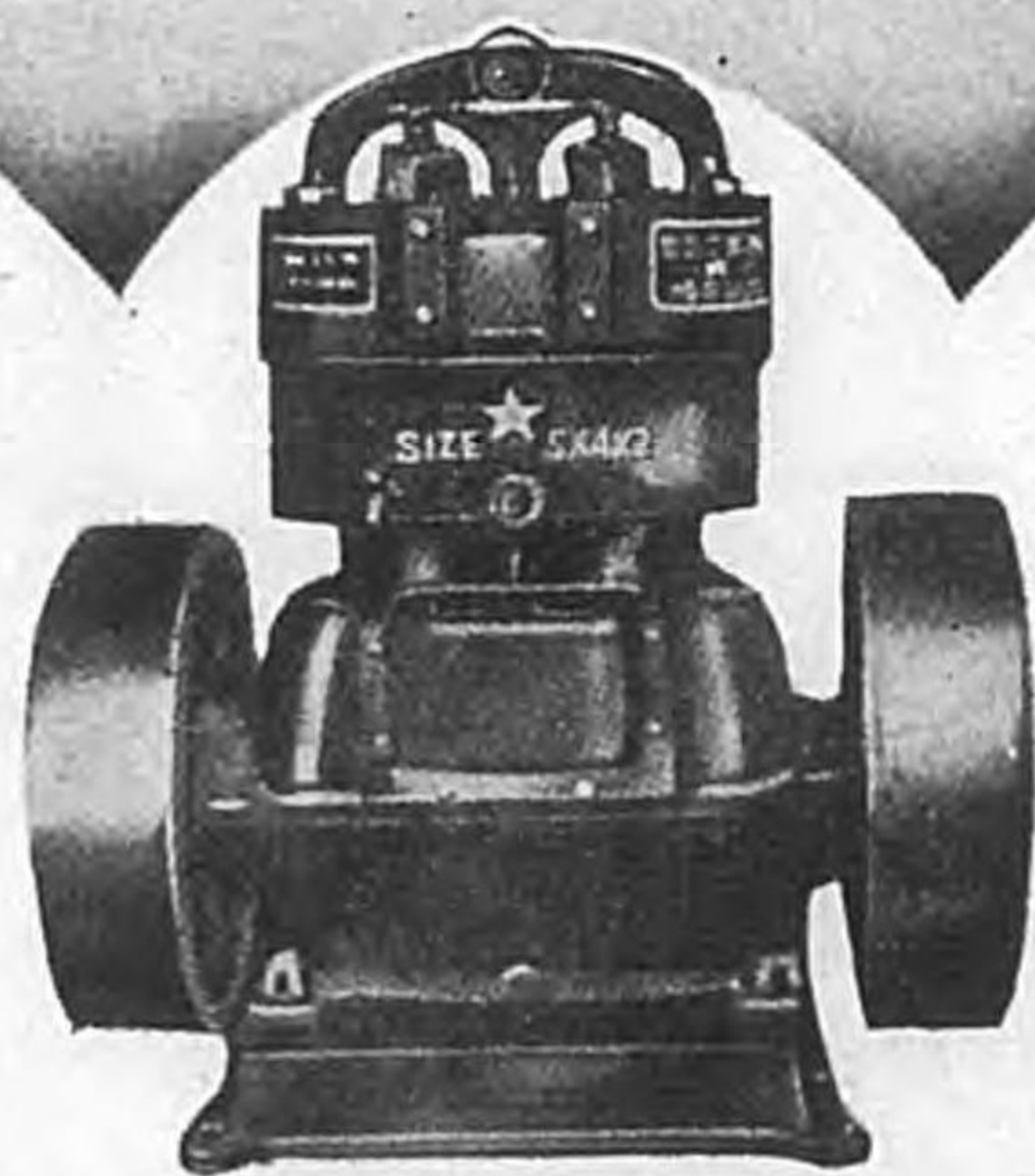
海 軍 省 指 定 工 場

小 鹿 皮 革 工 業 所

營 業 所 大 阪 市 西 淀 川 區 花 川 町
 電 話 福 島 二 三 四 七 番
 工 場 大 阪 府 北 河 內 郡 津 田 村 字 津 田
 電 話 津 田 二 番

スター印

各種空氣壓縮機



合名 横田鐵工所

大阪市港區繁榮町一丁目九番地 電話西三〇五四番

鐵鋼商



株式會社

井

上

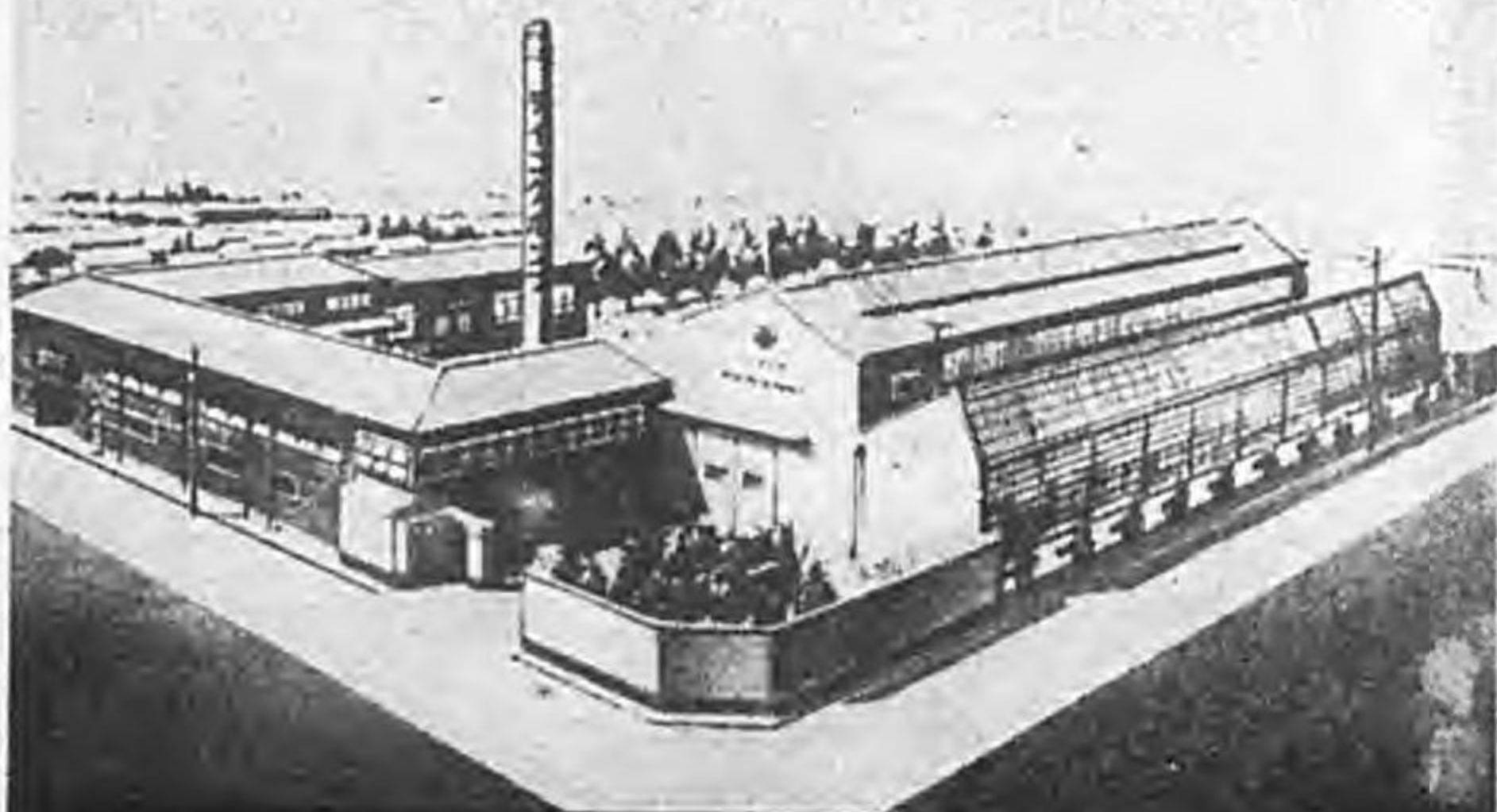
商

店

鐵筋、鐵骨材料
 ワイヤロッド、熔接棒
 合金鐵各種
 其他一般材料類

大阪市西區立賣堀南通四丁目十番地
 電話新町 ⑤ 六五三一(八)番
 受信略號大阪西局(テツ井ノミツ)
 發信略號(井)又ハ(井ミ)
 振替口座大阪六二五八九番

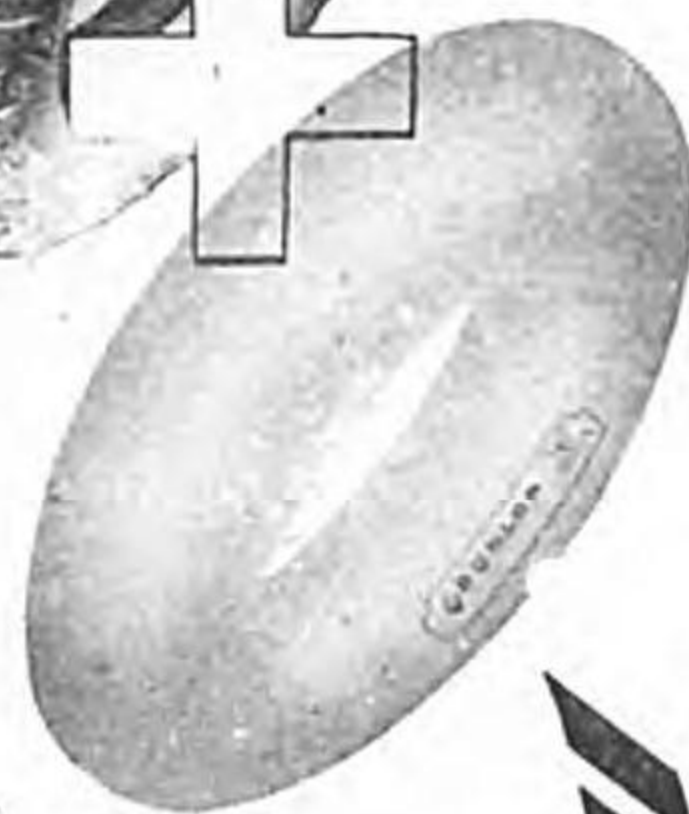
帝國ポンプ。



株式會社 帝國機械製作所

大阪市西淀川区野里町九八 電話福島 2884・4527番

經濟と安全性は
ダンロップフォートバルーンの



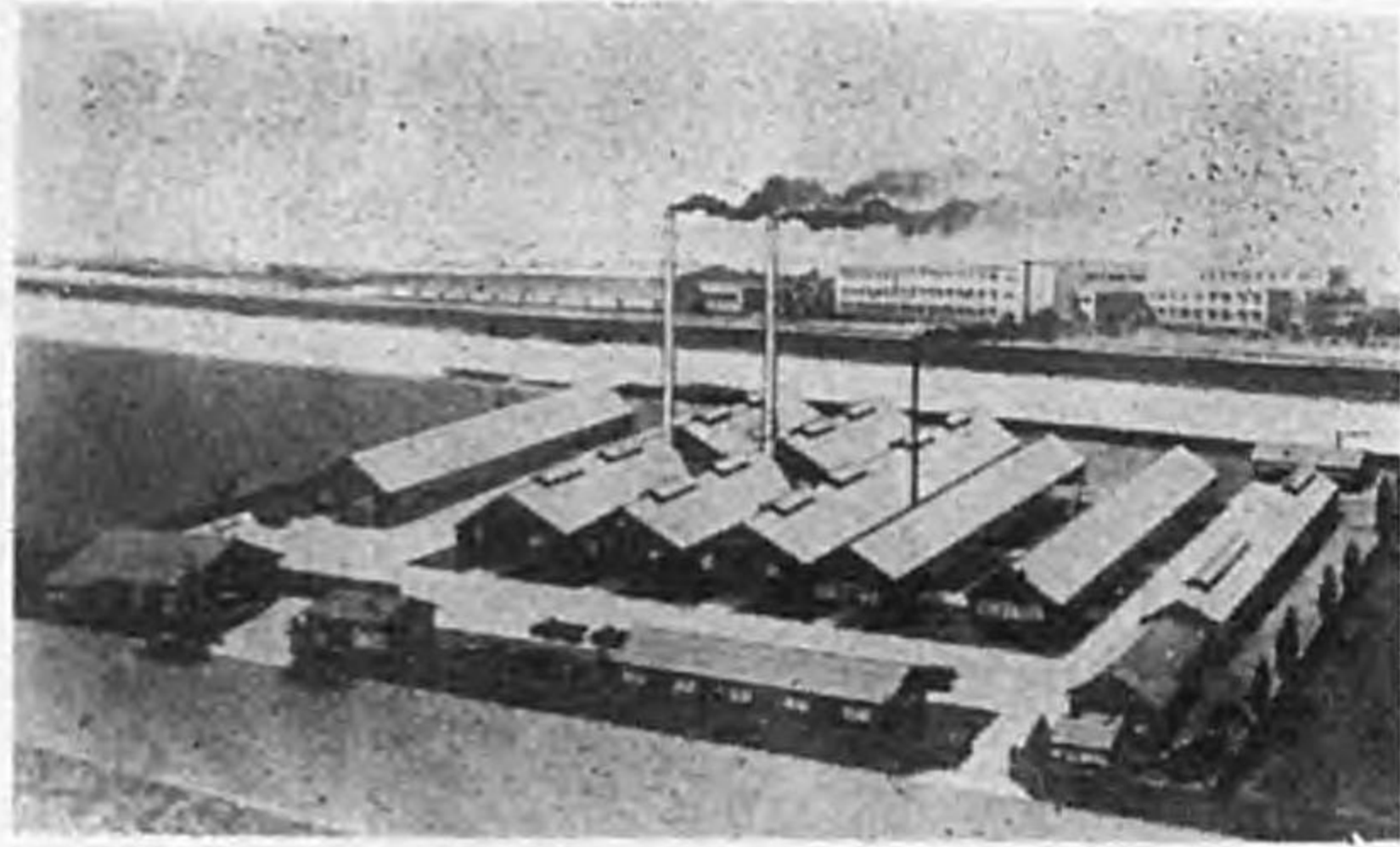
御使用に依つて
得られます！



御買込

神戸市

日本ダンロップ護謨株式會社



陸、海軍、鐵道各省指定工場

三井鑛山
株式會社

目黒研削砥石工場

東京市目黒區中目黒一丁目七三
電話大崎 ① 三六九一番

販賣代理店

三井物産株式會社

大連支店 大連市山縣通一八二

株式會社 永順洋行機械部

大連本社 大連市山縣通八八
奉天出張所 奉天大西門裡千石橋胡同三三



工作機械用

高級鑄鐵

浪速鑄造所

代表社員 松原藤次郎

大阪府豊能郡庄内村新三國橋北詰
電話北二〇七五番



株式會社
島田硝子製造所

製産品目	
電燈	食卓用硝子器
照明硝子	建築用硝子
硝子器	クリスタルカットグラス
	高圧ゲージ硝子
	其他一般硝子器

大阪市西淀川區海老江下三丁目
電話島一〇五五・一〇五六・一〇五八番

大阪市内販賣所
大阪市南區安堂寺橋通二丁目(堺筋角)
電話船場二九四八番

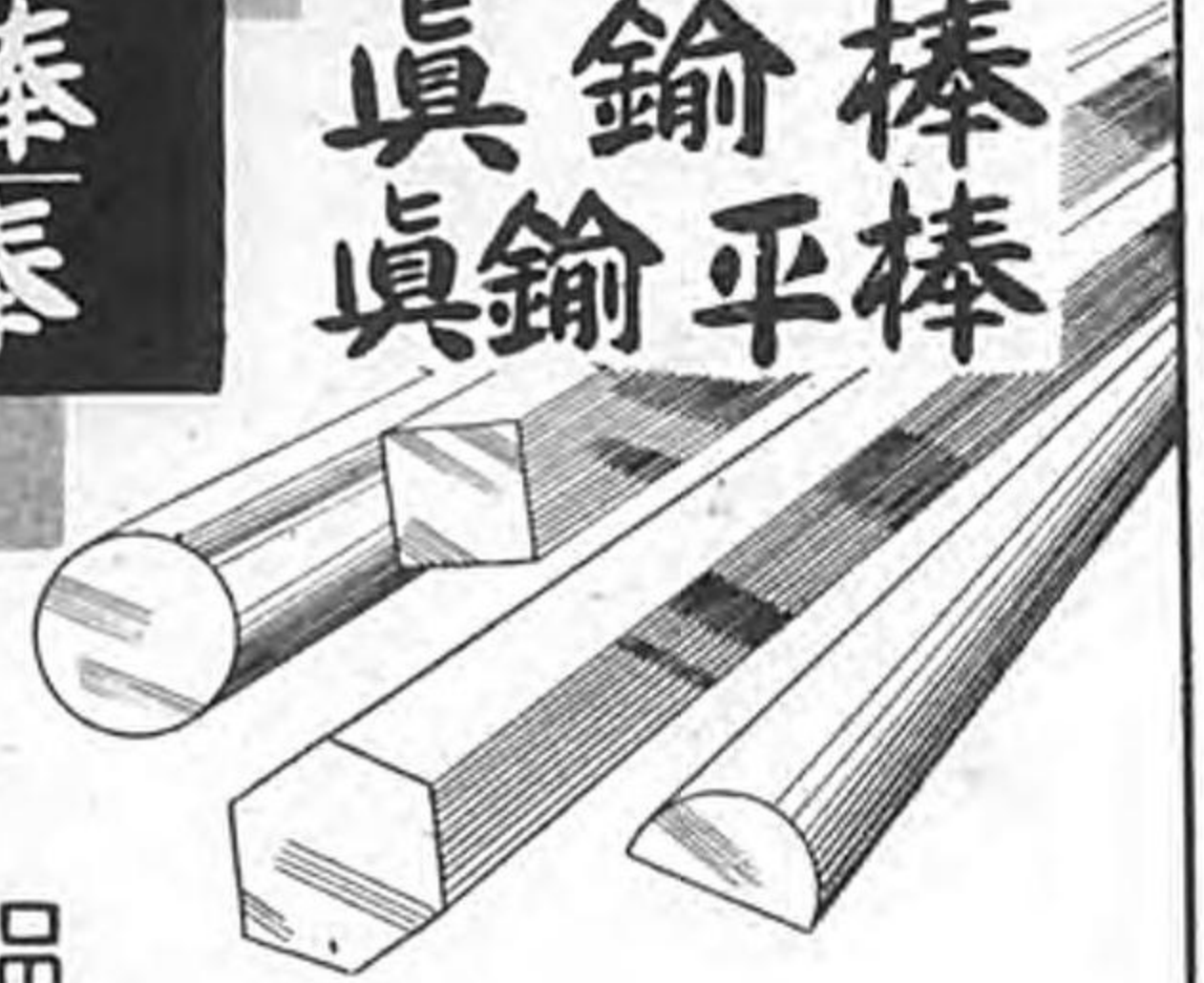
東京支店
東京市神田區東福田町十六番地
電話浪花二六二〇・二六二二番

京都販賣所
京都市二條通河原町東入
電話上五三三番

名古屋販賣所
名古屋市東區朝日町二丁目十三番地
電話東四五七九番

銅板
銅棒
銅平棒

真鍮板
真鍮棒
真鍮平棒



其他各種異形品

(陸海軍規格品)



三寶伸銅工業株式會社

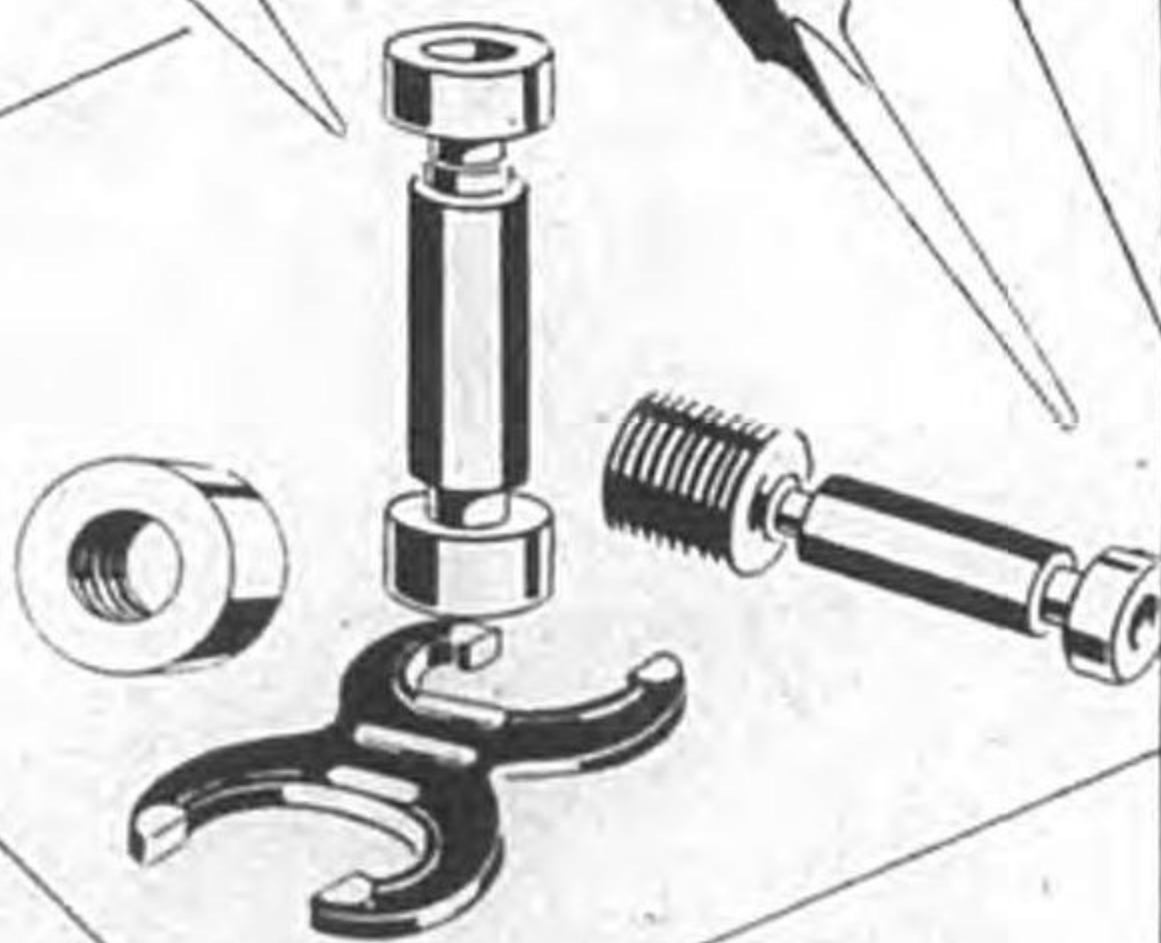
堺市中生島町四丁目三七
電話堺 3157・3541 番

魚印精密鑿



雙魚商標

精密小型工作機及彫刻機
マイクログレータ
模範挾範・治具取付具
ダイヤルゲージ及保持器
魚印精密鑿・型鍛造品
特許金屬減摩劑グリーキンス



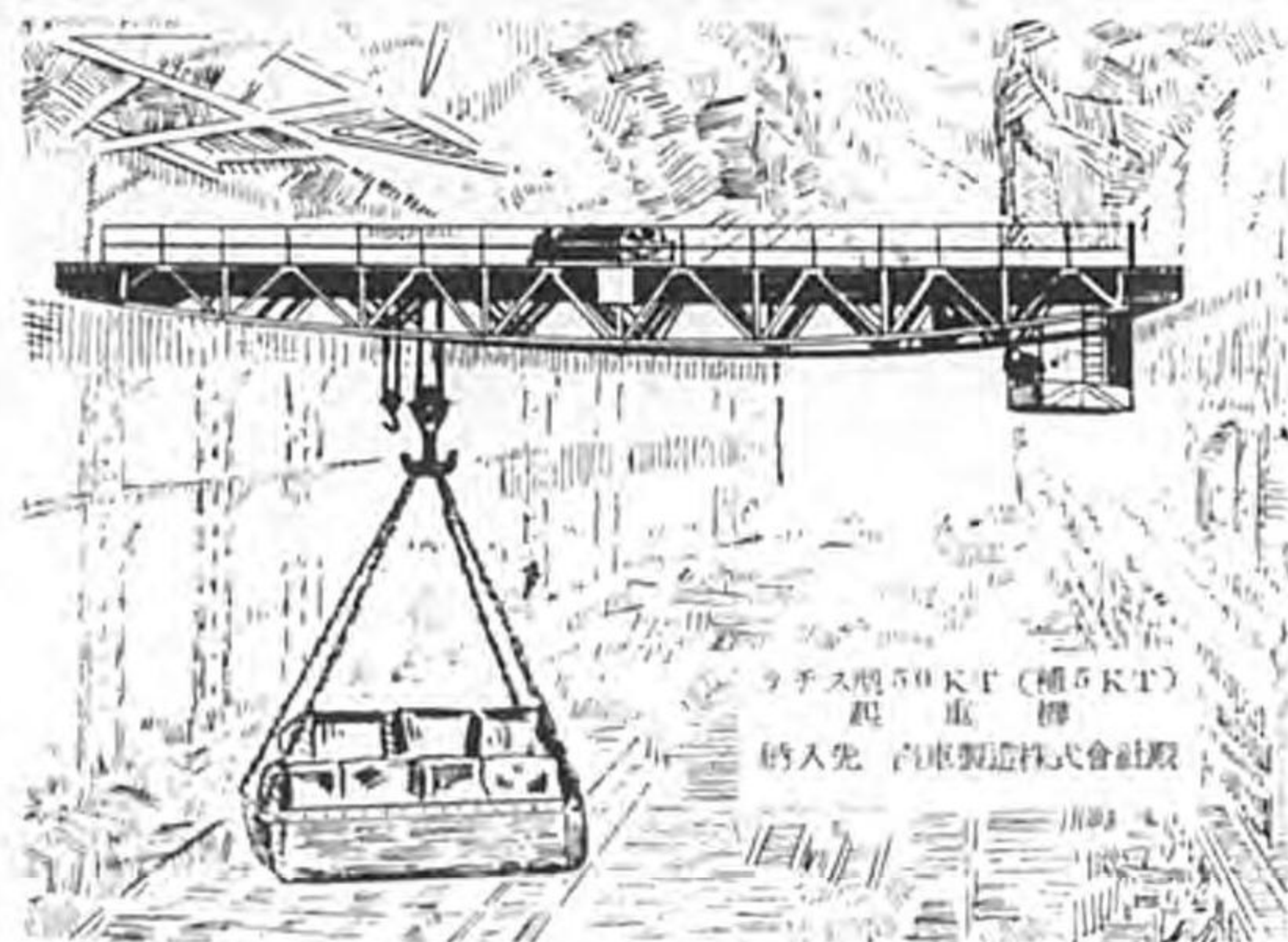
阪野商店

大阪市西區幸町五丁目(日吉橋南詰)
電話櫻川二九六五・七三二三番 振替口座大阪六二二二六番

輸送機
専門

O.K.S 電動高架起重機

納期
厳守



ラチス型50KT(補5KT)
起重機
納入先 汽車製造株式会社殿

ELECTRIC OVERHEAD
TRAVELLING CRANES

株式会社

大阪工機製作所

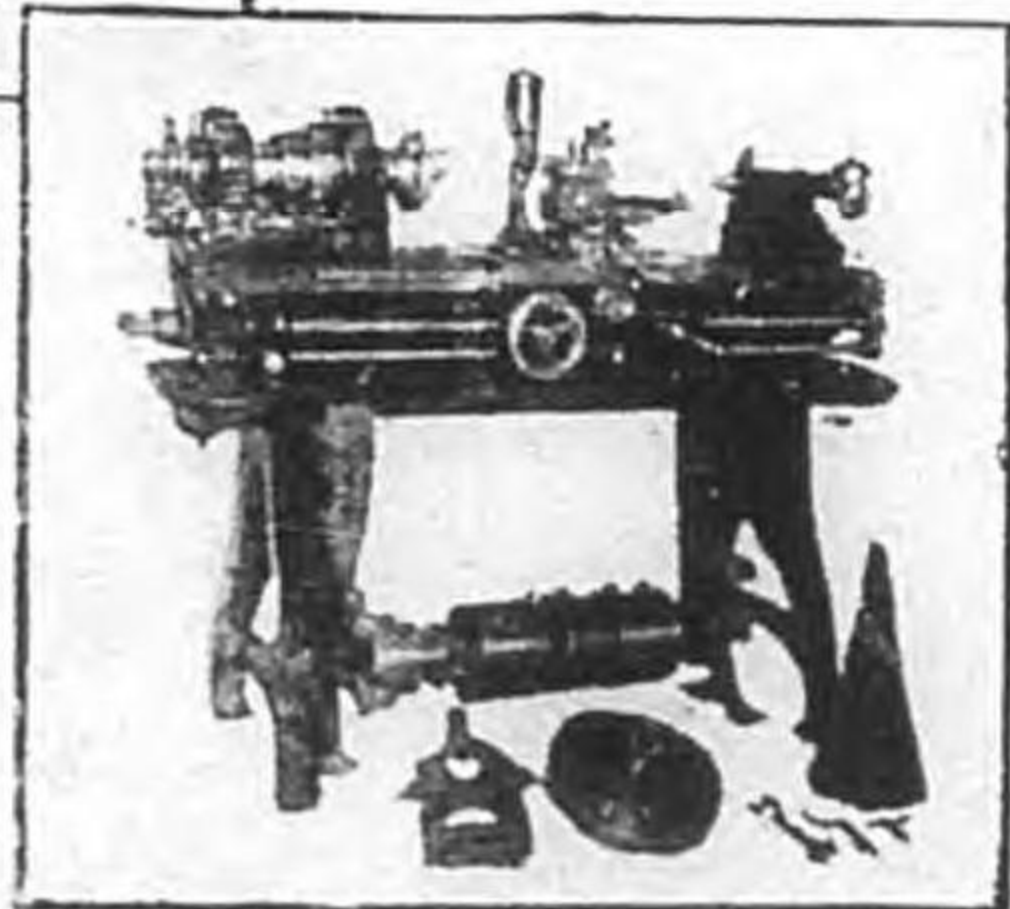
本社工場 大阪市西淀川區佃町一二一五
電話福島四六九二番
東京營業所 東京市京橋區寶町一ノ六
電話京橋二七二二番

高級米式旋盤

三呎六吋



四呎六吋
(テーブルアタッチメント)
附キモアリ



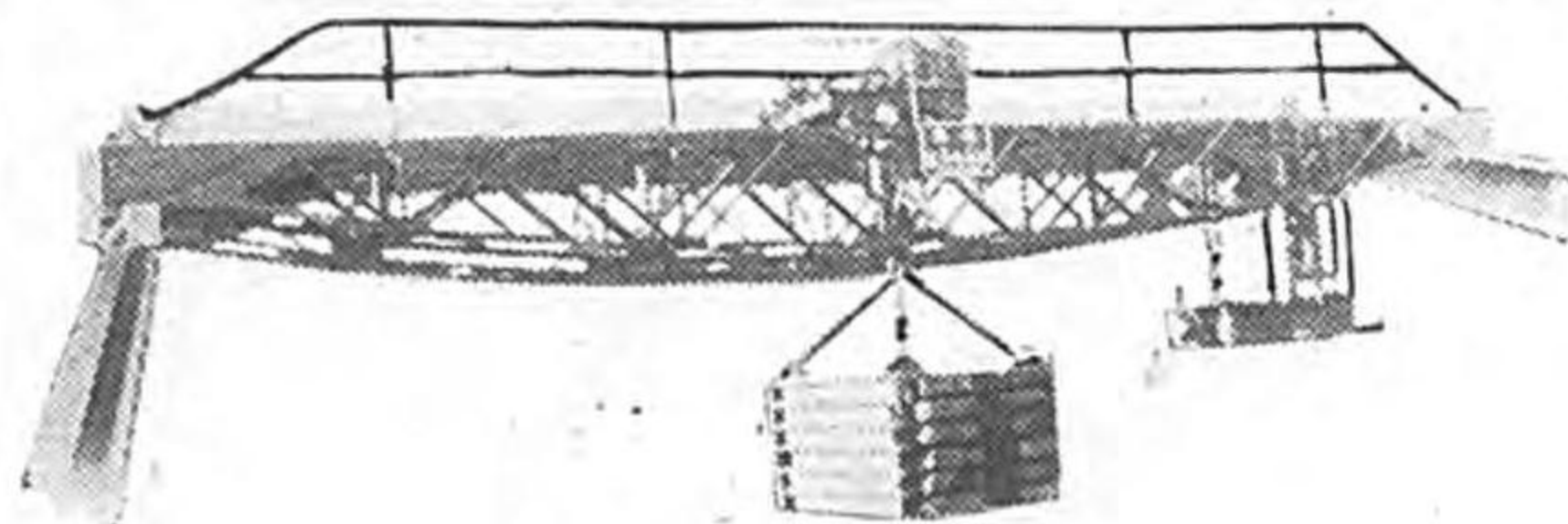
在
庫
豐
富
乞
御
照
會

カタログ進呈

大和商店

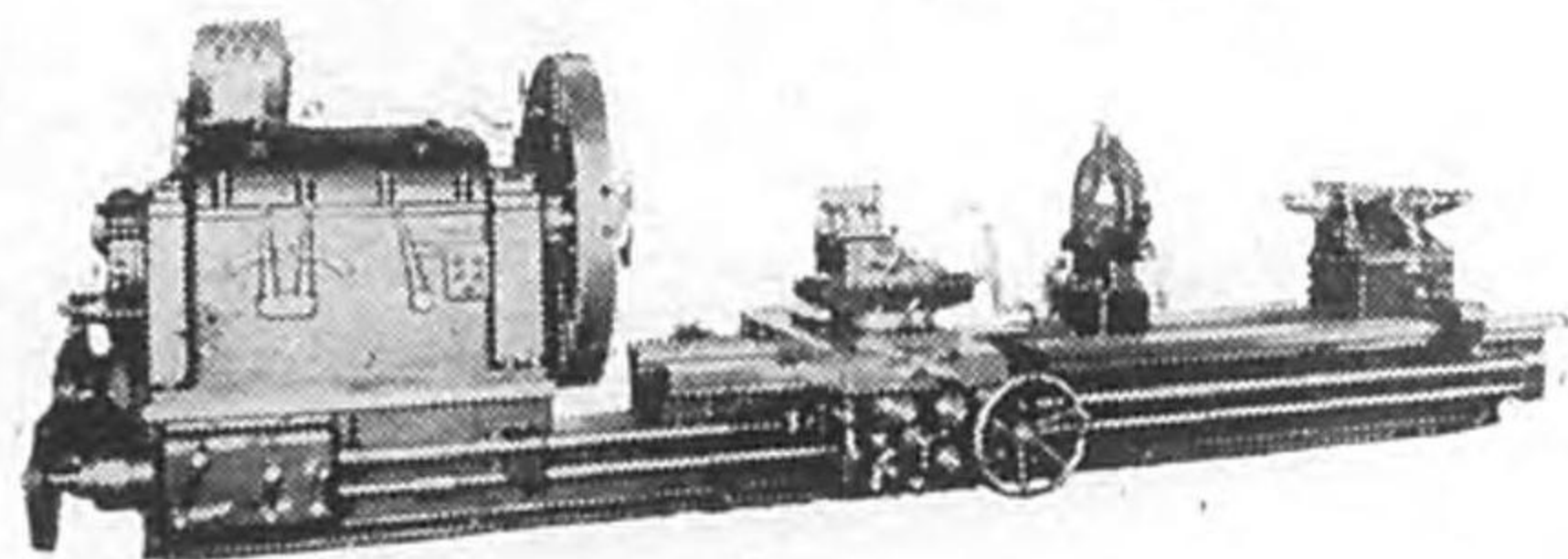
東京市京橋區銀座西八丁目九番地
電話銀座④四〇五二番三二二七番

星加式起重機及大型高級旋盤



營業種目

起
重
機
各
種
輸
送
機
道
路
輾
壓
機
各
種
ポ
ン
プ
大
型
高
級
旋
盤
諸
機
械
製
作



大阪市大正區泉尾松之町一丁目二九

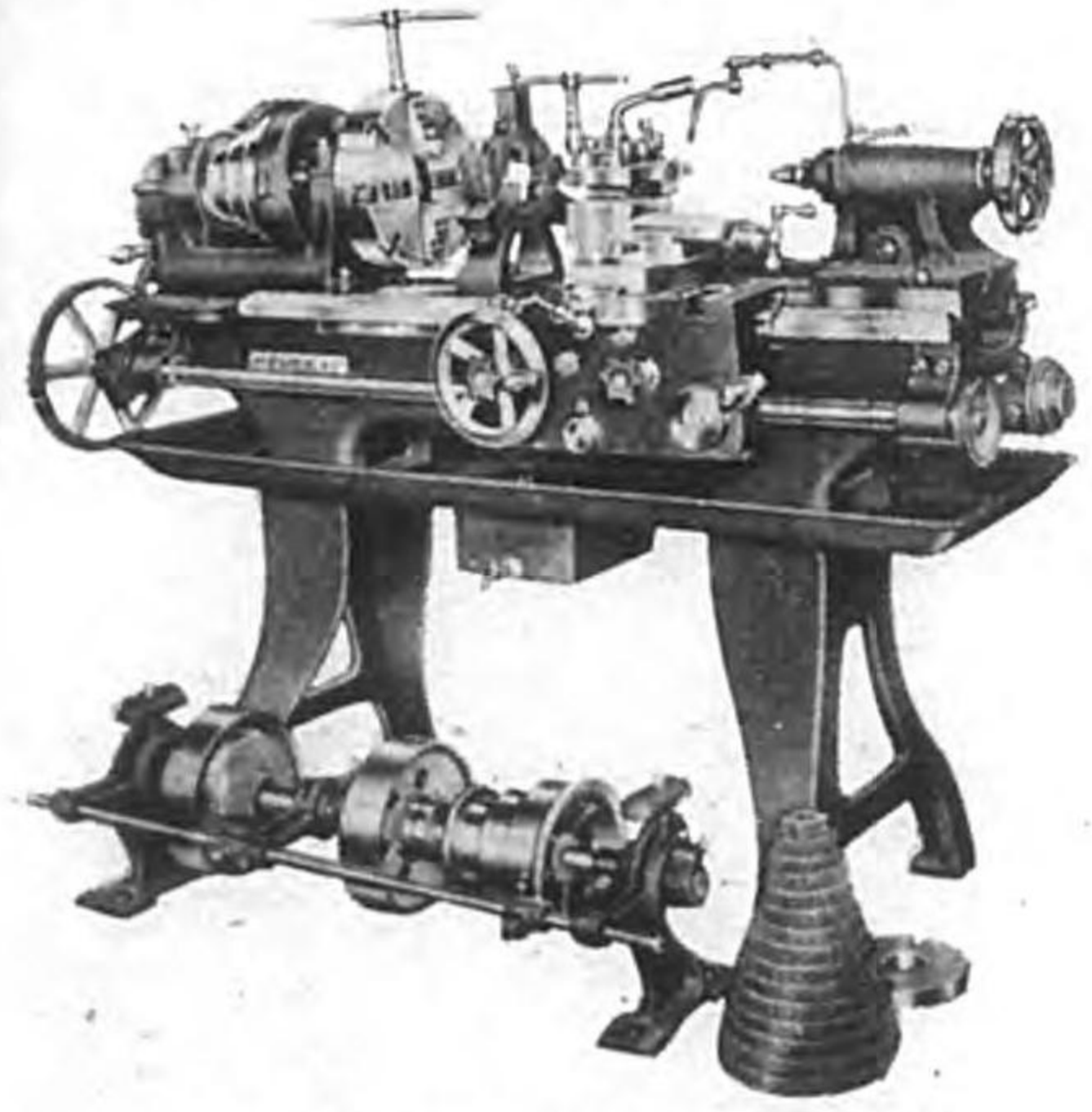
合
名
社

星加製作所

電話櫻川④四三一一番

高級精密旋盤

四呎六吋強力米式旋盤



各種工作機械製作

攝陽機械工業社

大阪市西區北堀江通五丁目十二番地
電話新町 ④ 四三五六番

引拔鋼管製造販賣

高壓用、ボイラーチューブ、ステータチューブ
自動車用、機關車用、ロール用

株式會社 三ヶ市鋼管製造所

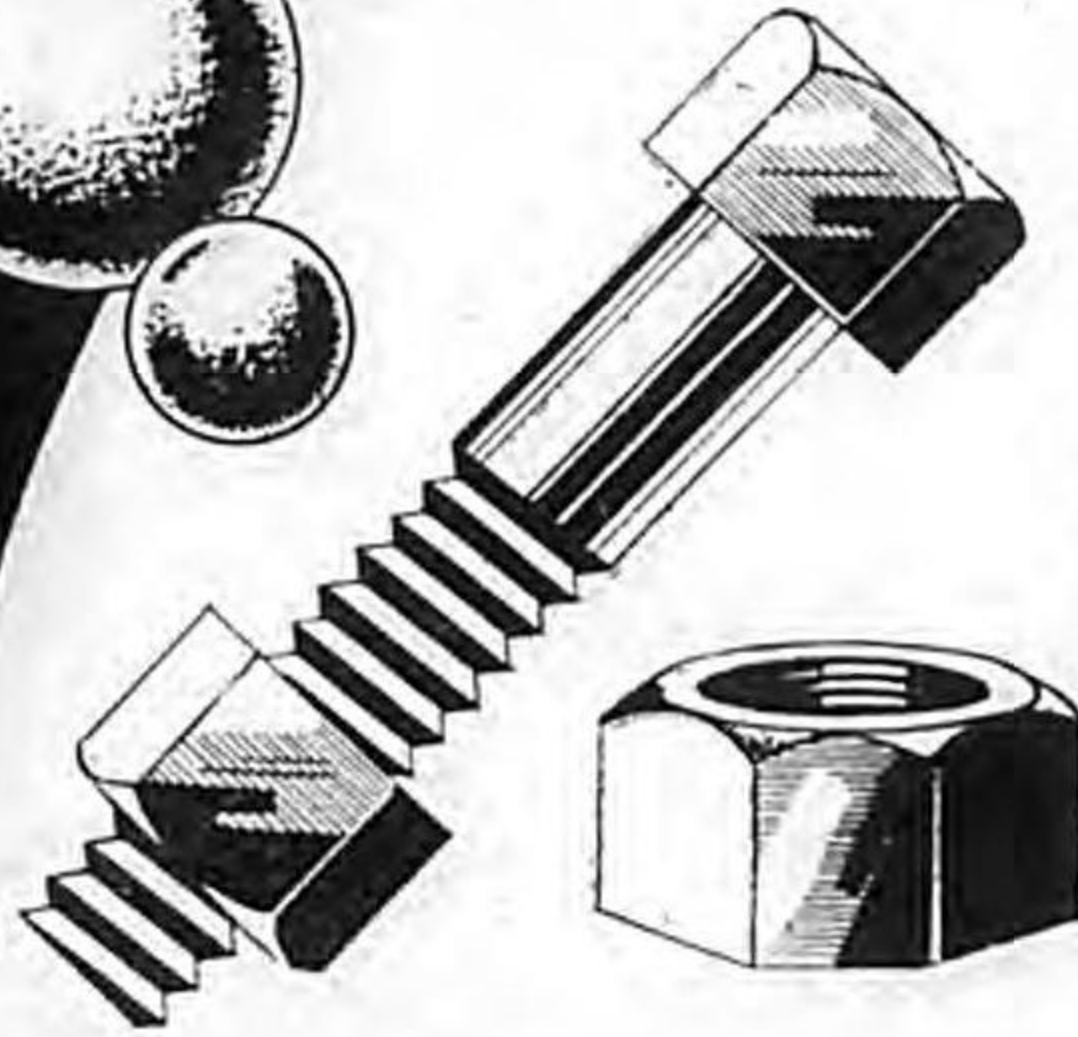
大阪出張所 大阪府南河内郡三ヶ市町
電話長野一四九番
大阪市西區立賣堀南通五ノ二九
電話新町 ④ 二三一・一一七三番

CYCLEEED

優良国産

スチールボール

10
3
吋迄在庫豊富



最優秀
ミシテ廉價

各寸法
在庫豊富

諸機械工具製作販賣

樽垣商店

大阪市西區新町南通四ノ一九 電話新町 3239番

黒及ヒ磨

ナット・ボール

製作販賣

前
六五

MOULDING POWDER

合成樹脂



合成樹脂製造發賣元

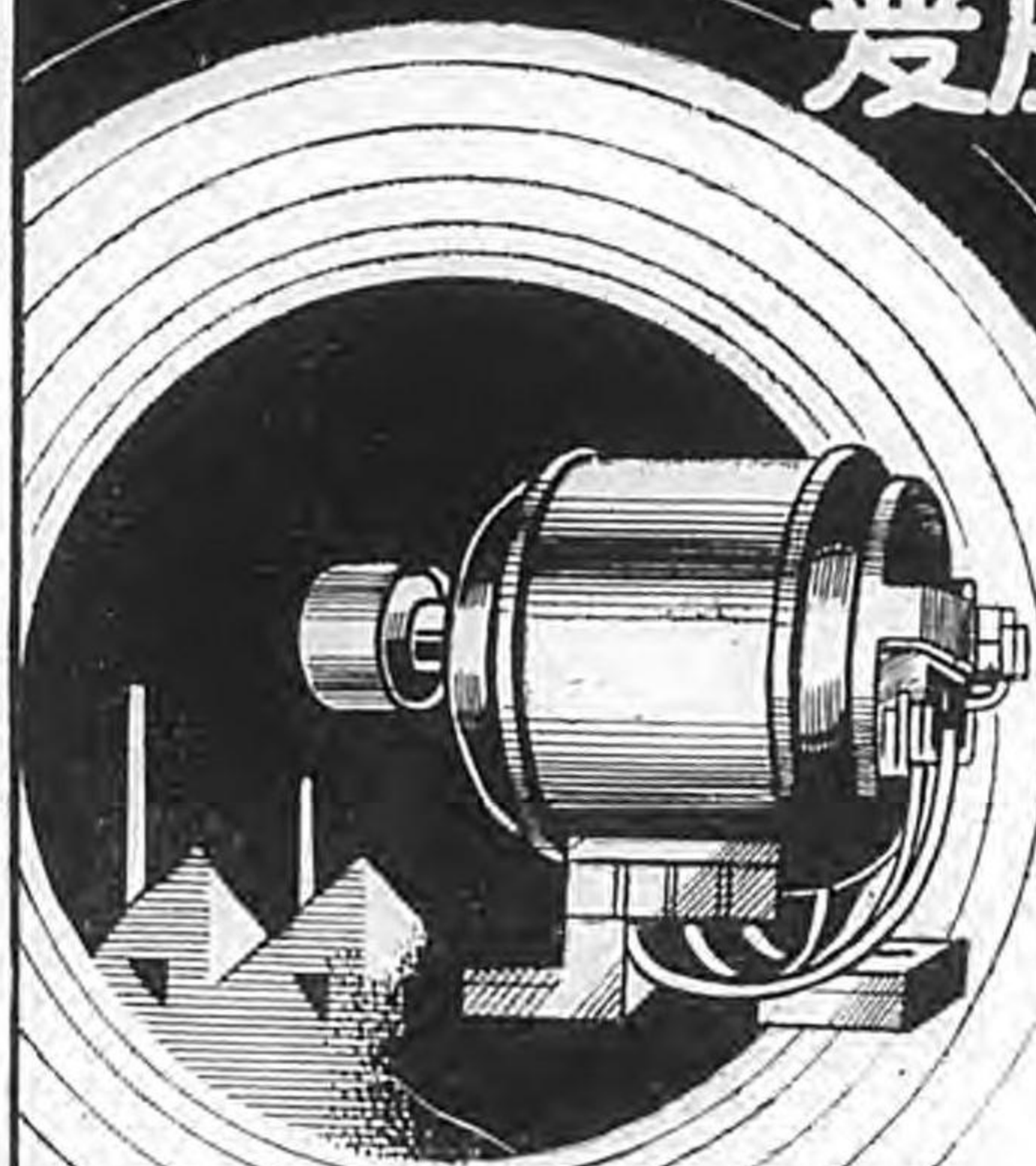
三國ライト工業所

大阪市東淀川區三國本町一三〇

電話三國二六八番

前
六四

モートル・發電氣 変圧機

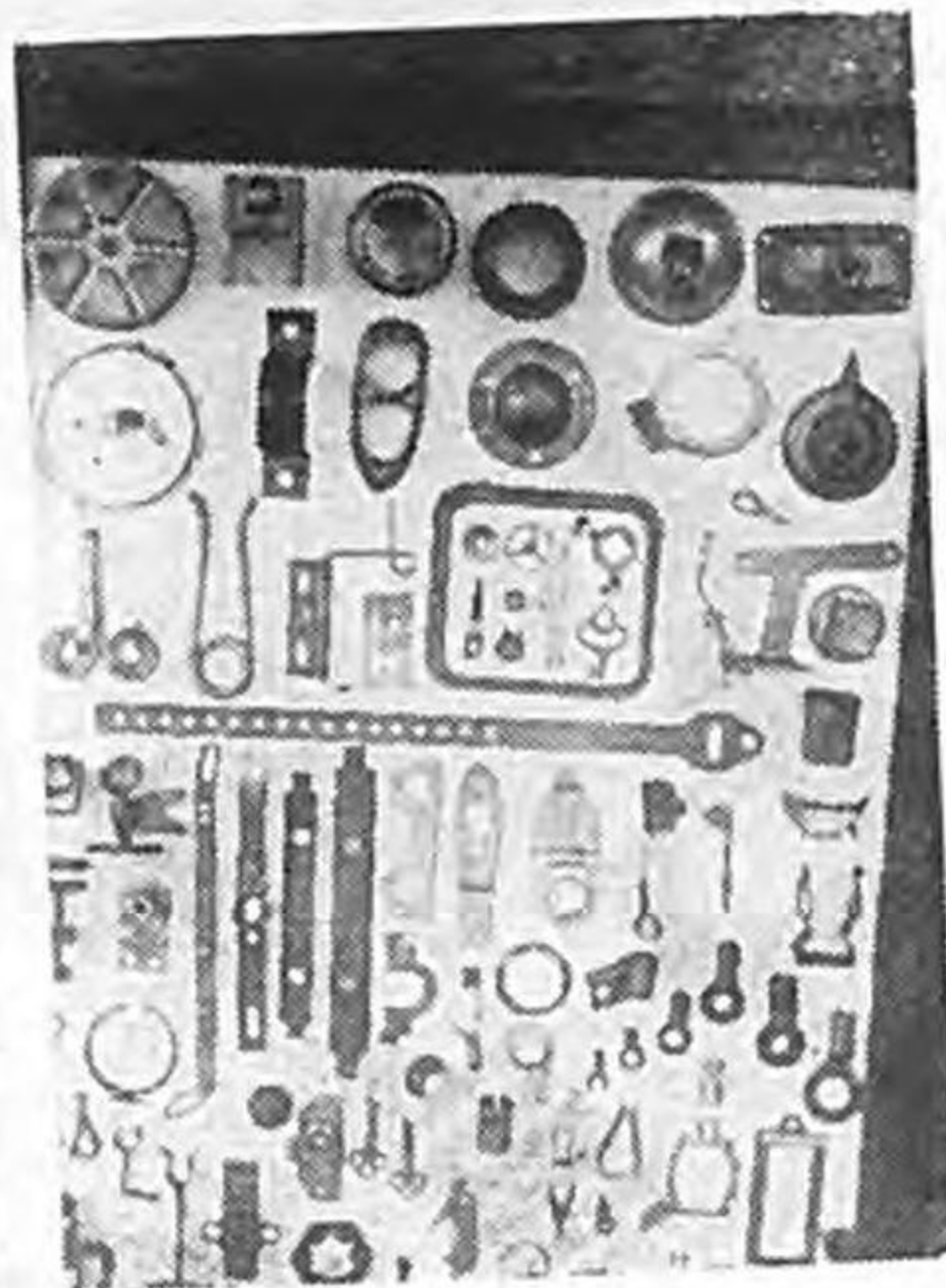


新古
在庫豊富

舞鶴電機合名會社

大阪市此花區玉川町三丁目
電話 福島 287、1292、2167、5047
川口支店 大阪市西區本田二番町 電話西 7493
工場 大阪市此花區中江町四三 電話福島 769

金属板物押物百般



目課業營

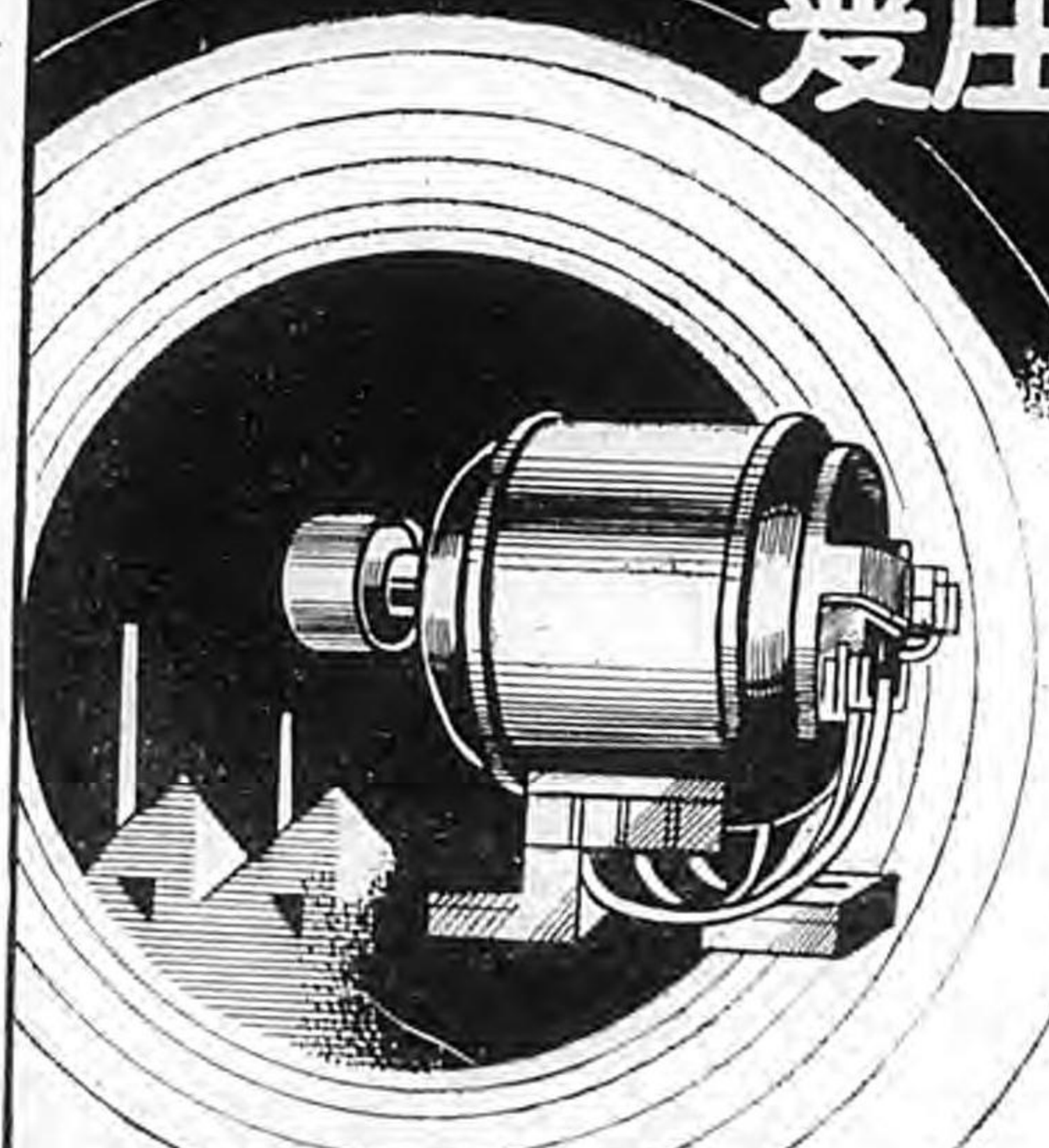
物押物拔屬金
般 百

並 諸 建 電 紡
仕 機 築 氣 績
上 械 金 用 用
ダ 用 物 品 品

原製作所!

大阪市港區九條通二丁目七二
電話 西 二 六 七 三 番

モートル・發電氣 変圧機

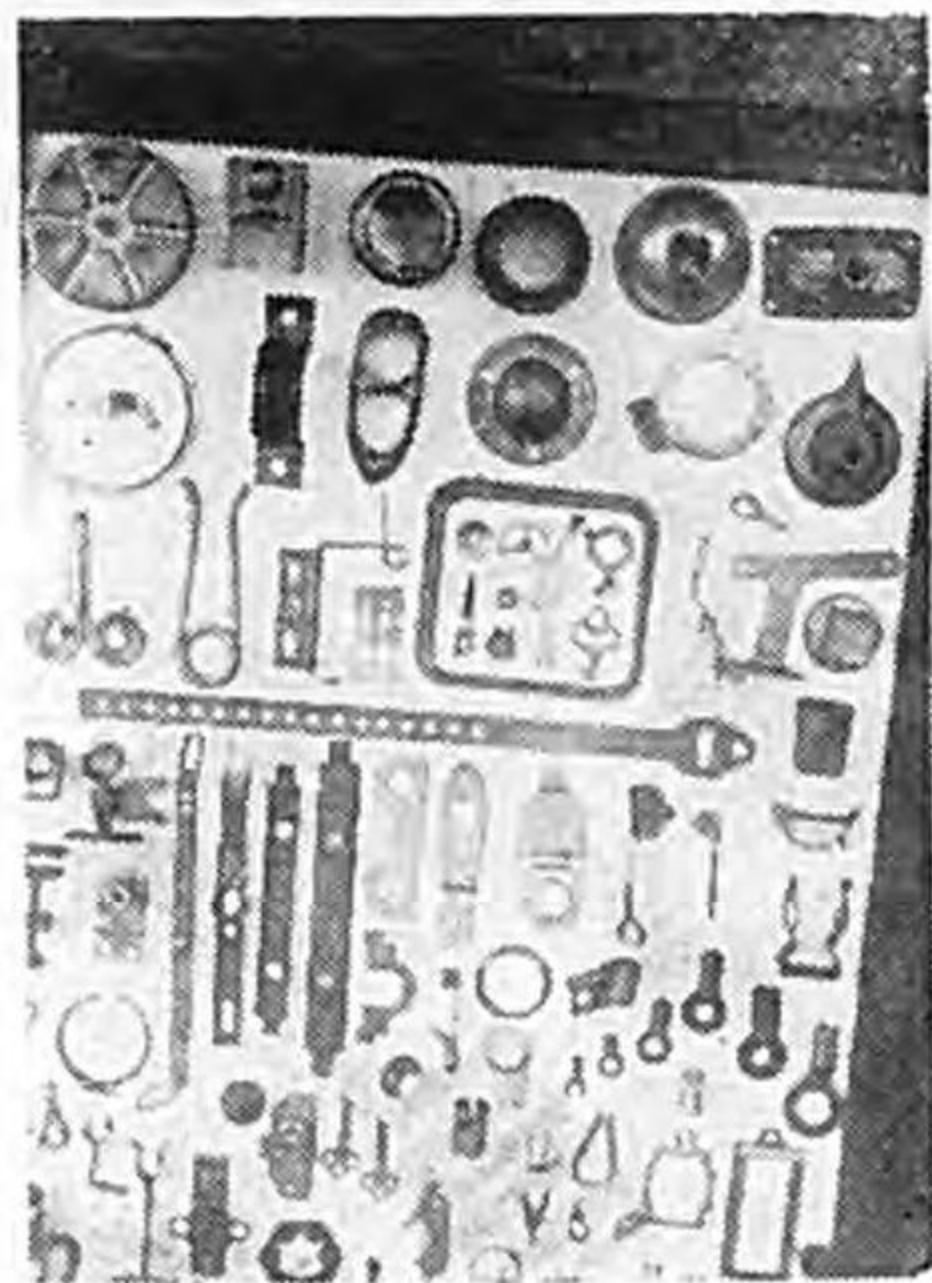


新古
在庫豊富

舞鶴電機合名會社

大阪市此花區玉川町三丁目
電話 福島 287、1292、2167、5047
川口支店 大阪市西區本田二番町 電話 西 7493
工場 大阪市此花區中江町四三 電話 福島 769

金属拔物押物百般



營業課目

物押物拔属金
般 百

並 諸 建 電 紡
仕 機 築 氣 績
上 械 金 用 用
ゲ 用 物 品 品

原製作所!

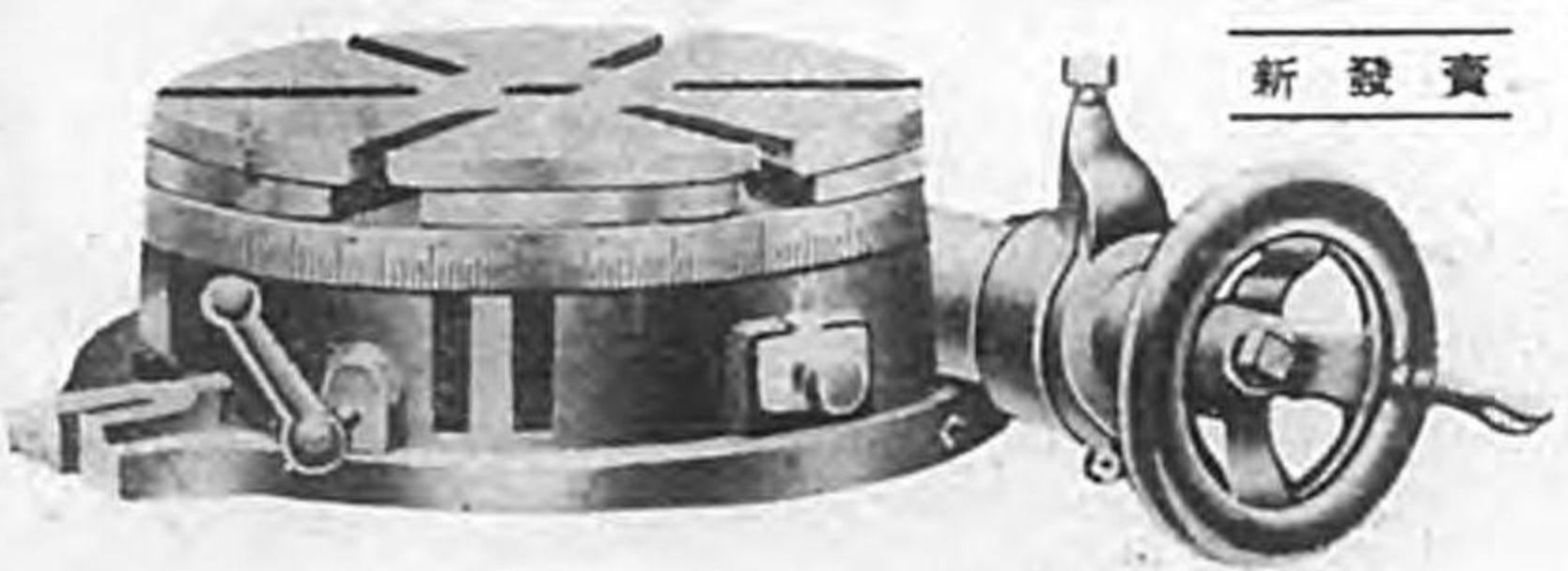
大阪市港區九條通二丁目七二
電話 西 二 六 七 三 番



何でも揃ふ
陸船

発動機用品と
機械工具

ミーリング フライス盤に
不可欠のサーキュラ テーブル



ネリオ商店

大阪市西區北堀江二番町三二番地
電話新町④四〇六四番
振替大阪一〇九六二番・神戸八六一五番

(カタログ贈呈)



鐵金合

合メメフフフフ
タタエエエエ
金リリロフロロ
ツツモオマシ
劑ククリスフン
マシリブオガ
一ンリブオガ
ガコデロガ
式ンンスン

スナミ商会

大阪市西區南堀江下通三丁目一六番地

電話樓川 七三三三
〇二四〇
三六四五
二六三四
番番番番

倉庫 西區岩崎橋西詰濱
電話西五〇五四番

好評

鳥印

エナメル・ワニス

カボライトラッカー、
グロメル 類料、



販大 元 造 製
所 造 製 料 塗 上 川 各 合
社 會

寄 販 手 一 地 要 主 外 海
社 會 式 株 産 物 井 三

日本鋼管株式會社
住友金屬工業株式會社 製

瓦 斯 管

一 手 販 賣

日本瓦斯管販賣株式會社

大阪市西區立賣堀南通五丁目

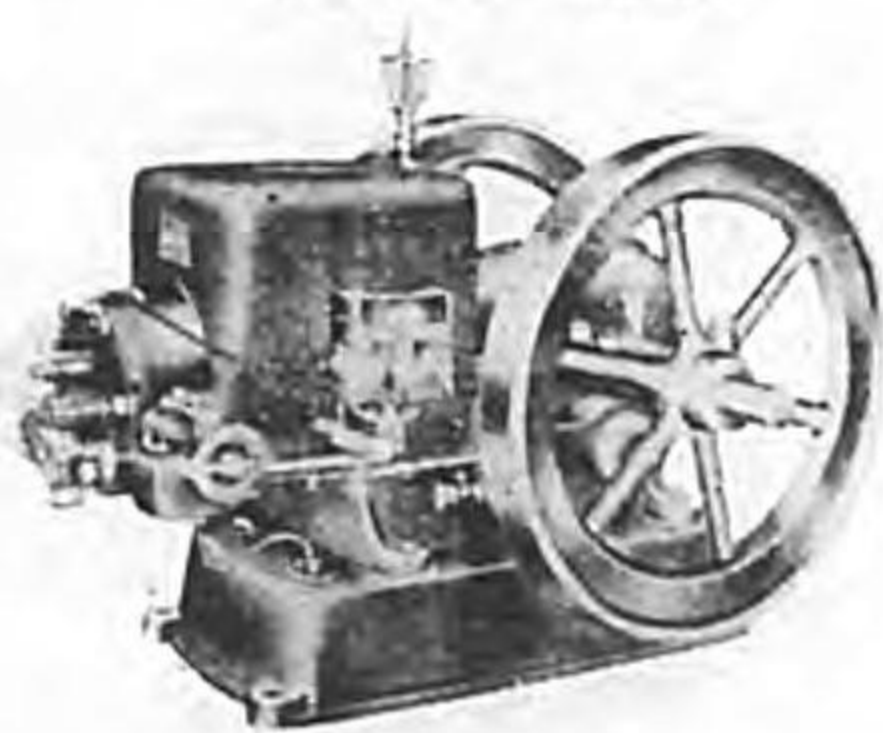
發動機部分品全般



機械工具

最新小型陸用發動機

キャブレター



株式會社

小林弘之介商店

大阪市西區新町南通三丁目二九
電話新町⑤三六二八番
岡山營業所 岡山市下田町三八
電話六二四五・六二四六番

LOW CARBON FERRO-TITANIUM



低炭素7四千タニウム

弊社獨特製品

(一號品)	(二號品)	(三號品)
Ti.....3.5%	Ti.....3.2%	Ti.....2.7%
C.....0.05%	C.....0.05%	C.....0.06%
P.....痕跡	P.....痕跡	P.....痕跡
S.....痕跡	C.....痕跡	S.....痕跡

◎強力ナル脱炭素脱酸劑ニシテ強磁石材、強靱鋼材、不銹鋼材等ニ「フェロヴァナチウム」「フェロモリブデン」ノ代用品トシテ極メテ低廉ニシテ効果偉大ナリ

製造販賣元

太陽曹達株式會社

東京出張所 東京市麹町區丸ノ内三丁目3號館2號1階
電話丸ノ内⑤1012・1013・2360・2361番
大阪支店 大阪市東區今橋3丁目30・日商ビル五階
電話北濱778番・4861番

本邦唯一の國産品!

取扱品目 銅及眞鍮壓延板

関西伸銅製品販賣株式會社

大阪市西區立賣堀北通三丁目十四番地

電話新町 五五一五八番

指定問屋

株式會社吉田定七商店	大阪市南區大賣寺町中ノ町	伴野商店	大阪市南區東清水町二四
合名會社村上政雄商店	同 西區立賣堀北通四丁目	阪根金屬商工株式會社	同 南區末吉橋通貳丁目八
株式會社莊保商店	同 南區安堂寺橋通貳丁目	株式會社森野商店	同 西區西長堀北通五丁目
合名會社神谷商店	同 南區南炭屋町四一	三谷伸銅株式會社	同 浪速區惠美須町參ノ一九二
合名會社村崎商店	同 西區本田通壹丁目五一	京都支店大阪出張所	同 京都市下京區松原通富小路東
株式會社春田石松商店	同 南區谷町六丁目四六	コスガ商店	同 下京區七條通大宮西入
合資會社湯淺商店	同 西區西長堀北通五丁目六	合名會社西川商店	同 東山區大和路五條南入
西田商店	同 西區北堀江通五丁目一七	株式會社岡谷商店銅物部	同 名古市中區鐵砲町壹丁目



鐵管繼手類發賣元

鐵管繼手販賣株式會社

大阪市西區新町南通四丁目三番地

(第百ビル二階)

電話新町 四四九九八番

營業品目

石綿紡織製品
ブレーキ
ライニング
ジョイントシート
アスベストシート
電気絶縁硬質石綿
人造樹脂系
ニツセキライト
保温保冷材料
保温保冷工事

TRADE **N.S.K.** MARK

日本石綿工業株式会社

大阪市東區北濱四丁目五〇番地

小倉出張所 小倉市大門町十四番地 電話小倉二一二五
名古屋出張所 名古屋市葵町三十四番地 電話名古屋東六五七
大連代理店 大連市但馬町五十二番地 電話本局五二五八
京都代理店 三井物産株式会社京都出張所
名古屋代理店 大倉商事名古屋出張所

電話北濱二六五三・二六五四番
電信略號(ニホセ)
振替口座大阪四二九三八番

第一工場 大阪市西淀川區浦江北二丁目四六
第二工場 大阪府泉北郡和泉町伯太
第三工場 大阪府泉南郡東島取村
第四工場 岡山縣兒島郡宇野町

長瀬商店薬品部

化学組成

● **トリクレーン** (純トリクロールエチレン)

(不燃性新合成溶剤)

諸機械の清浄、汚濁油脂の除去、精製清浄劑

特製品

△トリクレーンDC (ドライクリーニング用)

△安全トリクロールエチレン (無水酒精製造用)

● **亜硝酸曹達**

● **尿素**

● **フォルマリン**

● **鹽素酸曹達**

● **燐酸曹達**

● **炭酸加里**

其他一般工業薬品

株式会社

長瀬商店薬品部

大阪市西區立賣場南通一丁目
電話新町 41・42・5931 (6)

營業科目

鐵鋼各種鋼材
中間鋼、特殊鋼
軌條及附屬品
製鋼、鑄鋼原料



株式會社

山口商店

社長 山口英一

本社 大阪市東成區南中濱町二丁目

電話東 三六一六八・三三二六八

夜間專用 二七九一三

出張所

東京市京橋區銀座八丁目
(共同火災ビル二階)

電話銀座座一九五七番

營業項目

スタンフォーチング製品(壓搾加工品)銅、黃銅其他特殊合金及鐵鋼
マンガン青銅、ニッケル青銅、アルミニウム青銅 棒 類
ネーバル真鍮、黃銅其他、陸海軍規格 類
高壓塞止弁類(耐水壓 壹萬封度迄)
捺染用銅口ヤスリ
(軍配印)各種

陸海軍省指定工場



東洋電氣株式會社

大阪市此花區大開町四丁目

電話土佐堀 二四三一・二四三二番

振替口座大阪 一一〇一番



株式會社

高田アルミニウム製作所

營業品目

マツタカ印アルミニウム製品
アルマイト製品
アルミニウム塊・板・管・棒・箔線

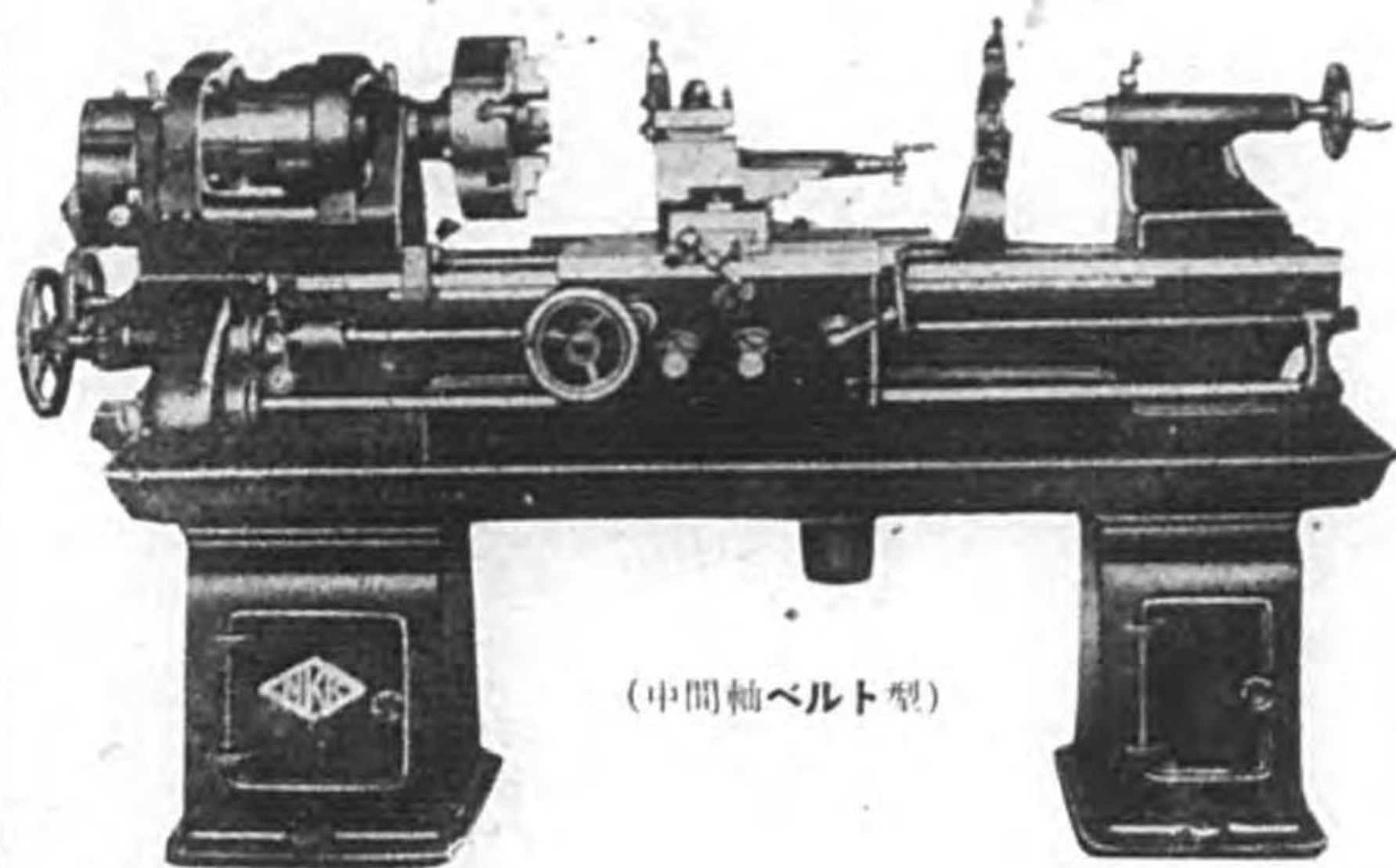
大阪市西成區西四條一丁目
電話 戎二四二・二四三・二四四・二四五

大阪工場 大阪市西成區鶴見橋通二丁目
堺工場 堺市南生島町(三三室)

NITTO MACHINE WORKS

高級米式旋盤

(テーブルアタッチメント付)



(中間軸ベルト型)

高級

工作機械専門製作



日東機械工作所

電話 福島 ④ 5258 番

佃工場 大阪市西淀川區佃町五七〇
姫島工場 大阪市西淀川區姫島町七九

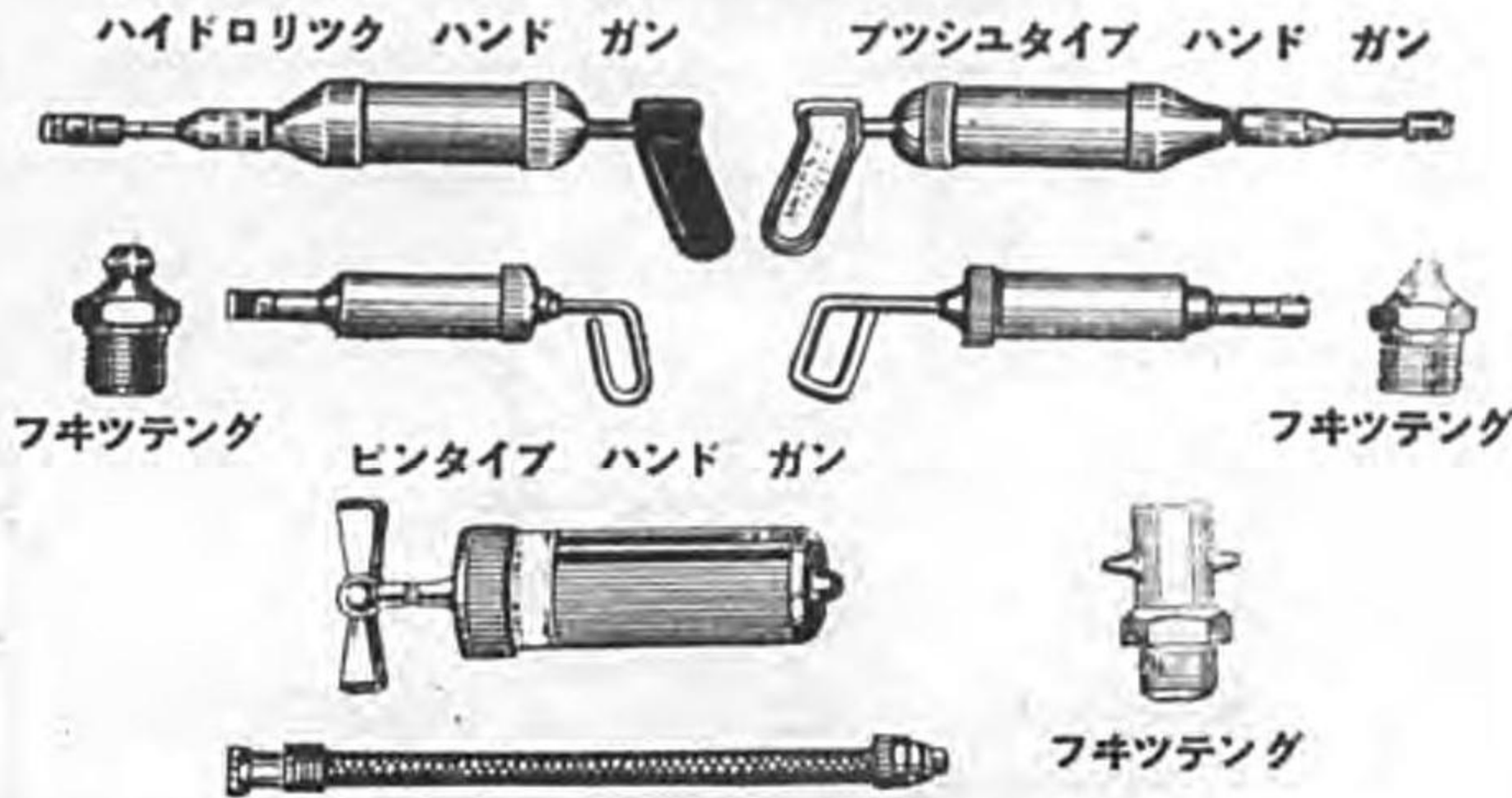
品質 **ALEMITE** 第一
LU BRICATORS

最も進歩せる給油に！

純國産アレマイト給油機

世界的優秀品位を誇る定評の給油機
「世界唯一」の品位を誇る定評の給油機

—日本政府並各國政府特許—



純正アレマイト給油機

最寄自動車用品店にあり

發 賣 元

東京 **安全自動車株式會社** 大阪

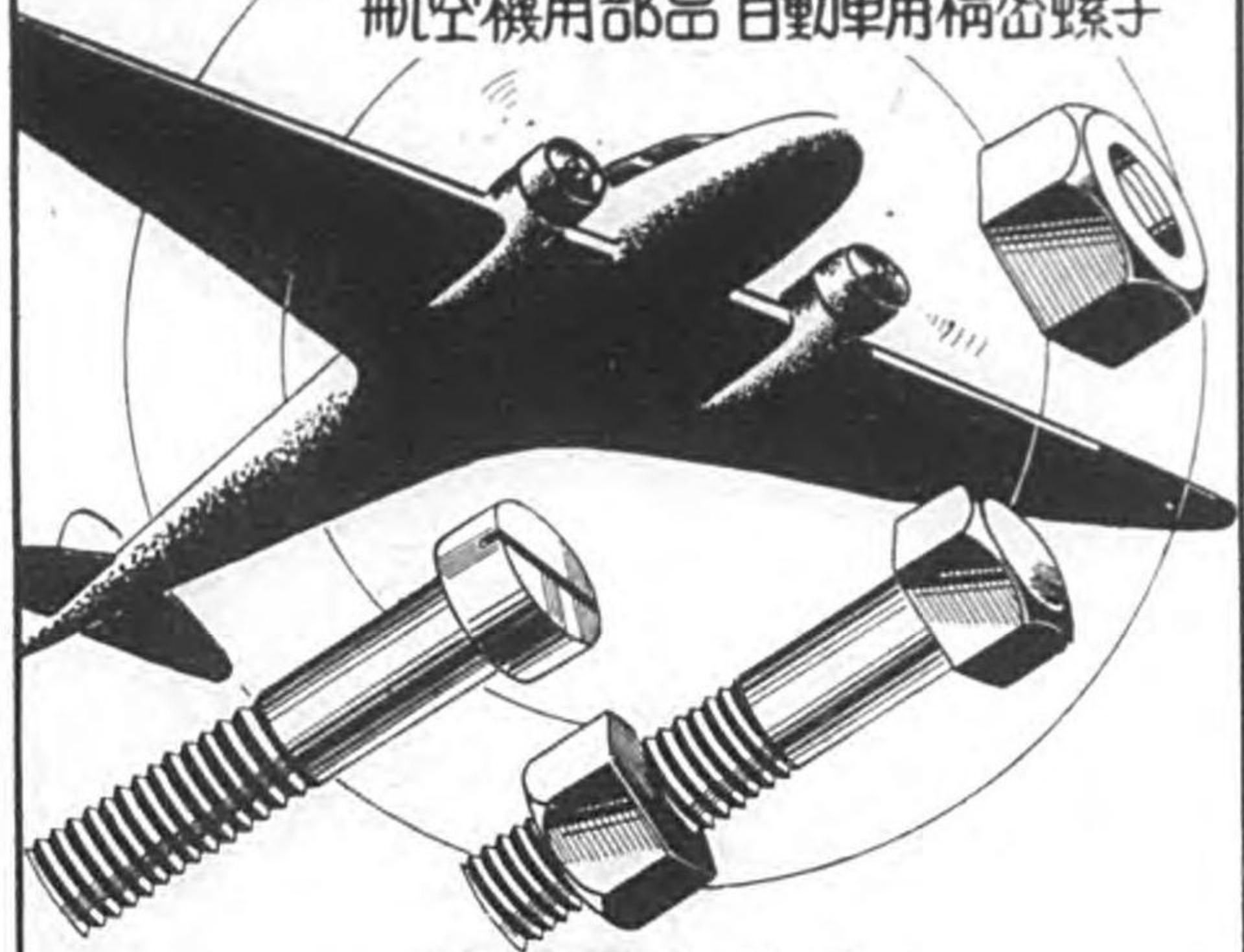
國産アレマイト

ハンド ガン 各型
ハンド ガン フキツテング 各種
ラム ガン 及 ゲット ガン

特殊精密ネジ

陸海軍規格ボルトナット

航空機用部品 自動車用精密螺子



陸海軍省御用

合資社 **村田製作所**

大阪市港區九條南通二丁目一六三

電話西④五九〇九番

工場 大阪市港區九條南通三

KBK

ボールベアリング



営業所

大阪市西區立賣堀北通四丁目一四

工場

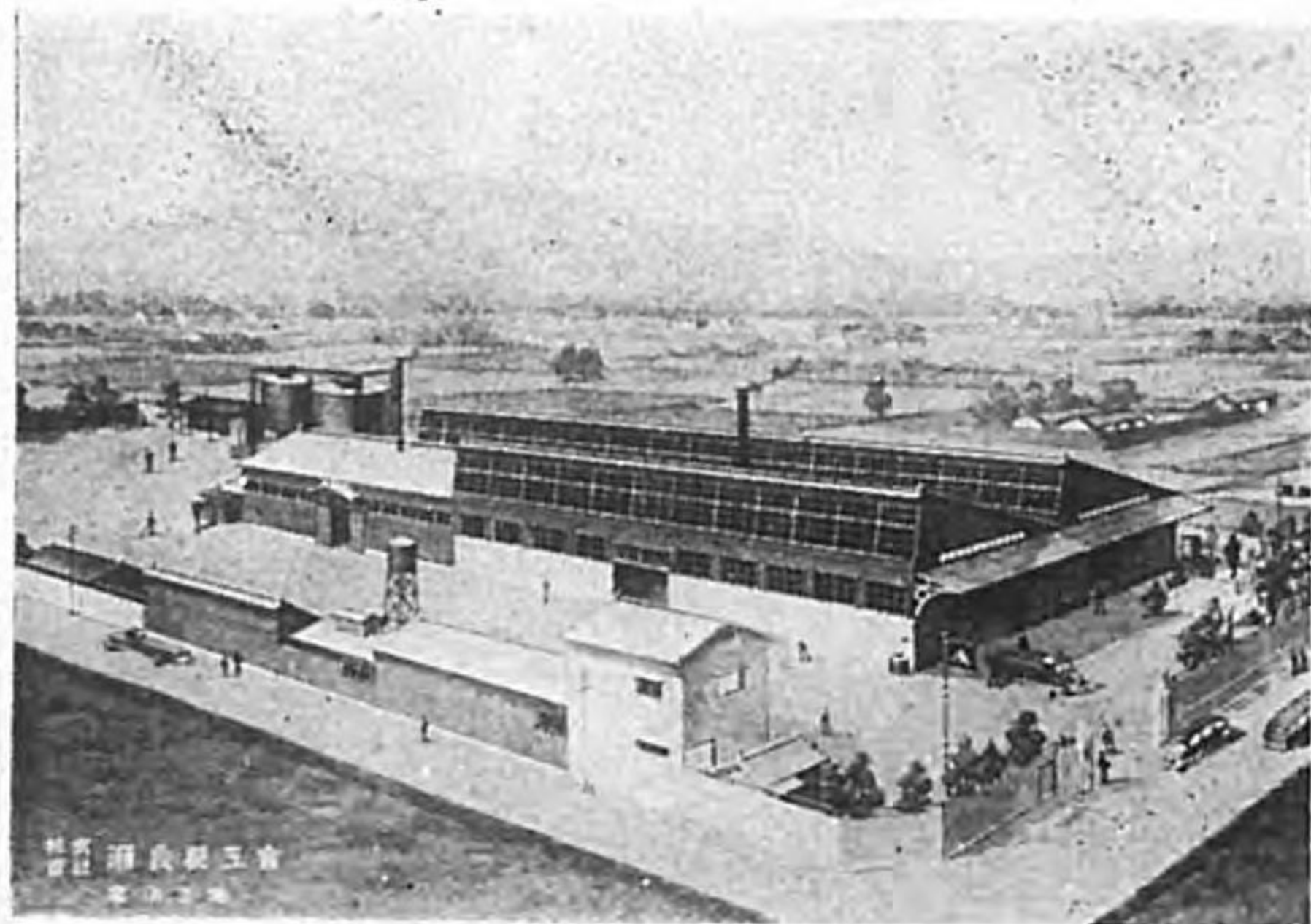
大阪府

南河内郡三好市町
電話新町三〇〇二番
電話長野七七番
電話一〇三番
振替口座大阪四一七五二番

中西製作所

鐵道車輛用
自動車用
鑛山機用
部分品

各種スプリング
ワイヤー加工
金屬抜押物一式



地番二十久奈知久久市崎尼

舍工製良瀨 株式會社

番五七四一・〇八一崎尼話電

舍工製屬金亞東 場工阪大

町物反區速浪市阪大
番一八三二川櫻話電

SPRINGS



スプリングと材料

清水スプリング商店

営業所 大阪市西區立賣場北通五丁目一七
電話 新町 ④ 185・5488 番
振替口座 大阪 48331 番
新工場 大阪市西成區南關町六丁目九
電話 櫻川 ④ 5879 番

火造

天手ムハンマ-使用 クランク延物

規格證明付 鍛鋼品
其他 火造品一切



窪田鐵工所

窪田林松

大阪市港区石田町一丁目七五 電話 築港三〇四九番

前八六

金属品代用時代

セルロイド

生地、製品

人絹・紡績用品
諸機械附属品
各種加工品一式
合資會社

鈴鹿商店

本店 大阪市東成區猪飼野大通二ノ五二
電話南 5622・5623・5624・2213・6437

支店 東京市淺草區藏前一丁目三ノ一 電話淺草局3946・3947
出張所 尾道市電話 8 8 0
天津臨時出張所 天津日本租界桃山街一ノ二葉隱旅館内山田三治

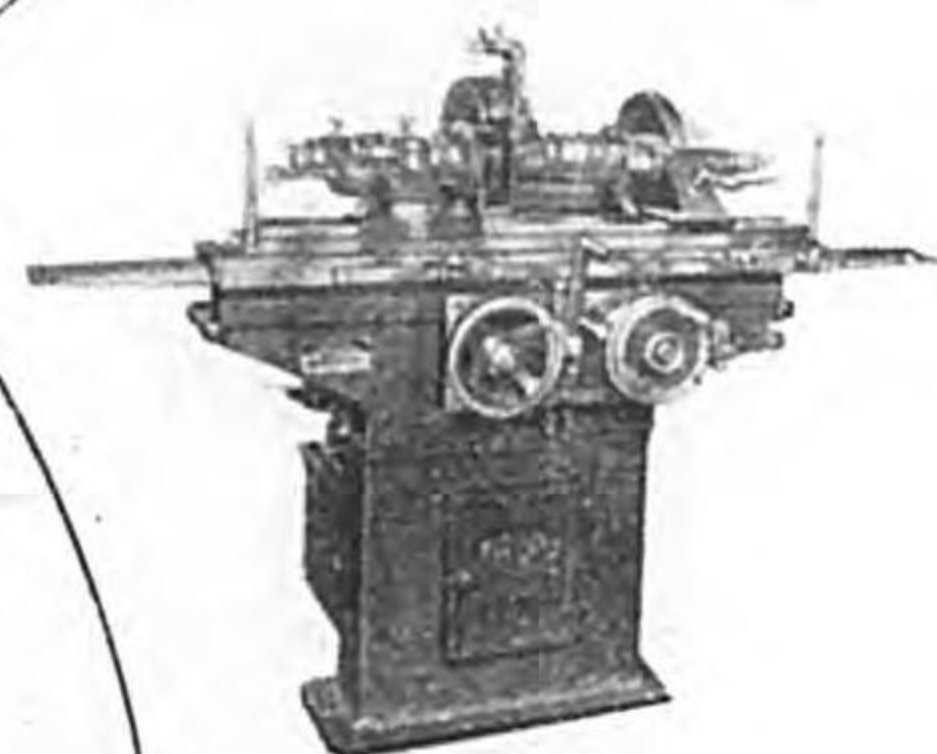
園池製作所製品



ユニバーサル クライナー



特殊合金製容器
D B S 鋼 化 劑
十分間硬化劑
着色兼燒戻劑



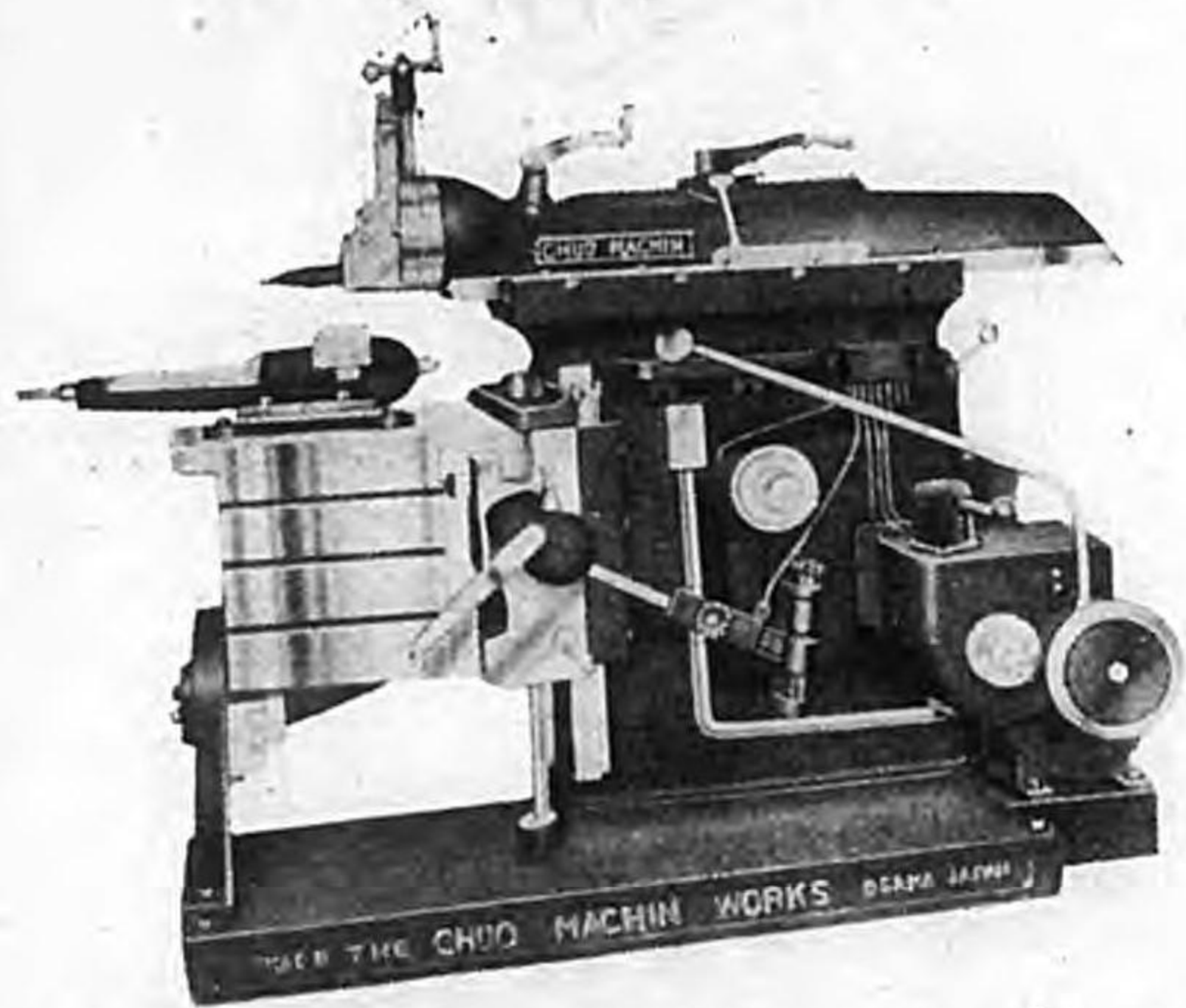
園池製作所關西代理店

戸塚命之商店

大阪市西區江ノ子島東之町二十三
電話 土佐堀 五三五四番

20"—24"強力型オールギヤシエーバー

電動機直結型



本機ハ弊社獨特ノ考案ニ依ル機構ヲ有スル最モ進歩シタルモノ
ニシテ特ニ磨滅シ易ク調節困難ナルクロスレールヘツド調
節部ハテーバーウキーチヲ用ヒ最モ理想的ニ設計シ變速用小
齒車ハ全部鋼製ニテ各部共精密測定工具ニ依リ熟練シタル工員
ガ入念ニ製作ノ上綿密ナル試運轉ヲナシタルモノナリ

合會社 中央機械製作所

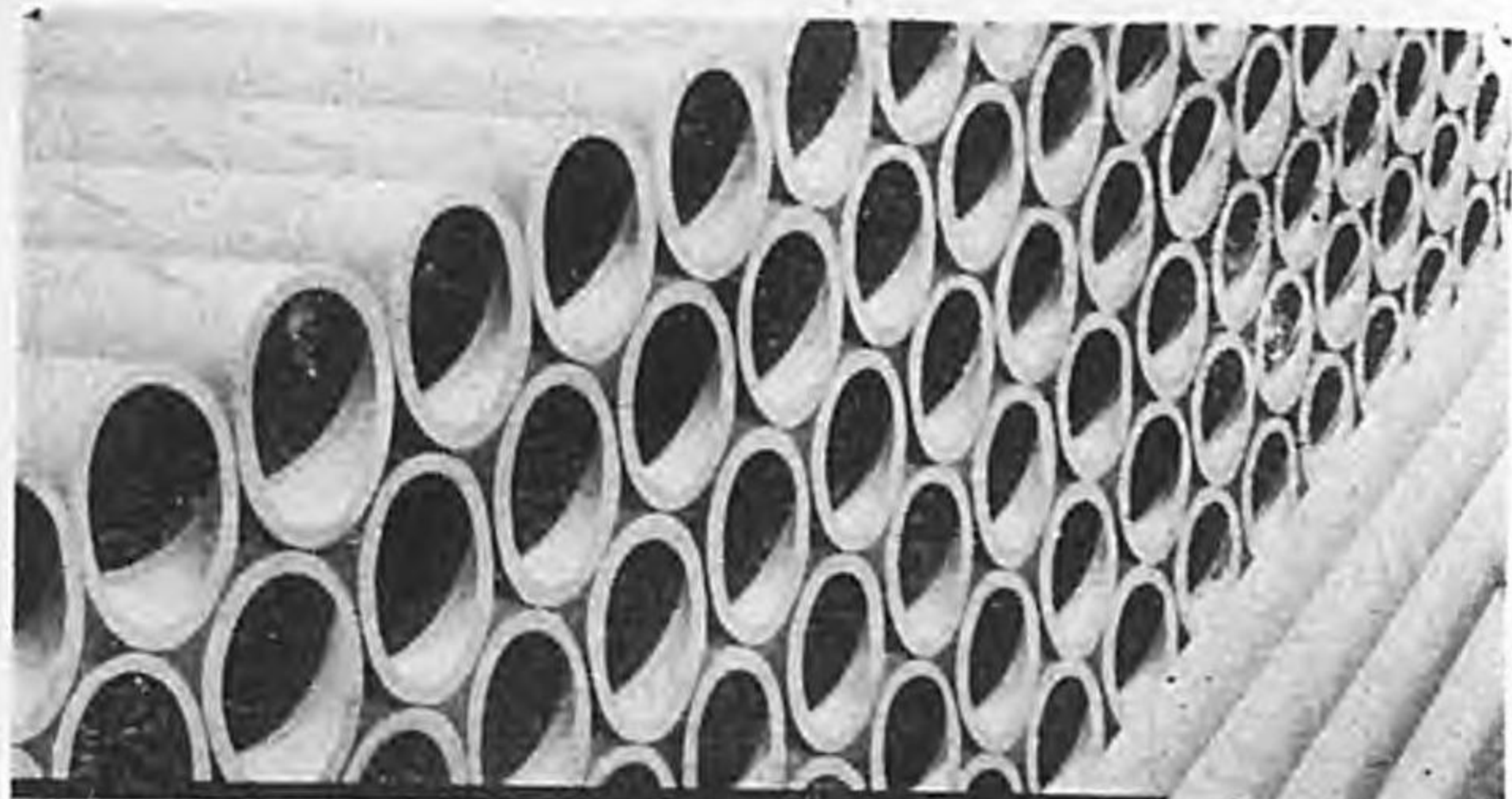
大阪市港區市岡元町五丁目六番地
電話西 ㊦ 3 1 0 9 番
振替口座大阪 4 4 3 9 7 番



鉄道省指定工場

貝塚フエルト合資會社

大阪府泉南郡貝塚町
電話一 二 〇 番



エタニットパイプ。

用途

管管管管管管
 水道 湯送 各種工業用
 管管管管管管
 電 纜 送 輸
 瓦 斯 泉 水
 上 水 溫 鹹



日本エタニットパイプ株式会社

大理石原石問屋



日本大理石株式会社

専務取締役 山本徳助

本社 東京市芝區田村町二丁目（榮和ビル）

電話銀座⑥ 三二八〇番

石材置場 東京市目黒區上目黒二丁目一六三番地

電話澁谷④ 三七六七番

鑄物と機械

大阪市西成區汐路通五丁目三番地

大鑄大阪鑄造所

所主 木村鶴吉

大物 歡迎

一ヶ四十瓩迄鑄造

電話 櫻川⁶⁴三三四九・三三九六・四九三三
天下茶屋 四〇一五番

住吉工場

大阪市住吉區嬰木町五丁目七番地
電話 住吉 二四八六番

— 主なる扱品 —

- 鐵骨工場建築
- 各種荷役設備
- 各種プレス製品
- 鑛業及化學工業用ドル機械裝置
- 建築設備並諸材料
- 工業用各種加熱爐
- 金屬洗滌機

東京市麴町區有樂町(三信ビル)



三機工業株式會社

電話銀座代表五一四一・五九四一番

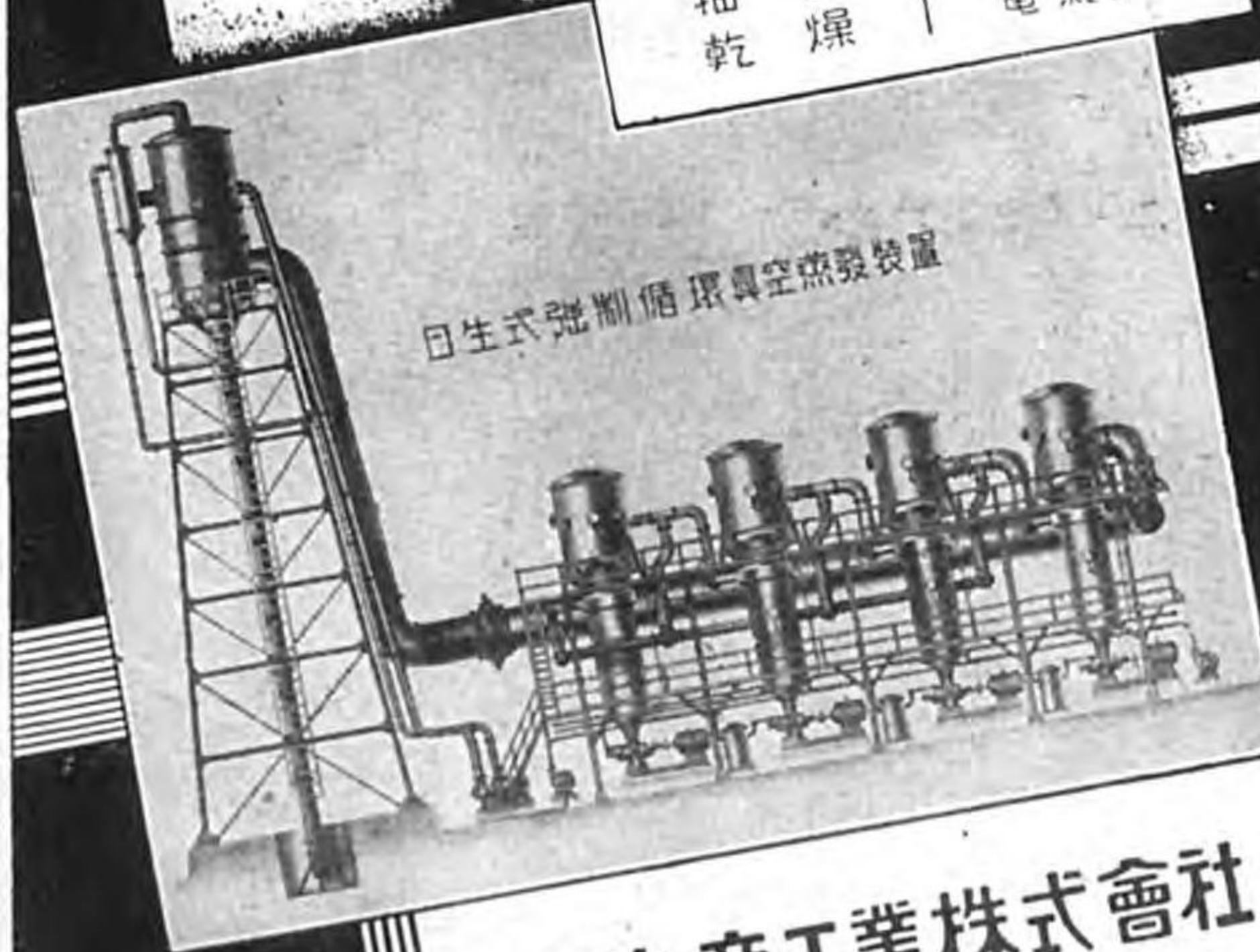
支店出張所

大阪・廣島・名古屋・福岡・京城
奉天・新京・大連・天津・札幌・臺北

化學工業用諸機械



離心粉攪拌輸送裝置
 和混攪拌輸送裝置
 電氣爐
 發溜着出燥
 蒸餾吸抽乾



日生式強制循環真空蒸發裝置

日本生産工業株式會社
 大阪市東區南久太郎町二丁目
 電話船場 1736.3219 番

前二〇〇

大阪市西淀川區傳法町北三丁目六七

株式會社 鴻池組

電話代表土佐堀四二一五番

支店 東京・戶畑
 出張所 東京・名古屋・松江・函館
 營業所 神戶・京都

前〇一

IK式

自動瓦斯切断機



- 1 従来製作に多額の費用を要したる、特別大型鋼板の切断、ボギー車枠、全長大なるもの等の製作に適應し製作費を低廉になし得られる。
- 2 面積に關係なく一回の調節によりて自動的に任意の形状に型切り可能。
- 3 構造は簡單且調節も容易、設備費も廉價なり。
- 4 施行せる切断面美しく正確且迅速なる自動的作業もなし得。
- 5 機械の切断範圍は極めて廣く切断し得る輪廓に對しては制限なし。

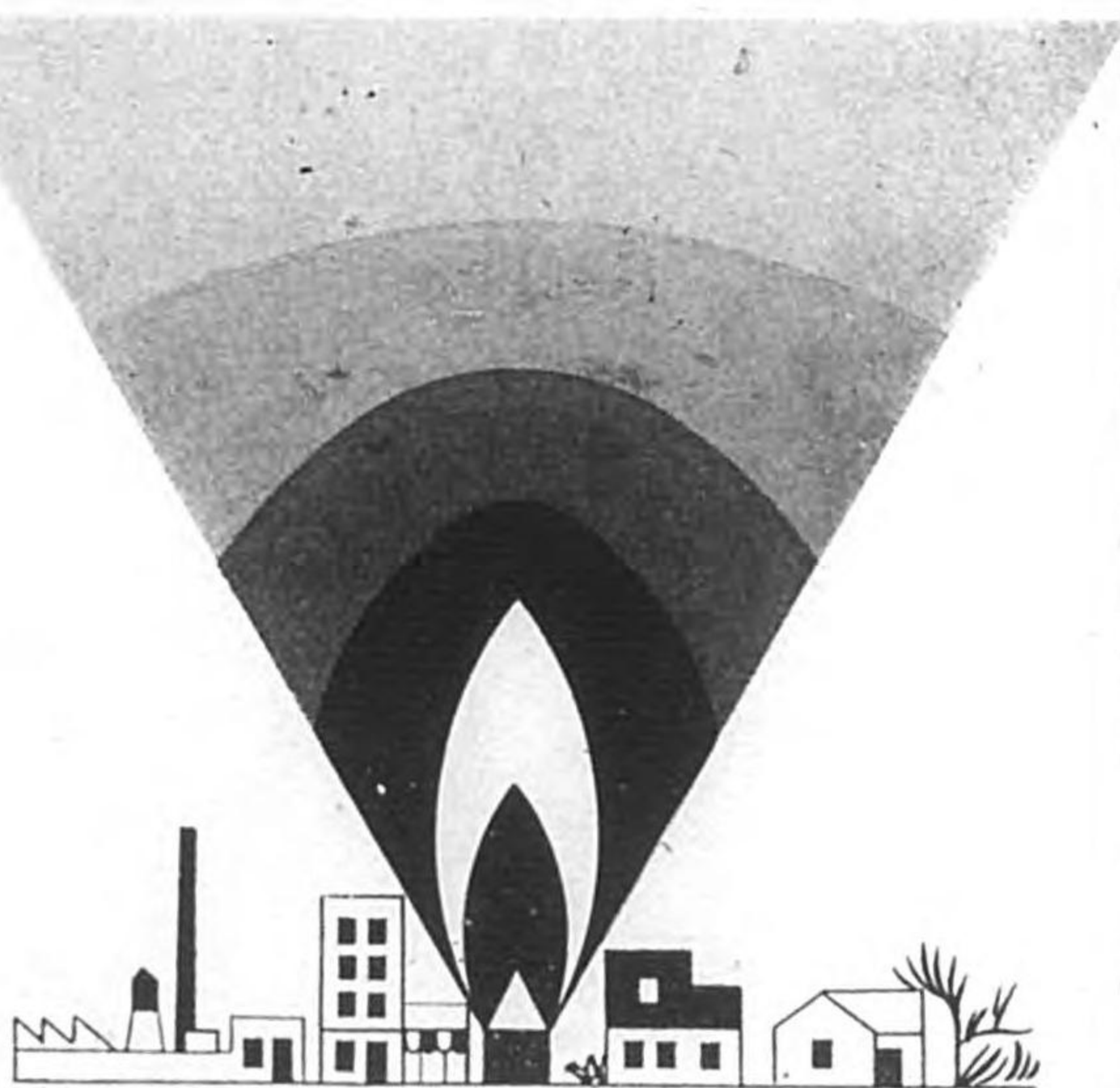
各機關車工場、各車輛工場、各造船工場等に使用され
賞讃を博しつつあり

日本理化工業株式會社

本社 東京市京橋區銀座三丁目三 電話 京橋 6181-6186(6)
支社出張所 東京・仙臺・郡山・新潟・名古屋・大阪・廣島・小倉・福岡・釜石

燃料は総てガスで

金屬工業用に 熱處理一切に



大阪瓦斯株式會社

營業種目

陸船用各種汽罐製作
 各種起重機輸送機
 並製骨罐工事
 鐵製骨罐工事
 各種礦山用諸機械
 土木、鑛山用諸機械
 製鋼、製鐵用諸機械
 壓延用諸機械
 設計製作



納期確實

發生爐
 瓦斯發生裝置



增田機械工業所
 資社合會

大阪府西淀川区姫島一五四六
 電話・福島(45)五五三一番

鑛山化學工業機械
 灰燼處理裝置
 特殊精密機械工具
 人造纖維工業機械



株式會社

東洋工作所

大阪市東淀川区野中南通三丁目
 電話北六〇九三・六五七二番

創立 大正五年四月
資本金 五千壹百萬圓
社長 淺野良三



鶴見製鐵造船株式會社

本社 東京市麴町區丸ノ内二丁目六番地二(海上ビル新館)
鶴見工場 橫濱市鶴見區末廣町二丁目一番地
淺野船渠 橫濱市神奈川區橋本町二丁目一番地

有價證券引受業

資本金壹千萬圓(全額拂込済)

本社 東京市日本橋區兜町一丁目
京橋出張所 同 京橋區第一相互館一階

本社電話 ⑥ 自三三一四九 長三一一五二
茅場町 至三三一四九 長三一一五二

△山一證券株式會社

取締役社長 平岡傳章

支店及出張所

大阪・名古屋・岡山・新潟・濱松・京都
福岡・京城・廣島・札幌・神戸・横濱



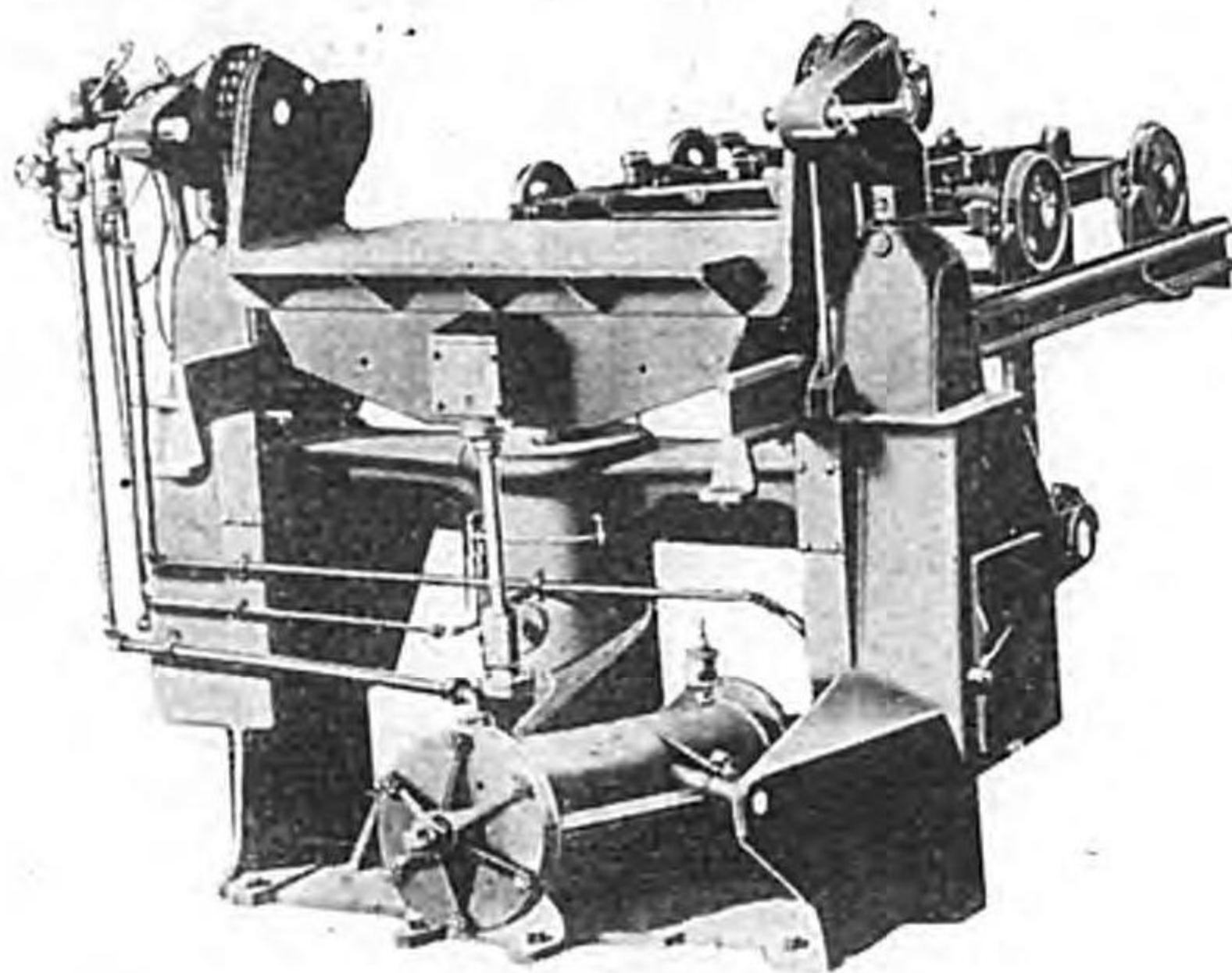
日鐵硅素鋼鋼指定問屋
高島屋飯田株式會社代理店

株式會社 山本隆商店

大阪市西區江戸堀北通四丁目
電話土佐堀一二七九 四五〇三番

VEDATYPE MOULDING MACHINE

TYPE UR-45



株式會社

植田式モールディングマシン製作所

營業所 大阪市西淀川區蒲島町六五番地
及工場 電話福島 二五八二番



目 課

グリセリン・ベン
ゾール・ガソリン用
亜鉛引ドラム罐
鑛・植物・魚油用ドラム罐
其他各種ドラム罐製造



業 營

特許ドラム罐
硫化苛性曹達用ドラム罐
晒粉染料用ドラム罐



各種卷締罐

(型錄進呈)

高木製罐株式會社

大阪西淀川區大田町一五〇番
電話福島④ 二七四八番
振替口大阪六〇五七六番

ニッサン

トラック・バス

經濟的強力車

破路突破 惡路の樂
勝利の國産
弾雨の峻険な坂道も
生々しい



- 營業所
- 大阪 大阪市西區江戸堀1通
 - 名古屋 名古屋市中區大池町
 - 京都 京都市東區小橋町
 - 横浜 横浜市東區榑木町
 - 神戸 神戸市東灘區通(設)
 - 福岡 福岡市東區中野町
 - 東京 東京都府中市(設)
 - 千葉 千葉市若葉町

日産自動車販賣株式會社

4878

昭和十四年

日滿工業年鑑

題 言

一、本年度の年鑑は東亞の新事象に即應し在來の日、滿兩國のほか更に新生支那編を加へ凡ゆる方面から材料を入手完畢を期した、従つて第三年版の本年版は記事において昨年より約二百頁を増し總頁數からみると實に一千百頁の大冊となつた

一、本年は内容を幾多改良し日、滿、支三國に亘る工業大觀を充實し又工業年誌をも加へ親切な編纂をなした

一、法規、法令編に於いては統制強化の反影を見せ頗る形大なるものになつてゐる、これのみにも本年版の活用は期して俟つべきものがあると思ふ

一、統計諸表、十三年は國內外の情勢を考慮して政府が重要物資の數字發表を避けたので本社は出来るだけの調査をなし足らざるを補足した

一、特別附録として歴史的大會議たる日、滿、支經濟懇談會選記と業界要覽を添付し年鑑體裁の最高峯を築いたつもりである

昭和十四年一月一日

日滿工業新聞社編

工作機械用能率増進器

MICROSTOP

熟練工の不足を補ふ

現下の非常時局に於て、熟練工の不足はあらゆる方面に多大の不便を來して居ります。若し適當な装置をすることに依り無經驗者でも只數日の訓練だけで熟練工と同程度の能率を挙げ得る便利な工作機械が出現したならば、どんなに喜ばれることでしょうか。マイクロストップこそはこの要求に應ずべく考案されたものであります。本器を旋盤、フライス盤、ターレット、グラインダー等に取付れば、女、子供と雖も熟練工が仕上げたどさうなく同程度の精密な製品を何のさうさもなく作る事が出来るのであります。

日本マイクロストップ製作所 日本マイクロストップ販賣所

東京市目黒区目黒1丁目1番11号 TEL: 341-1155
東京市目黒区目黒1丁目1番11号 TEL: 341-1155

製種：無蓄力機式油壓ポンプ Y型・X型・XX型
品目：V型・W型・WW型 手動式水油壓ポンプ・手動複式水油壓ポンプ・プレス操作用高圧3段切替機・プレス操作用低高圧4段切替機・自動切替機・高圧調節機・高圧止機・高圧制限機・實用新案型4件・特許及實用新案出願中4件

東高式水壓ポンプ



東京高壓機械製作所

東京市目黒区目黒1丁目1番11号 TEL: 341-1155
東京市目黒区目黒1丁目1番11号 TEL: 341-1155

滿洲電氣化學工業會：社法 三九
 滿洲國部計畫書法施行規則 三〇
 中國北支那開發株式會社法 三一
 中國中支那振興株式會社法 三六
 中華民國蒙藏銀行條例 三九
 中國警備商工復興貸款辦法 四三
 中國警備商工復興借款規程 四三

統計及び諸表

本邦工場、鑛工業、生産額 三三
 本邦道府縣別工場數 三三
 本邦工場數 三四
 工場生産額 三四
 世界銀生産額 三四
 勞働、賃銀、原材料總額 三四
 本邦種別工場生産額 三四
 世界船舶消長 三五
 輸出入貿易額 三五
 各國失業者數 三五
 輸出入品種類別 三五
 世界大都市電話數 三五
 輸出入數量及び單價指數 三五

輸出入國別表 三五
 輸出入貿易對手續歩合 三六
 世界各國電信電話 三六
 重要貿易品 三六
 重要貿易品對手續 三六
 重要國種別貿易 三六
 官公營工場 三六
 世界砂糖生産額 三六
 世界各國貿易概況 三六
 世界砂糖消費高 三六
 世界各國數量別貿易 三六
 本邦拂込一千萬圓以上會社 三七
 世界採油種子生産額 三七
 世界大豆生産額 三七
 世界羊毛生産額 三七
 世界の漁場 三七
 世界棉花生産消費額 三七
 世界木材バルブ生産額 三七
 世界ニツケル生産額 三七
 世界白金生産額 三七
 世界クロム生産額 三七
 世界鉛錫生産額 三七
 世界亞鉛錫生産額 三七
 世界鐵生産額 三七

世界石炭生産額 三九
 世界原油生産額 三九
 府縣別工場生産 三九
 本邦勞働實地調査集計 三九
 本邦工場法違反 三九
 世界勞働者數 三九
 世界人造絹絲生産額 三九
 世界人造絹絲生産額、時間、賃銀 三九
 本邦勞働日數、時間、賃銀 三九
 列國紡績日數 三九
 世界生絲生産額 三九
 本邦工場勞働者學歷 三九
 本邦勞働者移動數 三九
 本邦失業者數 三九
 本邦勞働者移動數 三九
 本邦勞働人員及賃銀指數 三九
 世界アルミニウム生産額 三九
 本邦重要工業生産量指數 三九
 世界ス・フ生産額 三九
 世界銅鐵生産額 三九
 各國生産指數 三九
 本邦勞働組合 三九
 本邦職工災害 三九
 臨時資金調整法の實施成績 三九
 本邦製紙用バルブ輸入國別 三九
 世界各國船舶總噸數 三九

世界各國出入船舶 三九
 世界の巨船 三九
 世界造船高 三九
 世界石炭包藏額 三九
 道府縣經濟警察配置一覽 三九
 本邦事業の休、廢止狀況 三九
 統制諸法令違反檢舉狀況 三九
 世界煙草生産額 三九
 世界の捕鯨及び鯨油生産額 三九
 本邦勞働賃銀指數 三九
 本邦勞働者數 三九
 本邦勞働者移動數 三九
 東京、大阪勞働賃銀 三九
 本邦勞働手帳交付數 三九
 本邦製鹽許可現在高 三九
 本邦輸移入關稅高 三九
 世界銅鐵生産額 三九
 本邦重要物產同業組合 三九
 本邦商、工業及輸出組合 三九
 本邦產業組合 三九
 世界モリブデン生産額 三九
 世界タンクステン生産額 三九
 工業生産量指數 三九
 世界マンガン鐵生産額 三九
 世界ダイヤモンド生産額 三九

本邦會社數 三九
 世界各國道路 三九
 本邦銀行會社計畫資本 三九
 世界各國鐵道 三九
 本邦會社營業成績 三九
 世界無線電報局數 三九
 本邦鐵道輸出入額 三九
 本邦各種工業物 三九
 本邦鐵道輸入國別 三九
 本邦對滿投資額 三九
 本邦對滿消費高 三九
 本邦對滿消費高 三九
 世界主要實材生産一覽 三九
 本邦月別貿易額 三九
 北支工場表 三九
 本邦對滿支月別貿易額 三九
 支那一九三六年國別貿易額 三九
 支那一九三六年主要輸出額 三九
 北支鐵道生産額 三九
 支那一九三六年主要輸入額 三九
 全滿輸出入貿易主要國別 三九
 支那主要輸出入貿易品目 三九
 上海港輸出主要品類取扱高 三九
 滿洲工業種別表 三九

滿洲特許意匠商標出件數 三九
 本邦への支那製品輸出高 三九
 日支貿易高 三九
 支那外國貿易 三九
 滿洲重要商品卸賣物價指數 三九
 本邦對支輸出主要品 三九
 列國の對支投資 三九
 北支各省石炭埋藏量 三九
 本邦對支輸入主要品 三九
 滿洲主要品輸出額 三九
 滿洲對外國貿易國別表 三九
 滿洲輸出入貿易國別表 三九
 本邦鋼材需要表 三九
 主要鋼材生産・輸入額 三九
 鋼材主要製鐵所別生産額 三九
 内地鐵鋼材市價表 三九
 内地合體需要額 三九
 鉛生産、輸入高表 三九
 アルミニウム輸入表 三九
 ニツケル輸入表 三九
 鐵生産、輸入高表 三九
 本邦輸出入金銀貨地金 三九
 内地鐵道移輸入量 三九
 本邦鐵道供給表 三九
 海外地金相場高低表 三九

亞細亞鐵道十年間輸出入表 三九
 滿洲鐵道輸出入年表 三九
 北支鐵道十年間輸出入比較表 三九
 北支鐵道輸出入年表 三九
 内地鐵道需要額 三九
 本邦鐵道輸出入國別 三九
 北支各省鐵道物運量 三九
 北支鐵道輸出入 三九
 北支鐵道輸出入 三九
 本邦鐵道統計表 三九
 亞細亞鐵道十年間輸出入統計 三九
 亞細亞鐵道十年間輸出入表 三九
 亞細亞鐵道十年間輸出入表 三九
 鐵道主要製鐵所別生産額 三九
 北支鐵道輸出入 三九
 電氣機械器具生産額年表 三九
 電氣機械器具府縣別生産額 三九
 電氣機械器具別生産額年表 三九
 世界各國發電機 三九
 本邦電氣事業全覽 三九
 世界各國水底電線 三九
 本邦發電水力 三九
 本邦發電水力 三九
 水、火力別發電所及發電力 三九
 本邦產業別電力需要 三九
 原動機生産額主要府縣別表 三九

本邦發電機 三九
 世界各國自動車生産高 三九
 聯合自動車業者車輛別統計 三九
 世界各國自動車數 三九
 米國車輛別自動車生産高 三九
 全國聯合自動車車輛數 三九
 自轉車及び同部分品輸入 三九
 世界自動車生産額 三九
 本邦主要石油鑛山 三九
 本邦主要石油鑛山 三九
 全國重要油田產出高 三九
 本邦石油輸入國別 三九
 北米工作機械輸出一覽表 三九
 本邦工作機械需要 三九
 本邦機械器具品目別生産額 三九
 機械器具生産府縣別年表 三九
 本邦諸機械品目別輸出入額 三九
 機械及部品品輸出輸入國別 三九
 本邦機械器具年別輸出入表 三九
 北支鐵道器具輸入高表 三九
 本邦電氣器具年別生産額 三九
 北支鐵道器具輸出入高表 三九
 府縣別車輛生産額 三九
 本邦車輛年表 三九
 本邦車輛年表 三九

本邦進水船舶月別表…………… 四〇〇
 本邦全前子製品生産額…………… 四〇一
 本邦輸出前子製品検査…………… 四〇二
 滿洲バルブ工業…………… 四〇三
 北支那セメント工場表…………… 四〇四
 北支セメント生産高表…………… 四〇五
 世界護謨積出高…………… 四〇六
 米國亞麻仁牧廠積出高…………… 四〇七
 化學關係品生産額…………… 四〇八
 支那曹達工業會社表…………… 四〇九
 セメント生産出荷在庫統計…………… 四一〇
 世界護謨產地積出高…………… 四一一
 世界護謨輸入高…………… 四一二
 本邦硝子製品國別輸出統計…………… 四一三
 主要販賣肥料の生産額…………… 四一四
 滿洲大豆豫想收穫高…………… 四一五
 世界護謨生産消費額…………… 四一六
 世界油脂生産高…………… 四一七
 本邦生ゴム輸入國別…………… 四一八
 世界探油其他農産原料價格…………… 四一九
 雨水洋油生産高…………… 四二〇
 本邦肥料輸出高…………… 四二一
 昭和十三年菜種實收高…………… 四二二
 本邦外安輸入數量…………… 四二三
 植物油輸入、製油輸出比較…………… 四二四

外安輸入價額…………… 四二五
 本邦肥料製造業者…………… 四二六
 本邦工業藥品…………… 四二七
 支那硫磺工場表…………… 四二八
 本邦肥料製造業者…………… 四二九
 本邦肥料統計…………… 四三〇
 本邦肥料供給高…………… 四三一
 本邦重要化學製品輸出高…………… 四三二
 本邦セメント工場統計…………… 四三三
 支那硝子器具工場…………… 四三四
 本邦セメント製品…………… 四三五
 本邦木材バルブ統計…………… 四三六
 支那セメント工場表…………… 四三七
 本邦硝子製品…………… 四三八
 硝子製造、硝子製造高…………… 四三九
 本邦硝子及硝子油賣渡高…………… 四四〇
 北支粘土産額…………… 四四一
 本邦建築構造種別表…………… 四四二
 本邦建築工事種別表…………… 四四三
 主要建築材料價格指數表…………… 四四四
 建築工事労働指數表…………… 四四五
 本邦建築用途別表…………… 四四六
 本邦木材輸出輸入國別…………… 四四七
 本邦都市別建築工事費…………… 四四八
 滿洲木材生産高…………… 四四九
 滿洲對日主要輸出入品…………… 四五〇

樟腦、樟腦油收納及補償金…………… 四五五
 本邦自動車産業…………… 四五六
 本邦製紙額…………… 四五七
 世界石灰炭素産額…………… 四五八
 本邦陶磁器生産高…………… 四五九
 木材バルブ國別輸入量及積…………… 四六〇
 北支石灰輸出數量…………… 四六一
 工事中船舶月別表…………… 四六二
 本邦陶磁器輸出國別…………… 四六三
 世界石油埋藏量…………… 四六四
 世界ボキサイト産額…………… 四六五

雜錄・便覽

日本商工會議所一覽…………… 四六六
 日本商工會議所…………… 四六七
 日本工業協會…………… 四六八
 大阪府立貿易館海外施設…………… 四六九
 滿鐵關係會社一覽表…………… 四七〇
 滿洲重工業關係會社一覽…………… 四七一
 本邦新設増資合併會社…………… 四七二

滿洲特殊及準特殊會社一覽…………… 四七三
 一千萬以上新増、合併會社…………… 四七四
 大阪海外出張所委託員在地…………… 四七五
 商工省海外陳列館及通信員…………… 四七六
 主要労働組合…………… 四七七
 滿洲工業機關連に關連…………… 四七八
 滿洲輸出入關係團體…………… 四七九
 發明獎勵團體…………… 四八〇
 十三年設立産業經濟團體…………… 四八一
 工業關係大學、專門學校…………… 四八二
 能率研究指導機關…………… 四八三
 貿易組合貿易幹旋所職員名…………… 四八四
 日滿實業協會…………… 四八五
 北、中支政府機關…………… 四八六
 北支那開發株式會社定款…………… 四八七

附 錄

日滿支經濟懇談會…………… 四八八
 業界要覽…………… 四八九

工業界の大變

本邦工業概況

戰時經濟確立進む

事變擴大に對處し、戰時經濟準備に關する立法工作は第七十二議會(昭和十二年九月五日—八日)にスタートを切り、この議會の所議として輸出入品臨時措置法及び臨時資金調劑法の二法規が誕生し、産業經濟界の戰時編成はここに第一歩を踏み出した、原料輸入の制限は必然的にその後の各段階に於ける各種の統制を要するものとなり、民間自治統制より漸次官治統制に移り十二年末に於て先づ次の諸法を公布を見た

- 一、毛製品ステープルファイバー等混用規則(十二年十月十一日公布、十一月一日施行)
- 一、綿製品ステープルファイバー等混用規則(十二年十二月二十七日公布、十三年二月一日施行)
- 一、鋼使用制限規則(十二年十一月六日公布、十一月十日施行)
- 一、鐵鋼工作物製造許可規則(十二年十月十一日公布、十月二十日施行)
- 一、白金使用制限規則(十二年十二月二十八日公布、十三年一月一日施行)

物價政策

四月廿二日商工省内に中央物價委員會が設置され、同時にこれが統制下に地方物價委員會が各府縣に開設されるとなり、二十二日物價委員會令に地方物價委員會規則が公布された、中央物價委員會は物資總動員委員と日を同じうし、六月二十三日標準最高價格の第一回表を行ひ、爾來七月一日、七月十五日、七月廿三日、八月四日、八月十八日の五回に亘り生活必需品の標準價格を決定した、從來卸賣物價については重要商品に事變後最高價格が設けられたが、小賣物價におよんだのは全く未曾有のことである、地方物價委員會はこの中央の公定價格に地方的事情を考慮しておのの最高標準價格を決定した、然しこの物價公定政策も各府縣の實情によりそれぞれ異つた公定價格が決定された結果、數府縣に亘る通行貨に關しては種々不便、不自由が見出され、この結果物價プロット制度が採用、實施された、尙ほ商工省では民間業者の協力によつて物價調整の實行を確保すべく全國府縣に亘つて物價調整營業者協力制度を實施することとし、十月三十日附を以て次の通り實施要項を地方長官に通達した

- △物價調整營業者協力制度要項
- 第一目的 營業者團體を通じて營業者の調和協力心の喚起並に努めもつて物價調整の實行確保に遺憾なからしめんとするにあるものなること
 - 第二 實施要目
- 【甲】營業者團體の組織

- 一、營業者團體は成可く商業組合によること
 - 二、商業組合を早急に設立し難き場合には商業組合以外の團體を活用せしめること
 - 三、商業組合については市郡はなるべく業種、業種別に設立せしめるとなるも郡部は地区組合にて分支へなきこと、地区組合にありては當該物品に關する部會を設けしむること
- 【乙】物價調整協力委員の設置
- 一、物價調整協力委員は組合に設置すること
 - 二、物價調整協力委員は組合員中より選任し任期は一年となすこと
 - 三、物價調整協力委員中より委員長、副委員長各一名づつを選任し物價調整協力事務の統制に當らしめること
 - 四、物價調整に協力する事項は左の如くすること
 - (イ) 當該團體は取扱物品の價格抑制を圖らしむること(ロ) 價格公定のため供給の不調を來すことなからしむること(ハ) 公定價格の適用を免れるため製造したる規格はいづれの物品の取扱ひをなすことなからしむること(ニ) 品質低下の防止を圖ること(ホ) その他物價調整の實行確保に必要な事項

第三 實施についての注意

- 一、漫然と實施を圖るとなく第一次に穀物販賣業者、家庭燃料(木炭、石炭、煉炭等)配給業者、第二次には木材配給業者、家庭金物配給業者のとき業種を定め計画的に實施を圖ると
- 二、差當り販賣業者についてのみ考慮すること
- 三、第一次實施の業者について遅くとも十二月中旬までに物價調整協力委員の活動開始をなし得るやう計畫をなしその概要を十一月二十日まで報告すること、第二次以後のものに

- 四、内務省上りの通牒に基き近く實施見込みの經濟警察協會との連絡を配慮すること
- 五、物價調整委員會との連絡につき遺憾なきを期すること

臨時物資調整局の誕生

六月廿三日政府の物價調整局の臨時物資調整局の誕生 六月廿三日政府の物價調整局が五月七日西工省内に設置された、この臨時物資調整局が指導本部となり、經濟政策が矢張り買入に實施され、統制經濟は一歩強化、擴充され經濟界の戰時體色はいよいよ濃化された、第一看手は六月十八日に發表された輸送リンク制である、調整局官制は次の通りで局長は西田健次郎に竹内可吉氏が任命された

物資總動員計畫 池田商相登場

昭和十三年五月廿六日 近衛内閣は一部の改選を行つた、買入商相と吉野商相が退いて池田成彬氏が西田商相となつたが、この改選後わが戰時經濟體制は急激化を來した、事變勃發以後の買入政策は軍需品輸入を優先的に進めたいふ一點に置かれた、軍需品輸入を確保しやうとすれば當然平和産業品の輸入を制限しなければならず、現送し得る正貨が比較的潤澤な間はこれでもやつて行けるが、正貨が少くなり産金も思ふやうに増産出來ない結果は谷々平和産業品の輸入を抑制しなくてはならなくなる、ところが輸入原料品を抑制するとはその製品の生産に壓迫を加へ市價を昂騰させることになり、輸出貿易を萎縮させる、昭和十

三年中の輸出入貿易を推算して得た軍需品と平和産品の輸入比率はこの輸出貿易の委託のために當然更改されなくてはならなくなつた、しかるに軍需品は作戦と關係があり、これが減縮は出來ない、そこで輸出の委託に伴ふ輸入の抑制は平和産品の原料品のみにかゝて來るこれをそのまゝやつてゐるは日本の産業は全く萎縮し、遂には戰争の障礙も不可能になる形勢となつた、内閣改選後は徹底的の物價計畫を圖り、國內需要を極度に減ずるとともに、軍需品輸入の優先によつて平和産業用原料が食ひ込まれることを防ぐこととし、可能なる限り貿易にリンク制を採用し輸出貿易の減退することに制度を置かうとした、かくてわが戰時經濟は急變したのである

物資總動員計畫聲明 十三年六月廿三日政府は左の如き物資總動員計畫に關する聲明を發表した

支那事變は神州陥落により戰局の一大進展をみたるもその前途はなほ遠慮なり、(中略)當面の急務は物資の統制運用を最も有効適切ならしむるにあり、即ち高確を排し輸出の振興、生産の増加、配給の統制に關する政策の徹底強化をはかるの要す、緊切なりとすこゝにおいて政府は事態に即應し軍需品および輸出原料充足を優先とする物資供給の計畫を圖りてこれが遂行上緊要と認むる諸方策の徹底的實行を期し、もつて國防の安固、國民經濟の維持をはかることに決せり

暴利取締令改正 暴利取締令は大正六年に制定されて以來、いはゆる傳家の寶刀として舊りに發動せぬことになつてゐたが、事變直後

の昭和十二年八月三日に品目の擴張を行ひ、さらに昭和十三年七月十四日に物價計畫に伴ふ大改正を敢行した、改正の要點は左のごとくである

【取締の強化】

- (一) 取締の行政官廳は地方長官、東京府は警視總監
- (二) 取締行為のうち新に仲介業を加へ
- (三) 取締物品に十品目を加ふ

【販賣價格の表示】 物品の販賣をなす者は生産者、賣業者を含めて總て販賣價格を表示せねばならぬ、この義務はひとり取締物品のみでなく一般に商品として販賣するすべての物におよぶ

外國爲替基金勸定

政府は輸出貿易促進のためこれが原料輸入資金に充實するため正貨準備八億圓のうち三億圓を新に「外國爲替基金勸定」と稱する特別勸定を設け、田邊、西相は七月十九日の閣議において同基金設定方につき正式議決を得たので同日大藏大臣談話の形式をもつて左のごとく發表すると同時に大藏省よりその要項を發表した

大藏大臣談話

今回政府は日本銀行と協同の上同行の正貨準備のうち三億圓を解除し同行に「外國爲替基金勸定」を設け、現在の我國として相當多額の正貨準備を維持することが我國經濟に對する國內的および國際的信用を確保し、かつ後日に備ふるために緊要しいことは論を俟たないところであるが、我國の物資供給の現狀を顧みるときは外貨資金を増加するため輸出の振興を圖ることが急務であることも疑ひないところである、これがため政府で先般來すでに各種の輸出入リンク制の採用、輸出品用原料の國內生産用防止その他輸出増進について各般の措置を講じてゐるのであるが、一面輸出品の原料の供給が近來とかく圓積を缺いてゐることが輸出

その他非鐵金屬、金屬礦產資源開發促進、化學藥品類に分け詳細を申さる

滿洲帝國一段の飛躍

康徳五年度豫算 康徳五年度（昭和十三年度）豫算は行政機構改革前に治外法權撤廢後における最初の豫算であり、かつ戦時財政確立を目指し、従来の健全財政主義から合理的積極主義へ轉換した意味に於て滿洲國財政史上に一新紀元を齎したものである、康徳五年度豫算總額は歳出入とも三億四百五十五萬五千圓で前年度に比し五千六百四十五萬圓（二二・八％）の増加である、新設計上は産業開發關係一千三百八十四萬五千圓、國防關係二千五百五十三萬六千圓、治安關係一千四百二十八萬九千圓、福利施設二千五百五十三萬三千圓、治外法權撤廢ならびに附屬地行政權接收に關するもの百八十萬三千圓、地方廳廳のため七百四十二萬圓、その他二千七百二十萬一千圓である

治外法權の撤廢 康徳四年十一月五日新京において歴史的な「滿洲國における治外法權の撤廢および滿洲鐵道附屬地行政權の移轉に關する條約」が調印され、いはゆる治外法權の全面的撤廢が十二月一日より實施された、これにより滿洲國內に本店又は主なる事務所を有する日本法人は一掃に滿洲國法人となつた

滿洲重工業開發會社の設立 支那事變の勃發により滿洲の重工業部門確立を急遽に推進する必要性が増大したため、日滿兩帝國政府はこれが具體案について協議を進めた結果、滿洲國政府と日本產業資本の結合による新統制會社を設立するとともに、滿洲より重工業部門を分離して新會社の傘下に經營せしめるといふ大方針を決定、この方針に基づき康徳四年十一月廿七日新京に滿洲國法人たる滿洲重工業開發株式會社が設立され、總裁に滿洲國長官長島川義介氏が就任した、滿洲重工業株式會社は舊日産と滿洲國政府の合辦になるもので舊日産はその資本金二千二百五十萬圓を出資、滿洲國政府は昭和製鋼所、滿洲炭礦、滿洲産金、同和自動車、滿洲製金、五社の事業を滿洲から譲り受けて出資、滿洲における鐵鋼業、輕金屬工業、自動車、飛行機、滿山産金事業等の生産力擴充及び各種開發を行ふものである、滿洲は株主配當、利益金處分などに於て有利な條件を與へられてをり、滿洲國建國以來とつて来た一社一業主義の嚴重な統制經濟政策の修正ともみられ、滿洲の設立により資金導入の容易化、資源から工業生産品までの一貫作業による經營の合理化により、生産力の飛躍が期待され、同社の事業は産業開發計畫の中心をなしてゐる

列國の滿洲國承認 伊太利政府は康徳四年十一月二十九日承認を通過、駐華伊太利領事ルイジ・コルテセ氏を駐滿公使に任命、滿洲國に於ても新京特別市長塚本勲氏を初代駐伊公使に任命した、滿洲國政府は康徳四年十二月二日フランソワ將軍のサラマンカ政務承認、フランソワ政務駐日代表カステイヨ氏に公文書を手交した、これに對しカステイヨ氏も同國政府の訓令に基づき駐日大使に對し滿洲國承認の公文書を手交、目出度く相互承認が成立した、ヒットラー獨裁は康徳五年二月二十日、ドイツ國會に於いて滿洲國承認を宣言、その後兩國代表間に條約締結に關する折衝が進められた結果、五月十二日ベルリンに於いて調印終了、越えて七月十五日

駐滿ドイツ通商代表タノール博士は外務局に部長官を訪問、ドイツは十三日に滿洲國條約の批准を完了した旨正式に通告した

産業計畫の修正、強化 産業開發五ヶ年計畫は第一年度半ばに於て支那事變の勃發を見た爲め更に新事態に即應して強化、擴充の必要に迫られ、康徳五年二月一日新京重工業會社に滿洲國、關東軍の關係官部會合、初年度實踐に再檢討を加へた結果、こゝに修正五ヶ年計畫の成立を見五月十四日政府より非公式に内容が發表された、初年度計畫によるとその所要資金は約二十五億乃至三十億と豫算されてゐたが、この修正計畫によると一億五千億乃至六十億と倍増され、その増加額の大半が鐵工部門に集中されるとなつた、具體的計畫内容は次の如くである

鐵、石炭、電力、液體燃料、自動車、飛行機等に重點を置き、これらほもとより他のすべての資源にわたつてその開發目標を著しく増大してゐる、例へば鐵鋼については舊國約五百萬キロトン、鋼塊約三百五十萬キロトン、鋼材約二百萬キロトンを目標とし、石炭については鐵礦、石炭液、電力等の計畫擴張に對應して約三千八百萬キロトン、電力に就ては發電容量約二百六十萬キロワット（水力、火力は同層）を目標とし、バルブは木材のほか革、豆蔻等の原料により約四十萬圓、鋼は約百萬圓、金については舊金の開發等を加へて四ヶ年累計約三億圓を目標としてそれぞれ可能的最大の開發擴張を進めその他アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、鉛、銅など現下緊要の金屬についても能ふ限り増産を期し、何れも當初の計畫につき約倍量の擴大である、液體燃料自動車、飛行機および工作機械については舊多の困難が豫想せられるが萬難を排して本格的工業の確

立を期し本計畫の重點を爲してゐる、また農畜産部門では農家經濟の實際を考慮し貿易増進、自給自足確立を目標に増産をはかり、第二年度においては（單位千圓）

米	500	粟	500	小麦	100	高粱	500
大豆	500	玉蜀黍	500	甜菜	100		

の生産を期してゐる、交通通商部門においても他部門に對應しさらなる積極的修正の要あり、目下研究を進めつつある、右産業開發計畫の擴張に伴ひ、所要資金はほゞ倍増し、第二年度以後資金總額は五十億の巨額に上るものと見られるが、その大部分は日本および滿洲の國內資金によつて調達されるもので、國外に採つものは特殊設備器材等比較的小部分である、しかもこれは種々の貿易協定、協定協定などにより實際上大部分解決せられる見込である、従つて爲替資金の點については産業計畫の進捗に伴ふ輸出の増進ならびに新産金の増加などに期待し、政府において充分の準備を有してゐる

國家總動員法 滿洲國政府は時局に對應するため國家總動員法を制定し國家權力の充實を期することを決し康徳五年二月廿六日これを制定公布した、しかし本法は思想精神總動員並に警備動員を除外し専ら産業經濟部門における資源動員に關し、この重點を置いてゐる

金融 金融制度は産業開發五ヶ年計畫に必要な資金の効果的供給を圖るとを根本方針とし、銀券發行たる滿洲中央銀行を中心に、滿洲興業銀行、滿洲銀行、金融合作社等が長期産業金融、國、農業金融、國民金融に活動してゐる、また康徳四年十月日本と歩調を併せるべく爲替管理法が改正強化され、次いで康徳五年七月以來滿洲州内の爲替管理も中銀内で行はれるととなり全國の爲替管理一元化が完成された

貿易の躍動 貿易概況 康徳四年度の滿洲國貿易は總額十五億三千二百七十一萬圓、舊國以來の最高記録を示した、貿易増進の

原因は輸入に於ては第一に産業開發五ヶ年計畫實施の第一年度として
機械その他の生産施設所製資材の輸入急増のためであり、それに世界
的物價騰貴に基づく單價の昂騰、特に輸入單價の昂騰を挙げ得る、輸出
に於ては滿洲の輸出貿易の大宗なる大豆の最大顧客たるドイツに市場
を獲得したこと、日本における軍需品原料の需要増加があつた爲め
ある

新關稅法の實施 關稅行政は建國以來滿洲經濟の發展ならびに日
滿プロッタの見地から大同二年七月、庚申元年十一月、同二年十一月
と三回にわたり緊急必要なものにつき部分的に暫定的關稅率の改正を
行つて来たが、建國以來の懸案であつた新關稅法は、庚申五年一月一
日より實施された、新關稅法は滿洲國關稅行政に關する綜合的法典と
しての形態を呈するとともに、その内容において輸出入を全面的に統
轄する基本法で、かつ貿易と關稅收支を正確に把握し得る點を目標
としたもので、二百八十條より成る關稅行政に關する本文と輸出入稅
率表より成り、滿洲國關稅史上劃期的なものである、その改正方針は
次の五點を眼目としてみる

(一) 産業開發計畫の遂行を助成 (二) 關稅收支の適合を企圖 (三)
消費稅としての負擔の均衡を是正 (四) 財政收入を確保 (五) 對外
貿易の圓滑なる發展に寄與する

輸入稅は財政負擔の見地から關稅稅約九千圓を確保するため有稅品の
平均關稅率を庚申二、三兩年平均の關稅率と一致せしめられてゐるが
産業開發五ヶ年計畫並びに重要産業統制法關係諸産業に關してはそれ
々々當該計畫もしくは方針に相應せしめ、その他の産業に關しても現
地關稅主義を建前として既存産業の助長乃至現狀維持を目標として關
稅率が低配され、免稅その他の關稅制度も併せ考慮されてゐる、すな

工業勃興時代

建國以來日滿提携による諸種の工業の勃興を
見たが、昭和十二年度を第一年度とする産業五ヶ年計畫の樹立により
工業化は實現の緒についた、産業五ヶ年計畫の根幹を構成する製鐵業
の遂行は昭和製鐵所および本湖製鐵公司の二社がこれを擔當し、さ
らに東邊道の製鐵廠を背景に新製鐵所が計畫されてゐる、被覆燃料
については特殊會社たる滿洲合成燃料株式會社が工場を阜新に設置し
將來十萬噸に増産の豫定で、既設の石炭液化事業は滿洲油化の四平街
工場、滿洲撫順工場とともに三工場となつた、全滿の電氣事業は大部
分特殊法人たる滿洲電氣株式會社に依り經營され、政府はさらに電
力開發五ヶ年計畫を樹立して水力發電の開發による開發を期し、水主
火並の全滿發電廠を作成、第二松花江小豊瀆に十八萬キロワットの
水力發電所、八萬キロワットの龍江水力發電力、鴨綠江發電六十萬
キロワット開發に着手した、開工業について管掌すべきは全滿工業
の中樞をなす東西工業地帯の開發で昨年度に於て既に第一期計畫の三
百三十萬坪、第二期計畫の百萬坪が賣却済みとなり、百六十餘の工場
が建設され、百工場が運轉を開始した

礦産資源

主なる礦産資源は香鐵一三億噸、石炭九〇億噸、金銀
六〇億噸、油母頁岩五六億噸、耐火粘土一億噸といふ豊富さで、大部
分は未開發の状態にある、金はその産地全滿にわたり砂金は主として
北滿に、山金は南滿に産する、鉛は重要礦山としては楊家杖のみであ
るが、青城子礦山も事業に着手した、否土は主として大石橋方面にお

はち(一) 鑛工業部門に關しては航空製鐵業、銅金屬鑛業、採金
業、金鑛鑛業、石炭油化工業、頁岩油化工業、製鐵業、水力發電業及
び炭礦業のごとき重要産業の基礎設備用品に關しては關稅を免除しま
した兵器、航空機、鐵道車輛の諸工業には保證工場制度を利用せしめる
(二) 食料、藥用以外の種子および後子の輸入稅は原則として無稅とな
つた、また穀類用種物の稈、葉、枝など、農藥機械及び農具並にこれ
らの部分品、農業用の機械器具の輸入稅は無稅となり、また國內工業
原料品たる農産物(小麦、洋麻、棉花、桑葉草、甜菜等)については
相當の保護的色彩が加へられた、(三) 畜力及畜産資源の増大に資す
るため生きた牛、馬、騾、驢、山羊、綿羊及び蜜蜂、その他の家畜改
良用動物および獸疫豫防藥の輸入は無稅となつた、さらに一般大衆の
生活必需品は無稅或は輕減され、人類の九割弱、絹織物および絹と他
織維との交雜物は四割強の引下げを行つてゐる、輸入稅は原則として
收入主義に基づき、收入に著しき變化を來さざる限りにおいてこれを
存置し、有稅品目は稅收の大なる物品より順次これを選定し、生活力
を有する動物、野鳥肉の如く國外輸出の望みしからざるものまたは關
關するを適當とするもの、或は甘草、皮、豚毛、燕窩子の如く國內で
加工の上輸出するを適當とする原料品についてはたとひその稅收が大
でないものでも有稅となつた、また大豆粕、高粱、玉蜀黍および燕窩
などその輸出増進をはかる必要があるものは稅收減を顧みせず稅品課
外に置かれた、右の結果有稅品目は再輸出稅二百七十五品目から二十
品目に整理された

貿易統制法の實施

庚申四年十二月九日公布、即日實施された、
この結果玉蜀黍、燕窩子には輸出許可制度が適用され、米麥、小麦粉
砂糖、燕窩草、製鹽鹽草、曹達灰には輸入許可制度が適用されること
なつた

いて移住せられ從來の兩滿礦業關係以外に最近日滿マゲネシウム、日
本金屬マゲネシウム、製鐵工業が進出した、滑石は海城遼平方面にお
いて主として滿洲滑石公司關係によつて移住され活況を見せてゐる、
國は昭和製鐵所經營の各山その他本湖製鐵所滿洲山を主とする外東邊
道で有望な礦山が續々發見されてゐる、石炭は滿洲鑛業の大宗で、主
なるものは滿洲の撫順、滿洲炭礦關係の西安、復州、八道溝、阜新、
北票、龍岡、帶山、札賚諾爾の諸炭礦のほか本湖湖、穆稜、鶴西、老
頭溝の諸炭礦がある

移民

移民計畫の遂行機關たる滿洲拓殖會社はこのため庚申四年
八月資本金五千萬圓の滿洲拓殖公社に改組され、百萬戸計畫移民用地
總面積千五百萬ヘクタールの整備と移民の應募および經濟助成に當つ
てをり、すでに取得し或は整理中の土地は五百萬ヘクタールによつて
ゐる、なほこの農業集積移民のほか自由移民として遠東製鐵業店に
天照移民村、哈爾濱郊外阿什河に天理移民村があり、また鐵道機關
と沿線開發に當る滿洲經營の廠路自營材がある、尙ほ産業開發の進展
に伴ひ農業移民と併行して西工移民の遂出に關心が持たれ、農工並の
進出を第一として順次其變化の方面に進んだ

交通

滿洲國では國有鐵道、水陸その他これに附帶する業務と
鐵道、港灣の新設に關する事務を滿洲國に委託經營せしめてゐる、庚申
四年末における國有鐵道キロ數は國有鐵道八、一八二キロ、滿洲鐵道一
二九二キロで、このうち種國復新設した國有鐵道は三、五五六キロに
およぶ、自動車路線は國營路線八〇、指定路線一三、一〇三キロ、重
輪開始路線五、一〇四キロ、民營路線一二三、特許路線六、四九二キ
ロ、國營路線事業は鐵道の附帶事業として同じく滿洲國に委託經營せし

48786

めてゐる、航空事業は大同元年滿洲航空株式會社を設立し、年々發展を遂げ、現在營業定期航空路は十四路線、九千キロに及び、日鮮滿遼路定期航空も行はれてゐる

支那新政權の誕生

中華民國臨時政府

昭和十二年十二月十四日、北京唐仁堂に於て輝かしい成立を見、新支那建設に力強い第一聲を擡げた、新政權首腦部は左の諸氏で、我國は新政府の要請により行政に湯澤三千雄法律に大連哲二、治安に永澤佐比直少將の三顧問を送り、協力するとなつた

【政府委員】王克敏、湯爾和、朱深、董康、王揖唐、齊燮元、江朝宗、高俊府、王臨泰、馬良、潘毓桂、余蘇哲
【委員長】議政委員會長湯爾和、行政委員會委員長王克敏、司法委員會委員長董康

中華民國維新政府

昭和十三年三月二十八日南京に成立、中支新生の氣色頗る濃厚となつた、新政府首腦部は左の諸氏である
行政院長葉鴻志、立法院長湯宗堯、司法院長一、行政院の下に次の各部を置く、内政部長陳群、外交部長陳羣、財政部長陳福壽、綏靖部長任履道(代理)、教育部長陳則、實業部長王子惠、交通部長江洪杰、司法行政部長許修直

蒙疆聯合委員會

昭和十二年十一月二十二日張家口に於て成立、察南、鄂北、蒙古聯盟各自治政府の聯合機關として活動を開始

した、委員團當は蒙古三名、察南二名、鄂北二名、金井重次氏が最高顧問に、關口保氏が總務顧問に就任した

聯合委員會 新生支那の建設と統一を目指して、昭和十三年九月二十二日北京勤政殿において、臨時政府連に新政府代表以下大官多數参列の下に、中華民國政府聯合委員會の成立式が舉行され防共救國東亞百年の大計を樹立せんとする重要な宣言を發表した、聯合委員會は次の如き顧問をもつて組織される
聯合委員會主席委員 王克敏、王揖唐、朱深、葉鴻志、湯宗堯、陳群、陳羣

海關接收と關稅改正

海關收入を擔保とする外債支拂負擔決定方法に關する日英協定の成立(昭和十三年五月二日)によつて、皇軍占領區域内にある支那海關はいくく名實ともに臨時政府、維新政府によつてそれぐ接收されることになつた、右海關協定の成立によつて

- (一) 皇軍占領區域内にある海關の徵收した一切の稅收は橫濱正金銀行に預入される
- (二) 右稅收中より、各海關の經費その他常例の支出を差引いた殘額をもつて外債および賠償金を支拂ふ、この場合海關稅の外債負擔額は、前月の各海關收入の全支海關收入に對する割合によつて毎月算定する
- (三) 黨政府が關稅賠償金の支拂に窮し、財源捻出のために日本より借款せる一九三一年の善後借款および關稅賠償金の日本備受取分は諸外國と同様に取扱はれる
- (四) 皇軍占領區域内各海關の香上廳行における預金は、昭和十三年

一月以降、上海海關の外債支拂のために、總稅務司が借越した金額を差引き、すべてこれを橫濱正金銀行に引渡すこととなり、新政府の財政的基礎はいよゝ強化された

關稅の改正

中華民國臨時政府は成立とともに關稅整理委員會を設け、關稅改正の具體案を研究した結果、民國二十七年(昭和十三年)一月二十一日第一次關稅改正を行ひ、荒廢地を復興せしめ、民衆を救濟する見地から納稅の必要なる最小限度の品目に對して輸入稅率を減免し荒廢地の産業復興を圖るに必要なる主要輸出品の輸出稅率を減免した、さらに五月三十一日臨時、維新兩政府は民國十九年(昭和五年)五月の日支關稅互惠協定に違つて制定された稅則(同年十二月二十九日公布、翌年實施)をメトリトル制に換算せるものを基礎として第二次の改正を行つた

中國關稅設立

昭和十三年二月七日公布の中國關稅準備銀行條令に基き二月十一日創立され中國、交通、金城、冀東、河北、大陸、匯豐、中法八銀行參加、資本金五千萬元、日本の一億元クレジット股定により三月十日開業、圓元リントラ制を確立して通貨統一に乗り出し新政府金融工作はその第一歩を踏み出した

日華經濟協定

北支經濟開發の最高機關として、日本政府、臨時政府の合作によつて設立せられ、交通、通信、礦、電力、石炭、石油、炭液化、貿易の各部門に亘り日華提携、共存共榮を基礎として活動を開始した、委員は次の通り

(日本側) 平生臥三郎(副委員長) 湯河元敏、大野龍太、菅波操
(支那側) 王克敏(會長) 王臨泰、殷同、江時讓、葉深

北、中支國策會社の誕生

第七十三號會令通過した北支中支經濟開發のための北支那開發株式會社(資本三億五千萬元)中支那開發株式會社(資本一億圓)の兩會社は十三年六月卅日正式認可

され、十一月七日創立された、兩社の體質は會社自身が事業を經營するのでなく交通、港、通、礦、電力、その他直接の事業に當る子會社全體を統制設置し綜合的開發を促進することを目的とする點にある、同行兩會社首腦部は左の諸氏である

- △北支開發株式會社 總裁大谷源由、副總裁西山和郎、總經理、理事大久保貞次、森口繁治、三雲勝太郎、吉田浩、監事小倉正恒、中村、野村益三
- △中支開發株式會社 總裁兒玉慶次、副總裁平澤要、理事田三郎、今井清、油谷恭三、監事田金、串田萬藏

北支の開發計畫

北支の經濟開發並にその計畫を一書すれば左の如きものである

▲炭礦會社 蒙疆政府區域の大開炭(現在年産六十萬トン)中心に河北、山西の太原、陽泉で年産約三百萬トンの瀋陽石を採掘し現地で約百萬トンの産量を生産し、約百二、三十萬トンの石炭を内地に供給する計畫である、因みに瀋陽の埋藏量は河北省四千萬トン、察哈爾一億トン、綏遠一千萬トンと推定され目下瀋陽は日鐵が主體となり採掘中である

▲交通會社 北支の交通整備は緊急重要なる問題であるが瀋陽を中心とする日支合辦の北支交通會社がすでにこれにあつたこととなつた、瀋陽線を含む以北の諸鐵道五千五百キロ餘、バス事業のほか北支

一、買上げ価格は査定委員（輸出組合、紡織、綿工場の三團體より選出）において決定するが大體昨年六月二十八日の原價計算を基ととする。

二、組合において買上げた支那向け額布を支那向け輸出として許可する手續は輸出製品配給統制規則の關係上物資調整局とも協議の上決定し組合は現行統制規定を更改する組合としては入札によつて輸出に配給し支那に輸出せしめるか或ひは輸出商に委託して支那に輸出する模様で近く理事會および總會を開催正式決定する。

一、なほ滿洲國、關東州向け額布はさらに別個に買上げを考究する。

第十一條發動問題

望望の武漢三鎮が廣東に次いで星軍の手中に歸し國を擧げて星軍萬歳を絶叫する十一月月上旬明なるべき財界の上には突如豫期せぬ暗雲が低く垂れこめ始めた、國家總動員法第十一條、即ち配當制限、強制貸付に關する規定發動の氣運が濃厚となり、早くもこの形勢を看取した財界に異常な衝壓を與へたのである、開内に於ても本條發動を觸つて開員間に意見の一致を缺き、軍部對大藏當局の間に陰謀な空気が醸成した、即ち池田藏相は「經濟的見地からして、第十一條發動には反對である……」と語り一方陸軍情報部は政治的、社會的見地よりして斷然發動すべしと強硬態度を表明した、この變の眞只中に商會團體總裁が西下したが、政治經濟研究會では早速池田藏相を頼んで新大阪ホテルに懇談會を開催、池田藏相の口から何とかして政府の本意を探り出さうと色色氣を練んだものである、當日池田藏相は「開内には決して傳へられるが如き意見の對立を見てゐる譯ではない、決して各位の心配するやうな結果にならないだらう……」と極めて意味深長な語を與へ、多くを語らなかつた、その後池田藏相も「經濟的見地よりして絕對對動に反對ではあるが、然し乍らこの問題は單に經濟的見地のみでなく、政治

的、社會的見地よりも充分に研究する要がある」と語り、關係當局間に種々折衝が續けられた結果大藏省側も遂にこれが發動に賛意を表するに至り、十一月十八日大藏當局が發表せられた、初めて勅令内容の輪廓が明かにされ、陸軍側に於ても同日佐藤情報部長談の形式で大藏當局の見解に同意である旨を表明した、大藏當局談の要旨は配當制限については増配の制限のみに止め、現在一割以上の配當を行つてゐる會社が更に増配するときは原則として抑制するが、既往の配當の積極的引下げなどの手段はとらず、一方強制配當については生産力擴充を考慮して適當なる方法を考究中であると云ふのであつて、この聲明により一時衝壓を受けた財界もほつと安堵の胸を道で下した。

北支開發問題懇談會

北支開發、中支振興兩策會社側並波露が十一月二十一日大阪・新大阪ホテルで開かれ北支側からは大谷總裁、神尾、山西兩副總裁以下理事、監事、中支側からは同僚見玉總裁以下各百餘部が大藏省に於ての會議に政治經濟研究會では二十二日新大阪ホテルに北支開發問題懇談會を開催した、會社側からは大谷總裁が已むを得ない事情で缺席したが兩副總裁以下百餘部が出席し大阪財界情報部との間に種々陰謀なき懇談が交げられた、この懇談會は内容的にはさして特筆に値ひするものがなかつたが、北支開發會社情報部と大阪財界人の第一回懇談會であり、大阪財界の北支關心の熱度より見て多少期待されたものである、栗本勇之助氏より「開發會社の統制事業は交通、通信、その他重要資源開發事業に局限し、子會社への投資は最少限度に止め一面自由企業の進出を大いに助成し、この方面への投資に充分の援助を拂はれたい……」と要望を述べ、次いで飯島博司氏より資金問題に就て相當突き込んだ質疑があり「現在の實情よりして大藏省預金部乃至財界には大した期待は繋ぎ得ない、結局外資導入に落ちつくものと思ふが現在の國際情勢よりするとこれとて決して樂觀は許されぬ、一體如何なる方針で進むつもりか……」と

の質問に對し神尾副總裁より「現在の所では外資には全然依存してゐない、こちらから敢て外資進出を拒否するものではないが、當方から積極的の導入を促すやうな考へはない、資金問題に就ては全く内地財界の協力を期待してゐる……」と卒直な答辭があり、問題の外資導入について明快な結論が下された。

日滿支經濟懇談會

十月下旬大阪に開催され十日日滿經濟懇談會に引續き十一月二十二、二十四日は東京に、二十六日より三日間大阪に日滿支經濟懇談會が開催され、續いて福岡、新京にも同様の懇談會が開かれた、この懇談會は關東、武藏、信濃の各情勢に關し、新東亞建設に巨歩を踏み出すべく開催されたものであり、滿洲國側は新京鐵工公會會長下條修、產業部長長岸信介、中華民國臨時政府側は行政院建設廳長官殿同、維新政府側は實業部長王子惠、蒙疆聯合委員會副委員長金永昌、國務顧問關口保壽氏を初め各直屬部が大舉來朝し、空前の盛華會が開かれた（詳細本年附録に詳載）。

事變下第二年度の貿易界

△貿易一般情勢

十三年上半期の貿易は輸出十二億六千三萬圓、輸入十三億九千四百萬圓、入超一億九千三百萬圓で、入超額に於いては前年に比較して四億二千四百萬圓（六割八分六厘）の大縮小を示し、前々年に比較してもなほ七千八百萬圓（二割七分七厘）の減退となり、嚴密な國際收支の均衡維持といふ觀點からすれば、著る

概況—日滿支經濟懇談會、事變下第二年度の貿易界

しい改善振りであるが、しかも貿易總額について見ると、輸入が前年に比して七億五千百萬圓、割合にして三割五分を減じて輸入抑政策強行の効果を示した反面、輸出もまた所有の不振を示し、結局三億二千七百萬圓（二割一分四厘）の減少となり、貿易總額において顯著な萎縮を來してゐる、内容について見れば輸入にあつては重要輸入商品十三品のうち砂糖、硫安、油粕の三種が原料及肥料政策の關係で輸入増加した以外は全部軒前みに減退を示し、わけても羊毛の八割一分減を筆頭に棉花の六割六分減、生ゴムの大割二分減、木材の五割六分減等が目立つてゐる、而して前記の如く重要商品がいくらも顯著な輸入減となつてゐるのに對し「其他」に屬するものが前年同期の八割二千六百萬圓に對し、七億九千四百萬圓とわずかに四分割の減少にといまつてゐるのは鐵、原油及び重油、機械類、鋼、自動車及び同部品、揮發油、鹽、臨時局關係物資が重要品目から姿を消して「其他」の内に輸入された關係である、次に輸出貿易はこれまた各方面に不振原因が複雑してゐるだけに、織物、メリヤス製品、毛織物の如き原料を海外に仰ぐもの、生糸、海苔、玩具等輸出原料によるもの等いろいろも甲乙なく二割乃至三割程度の減退を齎せられ、その間機械類木材のみが異例的な増大を示してゐるが、これは專ら滿洲向けであつて特殊事情に基くものである。

△圓ブロッツク輸出制限問題

物資總動員計畫實施の結

果、滿洲、關東州、北、中支等所謂プロックに對する輸出貿易の上
に強度の制限が加へられることとなり、輸出業界に大きな衝撃を與へた
大蔵省の意圖としては圓プロック地域への商品輸出は正貨獲得の手
段とならず、國際收支是正の上は何んらの貢獻をも與へない、第三國
市場への輸出貿易復興こそ當面の急務である……としてをり、事變下
國際收支の見地よりして一應無理からぬ所であり、已むを得ない懸念
措置でもある、然し乍らこの見解に對しても

一、圓プロック内に於ける物資の窮乏は相當深刻なものがあり、特に
北、中支占領地盤に對しては治安工作の見地から見ても低廉良質の
日用雜貨を潤澤に供給することが何よりも急務である
一、圓プロックへの商品輸出を制限することは第三國製品の流入を促
す結果となり、日滿支經濟プロック建設の國策に反することとなる
一、特に中支に對しては圓貨吸收の上からしても雜貨輸出が必要で
ある

一、元來圓プロック向け雜貨は中小工業者の所産にかゝり、輸出額に
比すると原料費が極めて低廉であり、僅少の原料供給によつて多額
の雜貨を生産し得るゆゑ失業防止にも大いに貢獻する

等の反對意見が民間特に關係業界より叫ばれ、大阪府、大阪商工會議
所等が第一線に起ち緩和を當局に要望した、而してこの反對意見は單
に大阪のみならず全國的に瀰漫し、當局に於ても適當な方策によつて
これを緩和するとし、準備を進めるに至つた

△リンク制 事變下の我國としては先づ戰爭必須資材を潤澤
急速に供給することに全力を注がねばならぬ、由來天然資源に乏しい我

國としてはこれがために相當多額の資材を海外より輸入せねばならぬ
がこれとても國際收支を充分説明合せ、一志二片の爲替水準を飽まで
確保、堅持しつゝ輸入せねばならぬ、この結果とうしても一戰輸入を極
度に制限し、收支の適合を圖らねばならぬこととなる、然し乍らこの間
にあつて特に留意を要するものは輸出貿易復興のためある程度輸入せ
ねばならず、結局最後の切札として我國初の輸出入リンク制が採用さ
れた、要するに輸出と輸入をリンクする、即ち輸出額に應じて一定額の
原料輸入を認めやうとするものである、この制度は我國としては始め
て経験する新制度であり、圓滑なる運用を期するにはまだ、幾多技
術上研究の餘地を残すものであるが、比較的順調に進行を示してゐる

△輸出補償率引下 關工省では輸出増進の見地から大蔵省と
協議の結果、輸出補償法による補償率を一律に約五割引下げることに
決定、七月一日輸出補償法施行規則中改正省令を公布、即日實施し
た、織物製品及び雜貨等の中小貿易業者は之に依り多大の利益を受け
ることとなる

△貿易組合中央會設立 貿易組合法に依る貿易組合中央會は、
昭和十三年七月一日附設立を認可されたが、同會の事業計畫概要は次
の通りである(イ)貿易組合及同聯合會の指導及び連絡(ロ)貿易組
合及び同聯合會の設立の奨励及び督促(ハ)本邦産業及び貿易事情の海
外紹介(ニ)海外貿易發展所の經營(ホ)貿易講習生の育成(ヘ)買
易に關する研究(ト)海外商社の信用調査(チ)露西及び視察團の派
遣並びに見本市展示會及び展覽會の開催または参加(リ)會報、その
他の參考圖書の發行、なほ輸出組合中央會はその財産及び事業を本
會に引継ぎ解散した

△輸出品副原料配給 輸出現象のため商工省はリンク制
その他によつて輸出品の原料の配給を確保する途を講じてゐるが賦

限品目申渡がなす通さへあれば完全な輸出品となり得る物品に對して
配給が行き届かない結果、例へば輸出硝子の原料たる眞鍮、輸出磁器
磁器のコバルト、輸出向板車燈の組などに對して遺憾な點があり、
關工省ではこれら輸出原料の配給を圓滑ならしむることによつて輸
出に關係ある中小工業者の立場も考慮し得るものとし、全國にこの旨
通牒を發して九月上旬より配給を開始した

△日本貿易振興協議會 十一月二十二日東京、工業倶楽
部に發會式を舉行、役員の決定をみた、貿易振興に關する綜合國策を
樹立せんとする貿易振興本部である、(會長)堀誠之助(副會長)佐野
謙、(同安宅)彌吉、(同森村)市左衛門(顧問)井坂孝、(顧問)登太郎、(今井)五介
小倉正恒、(大谷)尊由、(大谷)登、(大久保)利賢、(各務)謙吉、(南條)金造、(村
田)省藏、(串田)萬藏、(松岡)洋右、(結城)豊太郎、(庄司)乙吉、(森
廣)誠(理事)長見玉(理事)次(監事)伊藤竹之助(以下三十七氏)

電氣工業は待機姿勢

電力前に電氣機器とも十三年はいはゞ足踏み時代の觀があつた

電力國家管理問題落着 先づ電力界であるが最も大きな問題は
二、三年來非常時色の濃厚化に伴ふ電力國家管理案の擱置であつたが
休會明けの議會は果然この問題を中心にして政府對貴衆兩院の攻防戰
は全く優越さを見せる緊迫状態に置かれた、同案は廣田内閣の下、頓

母本連相が革新政策の代表的重鎮として全力を傾倒したもので
にこれが實現を決意した大井連相の議會態度は全く氏の政治的生命を
全部打込んだ程であり、又反對の立場にある電力會社は經營の國家返
上に對し強壯なる決意の下に相對したのである、永井連相が議會半ば
連相の連帶を強々しく強硬苦闘し、二月二十八日議に委員會を閉
じること二十三回に及び遂に安國案と見られる共同修正案を政黨間にて
作成した、即ちその内容は電力會社法に於いて

一、電氣價格の低廉豐富 二、政府の損害補償 三、附則追加
日本電氣株式會社法案にては

一、第九條出資設備の價格算定 二、第十三條設定價格を出資價格
に 三、第十五條政府保證の社債券交付 四、第二十一條の官更入
社禁止 五、第二十七、二十八、三十二、三十三條の各削除
等に依り漸く議院を通過この間上院以來三十九日の審議期間といふ
記録を印した、貴院院回付後も松本亦治博士、公正會、研究會の三條
正案が提出され依然政府の變更を許さず遂に附則協議會開催といふ未
曾有の緊張局面を見た、これがため會期も一日延長され第七十三議
會を通じて附則に終始して電力會社法案四件は成立したのである
この間電力會社の反對運動は議會に呼應し強固な各社とも總會に
或は有志大感談會等の開催を講じて反對を決議、池田日鐵社長の如き
は既に決する所あり猛烈と政府に迫りその血反對態度は種々なる議
院にも傳せず驚愕たる態度を示したのは驚愕すべきものがある、上述

の新事態を前にして電力事業そのものは正に羅針盤を失つた航海の如きもので十二年の擴充時代を峠にして全く停頓の態となつた、今その状況を統計に見ると次の如くである

年次	水	火
昭和十二年	發電所數 發電力(KW) 發電所數 (發電力KW)	發電所數 (發電力KW)
同 十三年九月	一、三三〇 三、八〇〇、〇〇〇	二、〇七〇 二、八〇〇、〇〇〇
同 十三年九月	一、三三〇 四、〇〇〇、〇〇〇	一、九〇〇 二、二五〇、〇〇〇

電機器界苦境

次に電機器界であるが概して戦時統制強化から来る材料難でこの業界は可成り苦境に置かれてゐた、四月鋼の使用制限が實施され之が影響は實に深刻なものがあつた、四月鋼の使用制限、扇風機、家庭用電器、スタンド等殆ど全面的に内需品禁製の運命になり非常な打撃を蒙つた、先づ第一に電線界であるがこの工業は材料的に見ると鋼、銅、鉛、鋅、その他何れも統制の最も強烈な部門に亘つてゐるので打撃も想像以上であつた、大メーカーは軍需関係品によつて占められてゐるので殆ど百パーセントの材料を獲得したので先づ安泰の状態にあつたが中小メーカーが最も悲愴な立場にあり遂には軍需轉換も不能となり海外集積移動をも決心する程であつた、又モーター界は工業生産力の擴大、燃料消費制限等から需要は記録的な數字を示してゐたが、これ亦軍需関係のみに限られ内需は大體統制

となり、爲に中古品と雖も市場には一帯たりとも存在しないといふ有様で各メーカーは材料支給を條件としない限り製作調子を背けない様である、その間集積問題も惹起して販賣界の非常時相を展露した、扇風機勿論であつた、これがため各業種別に工業組合を結成し材料入手の途を講ずるほか全日本電器メーカーを糾合した日本電器輸出組合の結成を見、輸出品に對する政府の積極的勸奨策に呼應年末に至り活動態勢を全く備へた、本年の露筋は目覚ましきことであらう

技術的には躍進

なほ技術關係を見るに記録としては一月に埼玉縣川口第一放送所、旭ヶ谷第二放送所の百五十KW放送開始、二月の大阪、奉天間日通電話直通ケーブル開通等が挙げられるが車需方面では相當進歩的製品が完成された様である又電話購買、調達、擔保の禁止が實施されたとは電話界にとつては幾分豫期してゐたこととは云へその徹底した非常對策は唯電話業界に大影響を與へたばかりでなく一般電器業界にも相當影響を與へた、この業界も非常時相を全面的に受け沈滞した、これを要するに電器業界は概して不景と云へるが今後は大體市場の新展開と第三國輸出の常態復歸に期待すべきであらう、今年には團プロック制度も相當緩和される見込みであり、北、中支の復興につれ相當活況を喚び起すことであらう

工作機界の擴充本格

昭和十三年におけるわが工作機械製造業は前年度において企畫された

計畫的生産擴充策が實現への第一歩を踏み出した記録されるべき年であつた、すなはち第七十三議會を通過した工作機械製造事業法は十三年七月十一日施行されたが、その目的とするところは国防の整備及び産業の發達を期するため本邦における工作機械製造事業の確立を圖ることにあつた

工作機械製造事業法發令

は許可會社の選定を中心としたもので株式組織により設備機械二百臺以上を有する一般工作機械及び設備機械五十臺以上を有する特殊工作機械製造業者のうちから許可會社を選定、これに所得税及び營業税の免除、設備機械器具または材料輸入税の免除、設備費償却の保證、資金取得の優先權等の特典を與へるほか、一面においては設備増設、變更に對する許可、事業の廢止停止に對する許可、設備の擴張又は改良の命令又は製品に對する販賣價格、販賣條件の變更を命じ得る強力な統制力を有するものである

第一次許可會社決定

しかしして事業法による許可會社選定のため政府は左の諸氏を工作機械製造事業委員に任命した

- 石渡莊太郎(大藏次官) 東條英機(陸軍次官) 上田良夫(陸軍少將)
- 山本五十六(海軍次官) 福間忠雄(海軍造機中將) 村瀬重吉(商工次官) 東原二(商工省工務局長) 喜安健次郎(鐵道次官) 青木伴、横山潤任、關口八重吉、大河内正敏、黒木三三、飯田精太郎、大本貞次郎、岡崎久次郎、小平浪平、古田俊之助、斯波孝四郎

この事業委員は十月二十一日第一回委員會を開催、次の十一社が先

づ第一次許可會社として選定をみたのである

既設設備を有するもの又は建設中のもの

- 東京瓦斯工(大森工場) 油井鐵工(三田工場) 新瀨鐵工(新瀨工場) 大國鐵工(名古屋工場) 高尾機械(鎌谷工場) 東洋鋼鐵(下丸子工場) 津上製作所(長岡工場)

新設、増設のもの

- 國産精機(足立工場) 東洋鋼板(廣島工場) 芝浦製作(鶴見工場) 大阪若山鐵工(信太山工場) 東京瓦斯電(大森工場) 大國鐵工(名古屋工場)

工作機械製作獎勵金交付規則

工作機械製造事業法は許可會社の選定をその主目的とするものではあるが、更に許可會社以外の工作機械製造業者にも適用する獎勵策として同法第二十二條に工作機械の試作に對する一定額の獎勵金を交付することを規定した、この試作獎勵金につき試作すべき工作機械の品種、獎勵金交付申請の手續及び獎勵金の交付を受けた者に對する監督上必要な事項を規定した商工省令は八月十九日公布されたがその試作品種は次の二十二種である、なほ昭和十三年度においては三十萬圓を獎勵金として計上した

試作工作機械

- タレット旋盤、自動旋盤、精研ネジ切旋盤、二番取旋盤、タランタ旋盤、ジグ中グリ機、ファイナ中グリ機、ネジ切機、ライスマシ、スプライン軸マシ、スライスマシ、型形機、心無研磨機、内面研磨機、ネジ研磨機、スプライン軸研磨機、齒車研磨機、高純工具研磨機、砥上機、齒切機(ホブ磨を除く)プロローナ機、液壓式の形削機、平面磨又は形削機、可變速度又は多段速度電動機を應用し齒車裝置を省略したる工作機械

工作機械供給制限規則

以上を主として工作機械生産部門に對する助成的獎勵策であつたが、商工省では更に事業法施行直後すなはち

七月二十日公布を以て臨時措置法に基く工作機械供給制限規則を實施した、同規則は設備機三十臺以上を有する工作機械製造業者の製品供給を、兵器製作をはじめ、各種軍需品工業の生産力擴充のためこれらに集中し、不急不要生産部面への供給を制限したものである、もつとも輸出向けに對しては軍需工場に次ぎ供給することになつてゐるが何れにせよこの供給制限實施の結果はわが工作機械供給状態に重大な變化を與へたのである

S型工作機械設計圖の頒布 以上のごとく十三年、工作機械に對する政府の統制は生産、消費兩部門に亘つて實施をみたが、國産工作機の品質向上にも亦種々の對策が論議された、そのうち實現をみた代表的なものはS型設計圖の頒布である、S型設計圖は五大メーカーの提供設計圖を基礎に企画院、鐵道、商工省等の關係官廳の協同によつて成つたもので、九月以後順次に發表頒布された、その設計圖機種は左の九種である

S型段車式旋盤、S型全齒車式旋盤、S型ラヂアルボール盤、S型整形ボール盤、S型換フライス盤、S型萬能フライス盤、S型車型換フライス盤、S型型フライス盤、S型車形削盤

S型設計圖頒布の目的は、前記のごとく工作機品質向上に資することにあるが、その品質向上の直接對照としたものは中小工作機械製造業者であつた、従つてS型設計圖の頒布開始されるや、これに對する中小

業者の購入申込みは殺到する一方、この圖面を基礎にS型工作機械聯合製作案のごとき計畫が東京工業獎勵局長松田竹太郎氏によつて提示されたのである

工作機械業界の實情 しかば叙上のごとき政府の統制對策實施下にわが工作機械業界は如何なる實情を示したか、その概況を摘記すると一、工作機械製造業者の増産計畫は前年に引續き依然旺盛なものであつた、他製品業者の轉向、殊に許可費社を目標とする大資本會社がこの年派々創立された、生産額が如何増えたか數字的にはいへないが少くとも前年の倍以上に達したとみられるであらう

一、それにも拘らず昨年来の需給不均衡は供給制限規程の實施によつて多少緩和されたとはいへまだ依然甚だしきものがあつた、需要増加は益々強められたのである、その結果製品販賣価格は昂騰の一途を辿つたが、ことに七月實施された國産品配給は、工作機械に優先的配給を考慮され乍らこの價格昂騰傾向に拍車する結果となつたのである

一、しかし以上の傾向の中にあつても下半年以降工作機械供給状態は著しい變貌を示して來た、從來のク作れば賣れる々の傾向が漸次訂正され、需要は一變に高精度の製品に向ひ粗悪品は販路を絶たれる新傾向が發生したものである、これは工作機械の需要家が高精度を條件とする軍需工場であることと供給制限規則の實施によつて需要が軍需工場に限られたことに外ならぬものであつた

一、工作機械供給制限の實施は販賣業者の營業活動を著しく束縛した即ち同規則は販賣業者を一定の手數料による單なる需給とししか認めず、原則的にはメーカー、需要家の直接取引を奨励としたのである従つて從來メーカー、需要家間に介在種々の點から利潤を擧げ得た

販賣業者の經營機能は著しく喪失したのである

大體以上のごとくであるが、更にこの他にも理工省では、一、許可費此と對照的位置にある中小工作機械製造業者に對しても適當なる助成策を講ずべきで、一、工作機械品質向上を更に徹底するため適當な方策を實施すること等がわが工作機械製造事業に早急に實現すべき事項として論議されたが、これらは年内には實現せずして越年したものであつた

造船界躍進

昭和十三年の造船界を一言に表現すれば貨物船

時代といへるであらう、支那事變の擴大は貨物船の増大を要求した、これは取りも直さず戰時品の消費に對照するものであつて重要な國策に基いた結果である、往年造船界の盛衰はいはば貨客折半乃至は幾分客船の建造が勝つてゐたものであつた、例の歐米航路が客船の採算に有利なる場合にあつては貨物船に比し客船の建造に主力を注いだ、之は各商船會社が利益を第一に取上げるからである、然るに十二年の支那事變以後は利益を度外視した軍需資材の緊急増加前に輸出の一時的中止、海外渡航者の減少その他により必然的に貨物船の利用増大を招來した譯でこの傾向が益々と造船界に影響を及ぼした

大戦以來の新記録

今その造船状況を見ると十三年の進水船

は七月末の累計で既に百八十三隻を算し二十五萬三千九百四十七噸に達してをり、これに依つて推算する時は昨年の四十五萬一千噸を突

破し歐洲大戦以來の新記録を樹立するであらうとは想像に難くない、さてこの一考へられるのは十三年の工業界は統制經濟未開の強化により第一に國産資材の入手難から事業經營に斷斷を來したことが最も顯著な事象であつたが、造船界に於いては前記の如く軍需關係を多分に有してゐるので鋼材配給順位も第一位に置かれその建造が阻害されたので各造船所とも規模の擴張に努め擴張された能力に應じ最大限の活動を擧げこれが悉く貨物船に占められてゐたのであるから正に日本造船界では曾て見ざる奇現象であつた

中小型船へ

従つて建造船を一隻毎にみる時は例の歐米航路の股

盛時代に現はれた如き一萬噸級の豪華船は全く影を投し最大クラスにて七千噸級を一、二度みるのみで他は殆ど千噸以下に依つて占められてゐる状態である、従つてその座敷は正に稀有なものであるといふも過言でなく四百隻近い數字を示してゐる、上述の記録は噸數に於て、隻數に於て恐らく世界記録を作るのではないかと思ふ、以上は本邦における造船能力を示したものであるが時に技術方面を見ると十三年度における特異性は極端な期間のスピードアップ振りで、現に小型船の如き四、五ヶ月といふ記録も出してゐる理であり、又例の捕鯨二船の如きは川崎、大阪鐵工所共過去二年間に於ける賣き體性的記録が全く圓熟時代に入り最早や技術的には先進國並與を宣々と凌駕し造船日本國の偉力を遺憾なく發揮した、今年の造船界は更に躍進を續けるであらう、何となれば東亞の新事象は日本帝國の地位を益々上昇せしめねばやきぬとなつた、即ち凡ゆる點で東亞の指導者として起つたわがならぬので勢くとも東亞に於ける海運界は日本の手に依るべくこれが

爲には近海航路船の建造に一層拍車が加へられると想像される故に造船界の展望は将来永く持続するといつても過言ではないであらう

輸入機械は後退

輸入諸機械の現況が十三年概況にかつたとはないであらう、一昨十二年外國爲替管理が實施され輸入に對する原則的抑壓策が講ぜられこれに關聯性を持たした國內生産力の補充策の徹底が輸入機械の影を没せしめたとは當然である、この數年間に於ける國産機械工業の躍進は凡ゆる部門で華々しき足跡を示した、在來輸入機械の主なるものは工作機械と精密機械と見ても先づ差支へない程度であらう、而してこの兩機械の國産現狀を見るに先づ工作機械は別項の如く政府の工作機械製造獎勵たる特別法規の實施に依り想像外の原動力となりその推進の程度は技術に、生産力に業面を一併せしめた、各製作會社とも政府に協力し生産機械の擴大に努め未曾有の激需も大體に於て國産で消化可能となつた、現に或る特定方面に輸入されるものは特殊工作機械は已むを得ざる短期間に必要とした極少部門に限られてをりこれは問題にならぬものである、この輸入數字は直接間接關係を有してゐるので今は發表の自由を持たぬが今日の臨時體制に依る激需より推察する時は想像外の少量に止つてゐる、次に精密機械であるがこれ亦過去久しきに亘る技術的研究は十三年の非常時相を迎へて果敢結實し悉く軍需品と雖も輸入品は跡を絶つたと思ふ、例の文化的使命を帯びるプラネタリウム等の如き特殊なものを除いては大體輸入禁止されてゐた、以上の如く輸入機械は日本市場退却即夜の如き眼を呈し、これがため西國に於ては淋しく訪れた、唯特別な例として貿易系機械は防共權に依る貿易關係から特殊協定が結ばれ米國系統の一部と共に相當活潑な動きを見せてゐた

鑛山機械飛躍

昭和十三年年度の鑛山用諸機械製作業は正に劇期的發展記録を示現したといひ得やう、これは一に一昨年來國産強化

されつゝある爲替維持のための外國爲替管理法に基く特殊關乃至は主要原料の輸入難及び長期型態下平時の數倍乃至十數倍に上る國産、非國産金屬類の懸大なる需要が臨時經濟體制下國內の自給自足に待たねばならぬ結果、これに必然的に各種重要國産資源の開發は急務の急とされるに至り政府當局の重要國産物増産法の施行實施となり内地はもとより滿洲に於ても滿洲産業修正五ヶ年計畫の遂行と併つて湧然として躍ひたつた鑛山事業勃興の感波に乘つて鑛山機械メーカーはこゝに驚異的躍進を遂げるに至つたもので、誠に一國來復百花齊放感一入深きものがあつた

重要國産物増産法發令

政府は時局下國産、非國産金屬類中の重要國産物の増産を痛感するに至り三月廿八日法律第三十七號を以て本法を制定、同六月九日附隨工部省令第三十號を以て施行期日規定の決定を見た、即ちこれに依り重要國産物に金、銀、銅、鉛、錫、安質母尼、水銀、亞鉛、鐵、硫化鐵、格魯鐵、瀾石、水鉛、ニッケル、コバルト、石灰、亞炭、硫黃、砂金、砂鐵、砂銅等重要國産物の増産を圖るため必要ありと認むる時はこれ等國産業者に對し專業設備の新設、増設、擴張若しくは改良を命じ又は作業方法若しくは作業用品の規格に關し必要な事項を命ずるを得、又政府は勸令の定むる所により前項の規定に依り爲したる命令に因り生じたる損失はこれを保償することとなつた、前記重要國産物の資源開發促進のため政府は更に獎勵を目的とする鑛業業者の坑道掘削に對して毎年度算の範圍内に於て水平坑道にあつては延長一米につき廿圓、堅坑は深度廿米につき四十圓の探險獎勵金を交付するとなつた、而して之等政府の積極的保護助成の注床に育きたる鑛山メーカーは年初來の好調に更に拍車を加へ期せ

すして一大飛躍の過程を辿るに至つた、然しこの趨風滿帆の本業界に於ても臨時經濟體制下特にその八、九割迄國産を主材とするだけに必然他部門と同じく強力なる材料統制下に置かれた、國工當局は各メーカー宛材料割當の原則をとり至り五月六日に鑛山化學用機械工業組合の設立を見、各メーカーはこれが實効(七月一日)以降は該工業より配給を受けることとなつた、然し激需として湧き起つた激需に對しこれ極工組を通じて受ける材料は當然前ひ得べくもなかつたが、十月上旬旬日本鑛山機械工業組合設立され續いて關係三團體代表を以て鑛山機械協同會が結成され製品の種類、購買先の指定、受注の規制、販賣價格の制定等總て本協同會理事會の審議に依り決定されるとなり今後の新情勢に對應すべく業界の根本方針が本然確立されるに至つたのである

纖維機械苦難

國産的打撃を受けたと云ふも過言でない視その生産設備の停止状態に置かれたのは纖維機械界であらう、十二年事業資金調整法の施行を見た際針布が僅に乙のロに置かれた以外は紡績機械製造業全般が丙に指定された、即ち業制的地位で事實上製造禁止の悲況に置かれたのである、十三年七月には則ち資費法を基本單位とする織調配給制度が實施され遂に仕掛品の製作完成と共に工場機能停止の巴むなき事となつた、之が各メーカーは他工業に比し甚大なる生産設備を持つてゐるだけに今後の工場經營に非常な苦心を拂ひこの窮境打開策として輸出向製品製作と軍需轉換に志す所となり五月先づ關西、中部兩ブロック別に纖維機械工業組合を結成しその後これが聯合會を創立し強固なる統制團體として上述の二方面の實現へと向つたものである、然し輸出に就ては豫期せしが如き成績は望むべくもなかつた、と云ふのは日本の非常時相より來る材料、工資の騰貴は正に三日見の間の擡の如き海外市場となつてゐた、即ち騰貴、優良の大豆板は既に通用出來なくなつてゐたのである、獨、英、米等に比し三、四割も高く、これではどうにも太刀打ちは出來ないのである、故にこの狀況

打開が講ぜられてゐるが容易ならぬ問題を醸してゐる、又軍需轉換も勿論國家總力戦への重要目標であるので利益等は度外視すべきためこれ亦工場經營を安樂にするに力及ばぬは勿論であつた、唯大メーカーはこの間にあつて種々轉換策を講じたので切り抜けに成功してゐる向もあつた、何れにしても苦難時代は長くであらう

農業用機具

兵糧などとして糧食は出來ぬ、農産物は立派な軍需品だと云ふスローガンは事業資金調整法に依つて乙ロに指定されたとは云へ相成力を見せせてゐた、即ち表面上は國産配給或はゴムその他原料配給状態が良くなかつた様であつたが内面は可成り餘裕を見てゐた、勿論十二年以前の如き活況はないとしても工場經營に支障を來したと云ふ例は聞かなかつた、各地方國の證明或は農林省の推進力で相當の配給を受け又滿洲、北支に對する輸出も上半期は材料が充分であつたと下半期も大體手持材料で賄へたので例の關ブロック制も直後暫かず先づ他の犧牲産業の如き打撃を受けずに済んでゐた、又下半期に至り國産配給制強化には對應し軍需轉換を策し業制的轉換に成功し大阪重農工業組合を結成統制ある轉換振りを見せた、唯この業界は由來東京、大阪の對立があり國家的使命を帯びる工業組合或は輸出組合等の結成に當つて共に親睦會をし未だに日本全地區の工廠聯合會が結成されずにゐるのは残念な話である

輸送機械界活況

最近輸送機械の進歩發展は目撃しきものがあり、またキヤバシナイに於ても漸次大能力、スピード化が必要とされるに至つた、その利用範圍も著しく擴大され從來設備されなかつた方面にも時節柄作業能率の増進、製作工程の合理化を圖る見地からして必要缺くべからざるものとなつた、従つてその需要は特に本年に入り幾何數般的に増加を見せた、これに伴ひ容量と共にスピード化が要望されるに至つた結果特に蓄電池機關車、電動ホイスト、可動打重

磁石等特殊鋼の飛躍發展を齎したことである、これは勿論需要方面の變化に起因してゐるが總體的にその技術的進歩も著しく且つ近來稀にみる活況を辿り各重工業方面の生産擴充の脚前に惹かれ急激せる需要の膨脹を示した、特にタレーン、電動ホイストが斷然頭角を現はし次いで鐵山、化學方面のエレベーター、コンベヤー、チヤージングダレーン、キヤリヤ、蓄電池、磁石等の飛躍であつた、一方技術的にも亦誇るべき國産記録機が出現した、即ち日立製作所が三菱製業機戸籍業所に納入掲付けたる八百五十馬力登揚機は實に現在本邦新坑用としては最大のものであるのみならず更に同所ではこれに附屬して揚揚機用油壓操作液壓制動器を同時に完成、又一回打重機三一三・五トシと云ふ國産最大の角型可動打重磁石の出現を見たこと等、要するに十三年度の業界は直接間接に軍需に深い關聯を有しただけに驚異的發展を遂げ記録的生産力増加を示し終始好調を辿つたと云ひ得る

土木機械

昭和十三年度の土木機械業界は十二年度に比すればやや好轉したが左して特筆すべき活潑振りを示し得なかつた、軍需を糧とする生産擴充工作の進展に伴ふ重工業方面の工場設備擴張、工場増築乃至は新築工事等は誠に目撃すべきものがあつた、従つてこれに依り幾分の需要増加は見たがこれとて建築界の實情よりして僅少なものであつた、これは一に木骨を不可缺とする大専業工事、土木關係事業の一般的不振に基くもので、ために十三年度の需給状態は全般的に見て十二年度とほぼ同程度のものであつた、然し生産額から云へば材料その他諸掛費のコスト高で著しく増加を示してゐるとは勿論である、然しかゝる環境にあつて中、小業者の打撃率は比較的僅少であつた、これは土木機械のみならず専門製作業者が少いとの需要が平均して揚向けられたため、即ち中業者の間接乃至は直接軍需關係受注で中、小業者が比較的潤はされた結果と見るべきであらう、次に需給關係を見るに時節柄内地向は殆んど官廳、軍需關係に限られてゐるが下

半期以降となつて特に滿洲、北支方面よりの所謂大陸需要の目立つて来たことは注目すべきものであつた、しかしてその主なるものはロードリローラー、ドレッツヂヤ、コンクリートミキサー、フリタシヨウツ、ポンチ、ダンブリー、ガイドドレッツキヤタレーン等都市建設、築港修築等建設資材として必須の大型土木機械の引合増加を見たるとでこれは滿、支大陸長期建設の活潑なる進展を物語る證左であると同時に來年度の本業界需給を約束づけるものとして注目し得べきものであらう

鑄物業界は困憊

持たざる國の悩みを如實に露呈したるものを今年度鑄物業界の運命曲折に富んだ情況といひ得る、その主材たる鉄、非鐵金屬類はその國內生産力の不足を依然として海外輸入にまたねばならぬ關係上事變二年に入つての昨十三年度におけるその材料一段の強力なる統制は剛硬收支調整の見地からしても寧ろ當然の結果といひ得べく反面これに伴ひ幾多の犠牲を齎せざるを得なかつた、早晩来るべき歸結ではあつた、然しこれに基く中、小鑄物業者の打撃就中紡績、紡織、英大小等鐵機、機械關係及び染色採集等所謂不急平和産業部門に關する業者は全く死活的岐路にたつといつた困憊状態に遭遇した、即ち六月五日には全國地區別鑄物工組を一元的に統制すべき日本鑄物工業組合聯合會の設立、同月中旬に日滿鐵鋼販賣株式會社の設立更に既局の進展に伴ひ七月一日を期して内地民需向鉄鋼製品は全面的製造禁止となり就中商工省が十月一日より實施したる改正案は從來除外されてゐた再生鉄、木炭鉄をも配給統制の對象に包括せられることとなり更に質的統制の擴大全面的強化が爲されるに至つた、かくの如く製造者に材料たる鉄鋼そのもの、配給、使用の限制を受けたる結果之に關連せる平和産業部門業者特にその過半数を中、小業者が占めてゐただけにその打撃頗る甚大なるものがあつた、従つて下期に入るや之等業者は相繼いで窮狀打開の轉向を試みんとしてその大半は時局商業の花形たる工作機械類の製造へ、或者は特殊の組合を設立

工具界は急膨脹

共同經營機構となし組合を通じて軍需品の下請を行ふ方法を講じた、斯る環境裡にも本年度業界に於てはなほ經營困難を招來、幸ひ工場閉歇に至つたものが皆無であつたとはいふべきである、特に十三年度で回顧して大なる收獲とみるべきものは鑄造、機械製造の兩業者より成る鑄物協同會(十一月一日より事業開始)の機構が漸次各都市別に結成、組織組織化されんとする機構が強化されたこと、これは要するに從來兩業者の特殊な傳統的對立觀念を是正協力歩調を採らんとするものであり兩者の技術的完全なる協力あつてこそ始めて機械製作の發展向上が望まれる點に鑑みればこれは頗る注目すべき傾向であると信する

發動機界不振

發動機界の進歩發展はそれが一つの原動力として必然騰汎なる需要を對象とするが故にこれに關連する特殊事情に依り就中燃費問題に係る所頗る大なるものがあることはいふまでもない、従つて昨年度の業界も同様の如く事業進展に伴ふ強力なる重油統制を契機として特殊の跛行的過程を辿つた、即ち本年度に於て特に目撃すべき活潑を示したものは何んと云つても船用ディーゼルの飛躍である、これは大型船舶が時節柄鋼材入手難、積載コスト高で一般的に運送を來したるに反し中、小型船舶運送は車輦運送に拍車され著しく増加を見たため、従つてこれが主眼として四千馬力以下のものが特に目立つた躍進を示現、陸用の大型、小型(特に農工用)を通じて一般的不振に對比し劇目すべき飛躍と云ひ得る、一方石油發動機界も近來やゝもすれば小型ディーゼルの優越を際なくされてゐたが前記重油統制を一大障礙としてその需要は著しく増加の一途を辿り特に下期に入りての瀛洲大陸市場よりの引合激増等全く從來の小型ディーゼルの位置を置き換へたかの感を深くした、かくして如上の船用ディーゼルの躍進とともに本年度業界に一風彩を放つた以外は殆んど見るべきものはなかつた、總體的に見て依然局部的飛躍の域を脱せず昨年度も尚ほ不逞に終始、多難の一年であつたと云へやう

滿洲事業を契機として激戰時體制にはいつたわが國は今大變を一期に戰時體制に突入、しかも事業の進展と共に益々強化の段階へ移行した、斯かる變化の舞臺を如實にみせたのが本年(昭和十三年)の回顧となつたことは周知の通りである、従つてこの戰時體制に即應して重大なる役割を演ずべく進展擴充の飛躍的發展を遂げたものは重工業を中心とする機械工業であつた、隨つて機械工業の分野をみると、その基礎的生産部門となるものは工作機械と切削工具並に精密機器とが三位一體となる機械工作工業である、斯かる限りに於て切削工具と精密機器の重要性を認めなければならぬことは必定である、更に工具分野において製造工具類の機械工業部門に演ずる役割をみると一般工部門の存在には且つ大なるものがある、それが戰時體制にはいり急激に生産擴張を必然化ならしめたところに本年度(十三年)の特性を認める、なほこの特性を指し得るものは機械工業部門の發展に伴ふ工具類の精密度を要求したことで公認の標準にも何千分度耗といふ高精密を必要とし、こゝから發展して工具部門の精密化を斷水機に引上げた努力のあとをみる事が出来たことである、すなはち質的にも量的にも戰時體制に即應した編成を必要ならしめ、こゝに

新しい礎をみせたことである、具體的に云へば事業を轉機とする軍需生産への集中化は工具部門においても、文字通り軍需へ集中され、従前の半軍需、半民需への製作は民需を犧牲にして完全なる編成替を圖した、その結果は如何なる態であらうか？ 然とも本年度（十三年度）の工具界を回顧するとき忘れられない一つの事實である、それは何か、大體次の如く要約が出来るやうである

- 一、民需向原材料の入手難深化による中小メーカーの苦衷
- 一、民需向の販賣機關となつてゐた一般問屋業者の機能消失

この二つの問題は編成替の大なる犠牲となつたことである、何も彼もが軍需に集中され全生産の九十割近くまでが軍需に消化されてゐるやうであつた、その意味に於て本年（十三年度）の回顧はそれにつきる

原材料軍需集中

戦時體制化に伴つて民需向原材料入手難深化による中、小メーカーの苦衷は工具工場として需給バランス破綻の重因となつた、比較的原材料に恵まれた大メーカーの製品は殆どを軍需に消化され、一方中、小メーカーの原材料的苦衷によつて需給バランス破綻を深めたことは見逃せない事實である、春より秋に濃厚に斯かる現象を露見した、云ふまでもなく中、小メーカーの原材料的苦衷を深めたものは（一）鐵鋼供給統制の實施（二）特殊鋼の輸入許可嚴重によるものである、しからば當然中、小工具メーカーとしては新しい対策を必然とした、そしてその対策は工業組合結成となつてあらはれた、普通鐵鋼材を原材料とする用工具製造業者は全國製造業者の例にならつて該工省の態度でそれ／＼製造部門別に工組へ加盟したが、切削、精密機器業者の如きは特殊鋼を必要とする關係から鐵鋼統制の埒外に於てこれまた工業組合を組織した、すなはち東京工具組合、大

阪精密工具製造組合の如きで兩者聯合會にまで發展して對策策に奮命したことは異色ある記録を殘したと云へやう、しかし大阪工具組合の如きは團體交渉によつて初秋廿五種の輸入許可を得たるが如きは數量的には僅少の體に達せられないが、兎にも尙にも工場最初の特殊鋼輸入許可獲得として注目された、爾來東西工具組合は相提携し奔走の結果は特殊鋼協同會より特殊鋼の配給を受け得るまでに成果を得て氣分的にはや、明瞭なるものが漸ふに至つたことは、何んとしても工組結成の力量を誇足ではあつた、斯く各工具業者は統制時下に於てそれぞれの對策を講じたが、依然、大いなる統制の打撃は免がれず、十字路に迷ふ一匹の羊の不安より脱し切れない結果に終つてゐる、それが工具市場に直接大きく響いて波きさしならぬ需給バランスの後退を深めたことは前記の通りである

問屋機能の衰退

この結果は當然、横して民需向の販賣機關となつてゐた一般問屋業者の機能を消失せしめた、工具市場難かなりし頃の嘗ての問屋業者の存在性と對策的に考へるとき、文字通り一條の影として懐しむにたる程に慓慓たる深淵にけり出された、前途の光明を失つたといはふか、然しながらこの間、この慘憺たる現實に反して漸の如く押し寄せる需要に對する供給不足の現象は經濟の盛期になつて工具の市價を強が上にも昂め大きな利益をあげたといふとある、この傾向は大商店になるほど強かつたやうだ、しかしながらこの利益は何時までも熾かなかつた、それのみが根本的に販賣機能を奪ひ去られたといふ悲運に直面したのである、商工省の「中間商人の介入を許さぬ」といふ方針は實質の上に工具の問屋業者にかぶさつて來たのである、而も本年の傾向としてメーカー自身が直接需要家と結びついて行つた足跡を殘したことは問屋業者の販賣機能を一層衰弱なるものと見た、従前の賣る者（メーカー）と買ふもの（問屋業者乃至は需要家）との地位は百八十度回轉し「買つてやる」とまでメーカー

の強硬は益々昂まつた、こゝに明かに問屋業者の窮乏を暴露するにいたつた、そしてこの結果、播種した問屋業者の進路はどうかであつたか（一）群島上座主（二）問屋業者を打つて一旦とする工業組合結成の二つであつた、この二つを主眼として新しい途へ進んで行つたことは問屋業者の大變革であつたといへる、しかしながら尋常工場經營主義の實現には相當の資金を要することは明かである、大商店の場合には實現し得るとしても小商店には到底不能なことで、従つて小商店程統制の打撃は深刻に響いた、この場合工場はまた材料の入手に一苦勞は餘儀ないことであつた、爾の工業組合結成であるがこれは轉機が急であつた爲めと、従来の商賣者がこゝまで發展するまでに動いてゐなかつたのが理由で殆んど本年度の事業として記する程にまで動きをみせなかつた、何れにして工具の問屋業者は窮乏に陥し込まれたことだけは見逃せない事實である

價格暴騰

需給バランスの破綻は經濟の法則にならつて工具の市場價格を昂めたことは一部即述したが、それは法外な價格にまで吊り上げられた、生産コスト高による價格暴騰が顧みられ、更に製品需要理由とする吊上げだけに異常な關心が昂められた、しかしこの間物價抑制運動が具體的に進められ、經濟警察の取締りが嚴厲化され、一方業者の自肅自戒の申合せ等のために幾分の緩和をみたもの、さうしたこと必要とした客觀的情勢は工具の暴利を如實に暴露したものと云へやう、しかしさうしたことは結局、業者の自肅自戒によつてのみ幾分の緩和をみたに過ぎず、進んで經濟警察のメスを加へるまでには至らなかつた、その理由は所り工具暴利が復讐多岐にわたり、果してどの程度を暴利として取締るべきかに就ては常論としても割然としなかつたに由る、何れにしても價格暴騰の近年に於けるレコードをづくつたとは否定出来ない、とは云へば歐洲大戦當時に於ける自由主義經濟の法則をそのまゝ活用したるが如き暴弊の數少なかりしはわが國の

經濟情勢が自由主義經濟から統制經濟へとその途を判然と歩み、業者きた克くその認識を持つてゐた態度がみられたことは注目された、當局の工具に對する知識の缺如によるとはいへ、工具の暴利で取締り逆で機嫌されるが如き例を殆んどみなかつたことは明かに業者の經濟統制への認識を具現してゐたものと解してよかるべきであらう、實際春頃よりも秋になつて需給情勢の悪化にも拘はらず、工具の市場價格の上には於て軟弱を辿つたことはその証左とみて然るべきだ、なほ一割加へて置くべきは工具の市場價格を暴騰せしめた一面の理由は需要家の購買力によるものであつたこと、この如何を論はず通商事務の一つには違ひなかつたやうである、しかし需給バランス破綻深化にも拘はらず年末に近づくにつれて一般的に工具市場が平靜をとり戻しつゝあつたことは大局的よりみて多とされなければならぬ

大工場主義

戦時體制強化の段階にはいつて工具の製造部門は大工場主義に突入したことは本邦工具製造の國際水準への昇進として大體ざるべきである、政府當局もこれを奨励助成してきた、製品を軍需へ集中する場合、中小メーカーが放任してゐたのでは充分な軍需中の買を擧げ得られぬことは執筆者を要するまでもなく、絕對的の條件として大工場主義の必要がある、この國策の命運運成に工具メーカーが従つて工場擴張を断行した、しかしその原料供給に於ても大工場主義に特長をつけたであらうことは本年の記録の上に明かである、一般工具市場が製品供給で賑わうときは、ひとりで軍需向製品の確保をはかり得たことは大工場主義が成る程度にまで實現し得てゐる証左とならう、この點は確實なる筋よりの報道によつても「大工場主義」を明言してゐる、事實、本邦工具界が歐米依存の汚名をきてきたことは、従前の製造機械が餘りにも中小工場に閉じてゐたが爲である、と断言し得るのである、爾後依然とした歐米依存性は本年にはいつて完成とまで行かぬも、これを覆したことは否定し得ない、外國爲替

管理令を楯に工具の輸入を封鎖せしめたことは、國際收支の均衡を保持する目的を持つてゐたとするも、一面歐米依存性を脱却する自信を持つてゐたことにも原因することを忘れてはならぬ、その自信は何によつて生れたか、云ふまでもなく工具製造業者の大工場主義にあつたことより大工場主義は量の問題に止まらぬ、輸入工具の生命が何處にあつたかを考へると、質の問題を脱却することは出来ぬ、しからば歐米依存性を脱却せんとする時、當然重要視しなければならぬ問題は「質」の向上にも求めなければならぬ、極言すれば「形さへ整つてをれば」といふことより精密なものへの歩みである、大工場主義の生命はこゝにも大きく見出さねばならぬ、少く共研究室に百數十萬圓を投資した大工場の存在を必要とし、研究室に百數十萬圓を投資する工場は必然的に大工場主義をとらざるを得ぬ、その大工場主義を脱却し助成せんとしてゐるのが政府當局である、斯かる關係性は本邦工具製造を國際水準へ導いて行つた、而もそれを強化せんとしてゐる。

高精度化 機械工業の發展に伴ひ機械工作工業は益々精密度高揚を要求する、この要求に因應せんとする工具製造部門の動きは前項に述べた通り異常なる進歩をみせた、例へば航空機部分品にしても何千種を數へ、而も精密を要求する場合は、當然公差の標準にも何千度程といふ高精度を必要とし、従つてかうした要求を充たすためにしかも大産に製作せんとするには各種ゲージ、マイクロメーター等の測定器具類を必要とする、従つて一々の例を述べなしてその間に工具の精密化は急速に發展した、すなはち工具製造部門の國際水準性は精密的にもその役割を果し得る意味に於て瞭解するを許されるに至つてゐると云へやう、工作機械と切削工具前に精密機器とは機械工作の三位一體性を具有してをり、その三位一體性に工具部門の精密の歩みが大きな役割を演じ機械工作工業の眞の意味における精華を發揮し得るのであるが、わが國の工具製造部門がこれを目標に發展し、現に本年度にそ

の足跡を残したことは特筆大書すべきである、機械工作工業の基本性確立を意図するものと云ふべきであらう、わが國工具製造分野に於て今後伸ぶべき途は歐米の水準性を確保する意味において發展せなければならぬ、その認識が工具製造業者の眼裏に刻み込まれたことは慶賀すべきことだ、この認識は従前にもあるにはあつたにせよ、本年程に切實化したものを要求し、これに具體化の軌道に乗せたことは工具製造史に一エポックをつくるものでなければならぬ、従つてこの意味に於て工具製造業者は従来の製作態度を一變し、精密なものへの製造に専念すべきを要求されるに至つてゐる。

輸出停滞 工具の輸出問題も話題となつてゐた、惟ふに工具の輸出はやゝ本格的軌道に乗つて益々積極性を具有して、日本機械工業の一つの進路を示すに至つてゐたが、今次事變の進展に思ひされて日貨の打撃を受け、一時材料のやむなき情勢にまで發展したことは遺憾の極みであつた、そこへ鐵鋼材の入手難、果ては需給統制にあつて輸出は思ひもよらず、完全に市場放棄を遂げざるを得ない、更にこれに拍車を加へたものは、國內需要増進による輸出の内需指向もあつたしかし大勢はあらゆる意味において事變の影響は大きく懸念となつたが、鐵鋼統制の進展につれて輸向鐵鋼製品に限り鐵鋼材の優先配給態度決定は承諾し切つた工具の輸出に活を入れた、下半期後半にはいつて主として鐵鋼工具類を中心に第三國への輸出が幾分軌道を取り戻したことは多とされた、しかも鐵鋼統制の如き殆んど全世界に市場的地盤を有するものに就ては保稅工場の特點を與へられるなど、輸出振興策の採り手手段が講ぜられた、一般的に閉鎖的な氣氛が漂つたことは注目すべきであつた、しかし内地の生産コスト高が輸出に大きな患ひとなつたことは忘れられぬ、更に今後の輸出問題として大工場主義をとるに至つた業者が積極的これを計畫内容の一部に作爲的に加へてゐたことは留意しなければならぬ、大體、日本の機械工業全般

が歐米のそれと比較して遅々たる歩みを示してきたことは、根本的に海外市場を持たぬことに原因する、海外市場を持たずしてわが國機械工業の發展はあり得ぬ、換言すればその消極性が歐米に比して劣勢を甘受せなければならぬ地位に置かされたことと云へる、機械工業の一分野を構成する工具又然り、従つて工具の製造分野はその一、二を除いて町工場を擁しなかつたと斷言し得る、町工場の城を出なかつた原因は輸出市場を持たぬことに據る、それが俄然、大局的に大工場へ轉換又當局これを感應助成しつゝあることは、無庸言はず材料確保にあるもその包蔵する意圖は輸出の積極性にある、將來への大飛躍を包蔵する大工場主義の具體化は日本工具界に於ける劇期的成果への一歩と云へるであらう、なんとしても斯かる理想を企圖するに至つた情勢の進展は記録すべきだ、これを逆に考察するとき工具の歐米依存性を完全に脱却して内需の需給調整を圖り、なほ輸出の余力を持ち得る程である工具製造業界の將來に多大の期待を與へ得る。

輸出の問題でふれておかわねばならぬことは、町工場内輸出制限である、前、支輸出が町工場内に屬する所以をもつて輸出に大きな制限を受けたことは工具の輸出を阻害した、何分にも、支市場はわが工具輸出市場として重視されるべきまでに地盤を確保してゐたにも拘はらず町工場内輸出の制限を受けたことは、それだけに打撃も大きく輸出の不明確化を招來する材料的弱体化の先鞭をかづいた、滿洲の如き産業開發五ヶ年計畫の第二期目にはいつて一應工具の需要は相當量に達してゐたものが、一部許可のもののみを輸出に止まつたことは相當の打撃たるは免がれなかつた、この點諸々方々に緩和の聲があつたものの結局、政府の大綱方針は實際の上に工具の輸出明確化を招來せしむるものとはならなかつた。

統制と品薄の鋼材界

鋼材市況は昭和十二年秋頃から漸次進展した消費統制策にもかゝらず大勢は依然強含みでチリ高に推移した、殊に事變が南京陥落後、第二段に入るや同屋在庫量は益々窮乏し物によつては採無状態も現出し商内不埒の連環に終始した結果、市況は完全に獨自性を失つて従前に無視經濟の威力を痛感せしめた、然し何んといつても下期と違つて上期には未だ可成り自由主義的要素が殘存となつてそれが新しい段階への歩みを應々にして阻害するやうなこともあつた、事實小丸が一時期待ちの飛びつき買で三百二十三十圓を唱へられたことなど今日からみれば正に隔世の感がある、市場一服が新しくノミナリの高値保合を思はしてゐるとはいへ共、日露は決して拱手傍観してゐるわけではなかつた、一月十八日の豫備(三月積)鋼材(二、三月積)同十九日形鋼(三月積)同二十日鋼板共販賣管理事務に於て夫々前月値段より十圓下げに決定したことなどその間の消息を加算に物詰つてゐる、而も販賣價格の統制策として、形、板の三品種について東西鋼材指定間隔が結成されんとしてゐる、この間隔指定では臨時物價對策委員會の審中に基き從來の消費統制と併行して供給機構の確立を期するため省内に鐵鋼統制協會を設置して鐵鋼統制史上に一新紀元を劃する

に至つた、協議會は別面協議所設の如く各種重要産業部門より成る八分科二部會の下に官廳員五十名(各省關係課長)民間員三十名(消費部門及び供給機關各代表)の人員を配置し小金山局長を委員長に毎四半期の鐵鋼需給計畫を樹立編成する最高機關として物動計畫の編成をなすものである、二月八日商工省に招致された中井鋼鐵委員會は朝日常務委員會を開催して薄板、鋼力板の二共販組合と生産統制組合としての鋼塊組合の緊急設立を可決、直ちに調査を開始した、この鐵鋼協議會を概観とする商工省當局の鐵鋼行政はその推進な確立を遂げ二月十七日東京において創立總會を兼ねた東西鋼材指定問題組合に對し僅かに一ヶ月を出でずして早くも商業組合への改組を意思するに至り忙しき中にも事態は一定の方向を辿つて急激な移動を開始した、このことは獨り販賣業者に限らず同時にメーカー側にも鋼塊組合(三月八日)鋼力板共販(三月十日)薄板共販(三月十一日)の設立により従来の販賣統制から生産統制へと移行した劃期的事實を裏書する、日本鋼材販賣聯合會の規約第一條の改正は單に従来の名稱から「販賣」の二字を削除して日本鋼材聯合會と改稱するに至つた表面的事實にとどまらず、具體的には鋼材生産割當から鋼塊を運搬し更に鉄鋼、鋼の割當比率を今後に於て決定するなど凡そ鐵鋼生産に關聯するあらゆる問題を全權主義的に統制する最高機關としてその存在は益々重要性を加へるに至つた、中樞機關の確立は非下各共販の機構にも重大な

る影響を及ぼし全國鋼材商業組合(四月二十七日)鋼管商業組合(五月十日)鋼材商業組合(九月八日)のほか薄板(五月十五日)薄板(五月四日)鋼力板(五月五日)と稱を並べて各品種別指定問題組合が結成され、ここに特約店制度を廢して第一次供給機構を確立するに至つた、機構上の統制が聯合推進主義的であつたにもせよ一段落を告げるや政府は低物價政策的見地から重要物資全般に亘つて公定價格を規定し經濟警察の活動な動きが傳へられた、鐵鋼に於ても鐵鋼に鋼材共販で決定した指定販賣人—指定問屋—指定特約店間の口誼協定により賣需家談しの最終價格が準公定價格として商工省の認めるところとなつた、メーカーが鋼塊組合の設立と同時に扱賣りを禁じられたと同様、販賣業者も最終價格の決定と同時に所謂仲間取引は一應禁止された、ついで全鋼管メンバーには形、形と稱運れて板の各販賣比率が共販によつて定められ益々鞏固になつてきた、擧げて加へて軍需の復旧及び數的增加は販賣業者をして益々窮地に陥らしめ鋼板の如き共販の毎期賣出量は舊て全鋼管メンバーの一家の在庫高にも過ぎないといふ激減振りである、これをメーカー側からみれば政府の國際收支適合策による輸入制限の強化によつて鐵鋼原料は著しき不足状態を告げスタックの如き九月に入つても未だ上期原定量の輸入が許可されざる有様で製鋼業者の難堪振りは想像以上のものであつた、擧げて加へて礫石の品質低下は製鐵作業の能率を極度に低下せしめ事態は愈々減産を不

可避ならしめた、これら列擧に連なきメーカー側の惡條件が軍需の増と相俟つて直接販賣業者の取扱數量に影響を及ぼさないわけはなかつた、殊に最低位にあつて常に販賣第一線に立つ全鋼鋼材特約店商業組合聯合會では全國三千有餘店の生命を賭けて純然たる社會政策的見地から敢然全鋼管と對抗した、この窮状は先づ全鋼管、特約店にチャ―チを認め價にて指定販賣人の口誼増額によつて辛うじて一時打開の途を切開いた、しかし方途は奈邊にあらうとも所詮買需賣りを懸つての指定問、全鋼管、特約店三者間の對立抗争は鐵鋼機構の根柢から再検討し緊急修正せざる限り、これが根本構造的解決は期し難くもありまたこれこそ昭和十四年度に課せられた重要課題でもあらう、一方、消費統制は愈々その強化を不可避とし先づ不急分野への鐵鋼流動を阻止するため註釋物製造制限規則が公布され、矢張りやに鋼製品製造制限規則が公布夫々實施をみるに至つた、これと同時に鐵鋼工作物製造許可規則の改正によりその基礎限度たる五十處未滿の工作物に對しても許可制を實施し事實上禁止的制限が加へられた、斯の如く生産、販賣、消費の三部門に亘つて嚴重な統制を實施した當局は更に戦時目的達成への誠意を凝らして軍需優先供給の大綱を確立するため鐵鋼供給規則を公布し従来の自由主義的販賣方法にとどめをさした、所謂切符制による供給統制が治安の如き軍需品と異つて三千餘種類にも及ぶ鋼材に應用することには到底不可能であらうとの聲を押し切つて敢

然發行した商工省は普通鋼材乃至鉄鋼に引續いて中間鋼、高純素鉄を包括し更に板、鋼尺及び鋸生品にも適用するに至つた、以上は主として第一次工程に關し鋼材の統制する品種別九共販乃至は日清鐵鋼販賣會社が統制事務を擔當するが、當局の統制工作はこれより發展して第二次工程たる各種鐵鋼製品に及び先づ鐵鋼製品を筆頭に品種別供給調整協議會を組織してその各々を第一次工程ヘリツクせしめた、鐵鋼機構もこゝまできて漸やく鐵鋼協同の感を深からしめたが、こゝに鋼材工作として所謂「鐵鋼運動」が提唱され消費統制策の體性となつた死鐵鋼材の買上げに致命したことは生産と消費の兩面統制を擴大成した別途の統制方法としてその効果は兎も角も特記すべき事項であらう、鐵鋼統制は更に進展して鋼材から原料へ及び廢鐵の如きは日本鐵鋼株式會社の設立に至るまで最も困難な過程を経て今日に至つたわけであるが、その實際的運用はこれまた昭和十四年度に課せられた重要課題といはなければならぬ、公定價格の設定は鋼材の場合と異つて發生量に多大の影響を及ぼすことも考へられ當局に於てもこれが眞に憂慮の焦點とされてゐたが、果して本年度に於て百萬圓の發生をみるかどうか新會社の運用と相俟つて注目される點である、殊に十一月鋼材協同委員會が形、形、鋼の各ベース物とシート、ローを除く半製品全般に亘つて中間下げの新價格を發表するに至つた経緯には政府の高物價抑壓策と關聯して鋼管協同の時局協議に貢ふ所もあらうが、附

鋼材が當局告示の公定価格により今後益々嚴重なる統制が加へられるであらうとの見通しも、建値引下げの有力なる一因となつてゐることは罪はれない、同時に需要家側より成る減産配給統制協会の出現は内地産生財の全廃は勿論、他にスクラップの輸入買入量をもより一層明確ならしめるわけで、これと相違する鉄鋼との關係は鋼塊組合の本格的機産活動と相俟つてその全盤主義的體裁は本年度に於て遺憾なく威力を發揮するであらう。

鉄鋼飢饉續く

昭和十三年の鉄鋼業界は新統制に於ては多年の懸案たる日鋼鐵鋼一元統制が見事結實して鉄鋼共販會社が解消し日鋼鐵鋼販賣株式會社(資本金二百萬圓)が風爽登場したほか、再生鉄の製造が時局の波に乗つて急速な發展を遂げ東京、大阪、關島の三プロツタ別工業組合を打つて一丸とし日本再生鉄工組を結成して共同販賣に乗り出すなど依然打撃く鉄鋼飢饉を續つて戦時色を濃厚に反映した殊に高率減産に悩む洋炭業者のハツセー法による製鉄事業は遂に企業院の認めるところとなり本年度動員計畫中に一部編成をみたことにはそれが轉業對策をも兼ねた一石二鳥案であるだけに特筆大書すべき事柄であらう、さう新統制に就いて概観すれば、既に鋼材に於て詳述せる如く鐵鋼石の品質低下が直接鐵鋼の作業能率に影響して日産自製鉄は未曾有の難航状態に達したと、併せて昭和製鋼の分が滿洲國五ヶ年計畫によつて自家消費に急激なる膨脹を來したことが内地の鉄鋼飢饉を拍車付けた最も有力なる對外的要因といつても差支へなからう殊に當局の爲替管理が鋼鐵の協働と比べ比較にならないとしても漸次強化されるにつれて窮乏になつてくることは争はれない、かゝる情勢裡に假令鉄鋼製物製造制限規則の如き消費統制策が關じられたとしても大

局的には何んらの變化もみられず零ろ飢饉状態は益々深刻化する一方である、日鋼鐵鋼販賣會社は實にかゝる最悪の情勢の中に最大の憂を擧げ重三・四半期には早くも鉄鋼共販より事務繼承し販賣機構も當分の間に現狀を維持することとし取敢ず日鉄會と共販會を合併せしめて鉄友會を組織して新會社の指定商會として指定商會は従来の全鋼十七店をその價引商として同時に取扱口擴張に就ても極めて積極主義的に再編した、その後重四・四半期の期許時期に際し日鋼鐵鋼が指定商の對選を申出で日鋼鐵鋼が同商會のクォーターを接收して與今同社の直營分野に決定したことは當時數層からみて僅かに三萬四五千圓に過ぎないが、本年度重二・四半期以降より漸次増産實現の途にある滿洲鐵を思へばそれこそ僅に三萬四五千圓では濟まされぬ重大な何物かがあつた、事實、日鋼鐵鋼では直營問題について指定商には何んらの確約も與へなかつたことは指定商をして益々憂心暗鬼ならしめた、而も十二月より鉄鋼取扱方法を排撃したうに指定商各社に對し暫定的取扱比率を定め、同時に日印通運は木西專に、大倉鐵業は同商會に夫々權利を移譲する等豫定の目標に向つて暫く活潑なる動きを開始した、一方鉄鋼増産計畫は本年度内地に於て日鋼鐵鋼、日本鋼管、中山製鋼、小倉製鋼と相次いで火入れを豫約されてをり、昭和製鋼もまた第四次計畫の實現によつて相次増産を見込みうるなど前途洋々たるものがあるが、歸つて鉄鋼需給状態をみれば極度に制限された需要はその満足の如何によつて供給數額を超過することも容易に考へられる結果、需要は依然民需を仰へて軍需への飛躍配給を期する外はな

漸やく本年度に入つて試験の域を脱せんとする洋炭業者の製鉄事業に就てもほゞ同様のことか云へる、生産數額にして内地新統の四割強に相當するこの種鉄鋼は再生鉄と異なる根本的相違點はそれが低價鉄であることであるが、處にも言つたやうに軍需自體が設備設備の活用を立脚してゐる轉變對策的意義を有してゐること、また技術からみてロータリー・キルンより放出する熱能ガスを利用して電氣爐製鋼による特殊鋼の生産を行ひうることも等凡そ有視するに足る幾つかの事實が列擧されるに及び益々注目されんとしてゐる。

ニツケル

ニツケル需要の増加は軍需下の世界的傾向であり一九三七年を契機に世界の消費量は十萬圓を遙かに突破したとみられてゐるが、我國に於てもその消費量は左の如く正に驚異的數字を示してゐる。

昭和 十年	二、六三八題	八、八七一千圓
同 十一年	二、五七七題	八、五一四千圓
同 十二年(七月末)	三、五七二題	一一、一八六千圓

以上の實需量に對してその生産高は戦時下十三年度に於ても僅めて微たるもので大部分は鑛石として英、荷、米、加、獨の各國から輸入に仰いでゐる現状である、この生産と消費の極端なる不均等状態にもかゝらず、ニツケルの需要擴張は益々ひろがりゆく一方で昭和十年の戦時體制下に於ては貨幣流通が全消費量の四割七分を示し騰貴價位を占めてゐるのに對し十二年以降は専らアロイ・スチールがこれに代り各種重要機材の部分品製造に制約的研究が行はれその用途分野は無限に擴大された、他方、生産部門に於ては本邦最初のニツケル國産工業化が漸やく研究の域を脱し十三年度に於て見事開花したことは特記すべき事柄であらう、先づ日本ニツケルが漸進、那摩の兩縣に於る蛇紋岩地帯から最初の粒狀ニツケルを産出し直ちに市販化し、廣いて關川ニツケルが千葉縣下の敷設岩を採掘して直營處理に乗り出したこ

となど何れも今後の増産計畫遂行に俟つ所大なるものがある、以上國產メーカーの活動と對比して輸入鋼鐵メーカーでは日本製鐵の大規模事業が最下の情願、二本木兩工場を動員して日産三題の堅脚を張つた、その他著名なメーカーとして住友金鋼工業、三友鋼業、日本鋼業等何れも足並揃へて増産遂行に拍車をかけてゐるが、これら生産陣が本年度に於てどこまで消費量に肉迫するかは依然として興味の中心點を失はない。

鋼管

生産力補充の基本的資料として鋼管の需要は本年に入つて益々激増し殊に岡山關係の需要は著しく生産力補充の一面を如實に物語つてゐるが、更に鋼管の需給を一層不均等たらしめた重要な原因としては軍需の外に滿洲國需要が同國の五ヶ年計畫遂行によつて莫大な數額となり軍需に續ぎ緊要需要として騰貴された結果内地は益々窮乏を告げるに至つた、このため鋼管共販では全力を盡して生産調整の増産に奔走したが僅かに重四・四半期に於て履分かの目的が達成されたに過ぎない、とは云へば鋼管の手持切荷は依然として増産増すばかりで高揚きは極度に蒸騰した、この極端な供給不足は軍需その他滿洲國向け需要の緊急擴張以外に從來行はれてゐた輸入の途が政府の國際收支適合率により完全に封鎖するに至つたことに原因してをり兩大相俟つて鋼管業界は未曾有の四苦八苦状態を呈した、そのうち更に重要なことは重工業の所屬鋼管消費統制策が鋼管に影響する虞極めて強く、一例によれば鐵鋼工作物製造許可規則の如き工作物全般に使用する鋼管はこれにより一應禁止されてはゐるが、工作物、特に機軸に使用する鋼管はサイズも小さく比較的輕便であるため生産調整に際しても之が減産は全體からみて悪影響は軽微と考へられず、而も鑛山用の如き増産を必要とするものはサイズも大きく且つ重厚であるため生産調整が難數主義を採る前からは極めて不利であり結局當局の消費統制は直接鋼管の長尺物生産に影響を與へなかつたとみるべきである、鋼

於て國産自動車の製造中止の止むなきに至つた

他方日産自動車株式會社では國産自動車工業の獨占的制覇を企圖し
今春四月東京自動車工業を日産プロダクツの傘下に收むべく東京瓦斯
電氣工業の株式十二萬七千四百株を日産コンツェルソンの有力構成部
門たる日立製作所が譲受け、に東京瓦斯電氣工業所有の東京自動車
工業の株式七萬株を日産自動車及び高尾波重工業に於て折半買
替りするに至り東京自動車工業をその傘下に納めるに至つた、これ
に反し豊田自動車は獨自の歩調を以て自己の地盤を固め刈谷から豊
母への東洋一の自動車工場を今秋完成するに至つた、尙ほ十四年度
に於ける各社の推定生産量数は東京自動車工業の二萬八千臺を筆頭
に豊田自動車の二萬臺及び日産自動車の一萬二千臺が生産される
こととなつてゐるが本邦需要數量への充足は近々二、三年にして充た
されるものとみられてゐる、尙本邦國産自動車工業に投下されてゐ
る資本は僅に一億圓に達せずであつて歐米各國のそれに比し微々たる
ものであるがこれを各社別に分類すれば日産自動車株式會社の三千
萬圓を筆頭に東京自動車工業株式會社の二千七百萬圓、トヨタ自動
車工業株式會社の一千二百萬圓、以上の外借入金として各々日産自
動車が二千二百萬圓、東京自動車工業が五百萬圓、トヨタ自動車
二千五百萬圓が各親會社及びシンジケート國から借入れられてゐる
ともあれ以上のやうな對外的及び國內的諸情勢よりみて日産、豊田
の兩許可會社及び東京自動車工業の三社を機軸として明日の國産自
動車工業界はリードされて行くのである。

部品工業界

國産自動車工業確立の基盤の問題として部品工
業の確立が先決問題としてタロースマツプされてゐるが、部品工業の
確立は優秀なる部成品を最底の生産コストにより供給されることが重
視されると共に産工省に於ては這般自動車部成品の質的向上を圖るべく

すなはち昭和十二年日支事變の勃發と爲替管理強化に依り漸く相模
を講はし來つた外車受難色はこの年に入つて果然決定的動きを示
し、シ及びグライスター・コーボレーションを除く獨立會社系各
車は國産の許可獲得運動にも拘らず遂に一環の輸入にも成功しない
ま、年内を推移して丁つた、従來國內自動車市場をほぼ二分して
宛然王者の態があつた日本フォード、日本ゼネラル・モーターズ兩
社に於てもこの悲運に例外たり得ずその持つタオーターの僅かに二
割、精々二割五分程度が市場に流入したに止まり、他は軍部の特殊
需要に吸収されて五月以降約半歳に亘つて民間向け分の出荷停止斷
行を懸念なくせしめられた、このときは國産車の進出に好機を與へる
と共に自らの發運に加速を加へ進落を決定的ならしむるに充分で
あつた、昭和十四年度許可組立臺數は十月十日新年度に入ると共に
夫々明當決定し兩社に通過されたが、フォード一萬二千三百六十臺
シボレー九千七百四十臺で何れも恐れられてゐた削減は行はれず十
三年度分と同量であつたが、これを要體材料として特許には餘りに
も心許なく寧ろ産工省の自由裁量がこの範圍内に於て隨時押される
こととなるべく浮動性をこそ懸念される

以上要約して外車の敗退は最早遠くもなく昭和十三年度僅かに

輸入せられたものにあつてもそれはやうやく一人歩き出来るまでに成

長した國産自動車の急進として且つ軍の特殊需要に振向けられる爲に

なされたのであつて、久しい間の合言葉「國內市場は國産車で……」

は半ば所期の目的が達成されたと云ふことが出来るであらう

ディーラーの苦悶

外車の輸入材絶乃至は配給停止にあつて
カー・ディーラーは全くその死命を制せられるに至つた、地方ディーラー
は相繼いでニッサン、トヨタ等國産車販賣に轉移しこゝでは兩國産車

自動車優良部品の認定制を實施し、すでに昨年六月その第一回の審査
を終へ七十餘に亘る部品の優良品として認定し、許可會社に優先使用
せしめることとしたが、更に同省ではその第二回を十二月初旬發表した
而して現下部品生産界は異常な激行生産現象を示し、國産自動車工業
の發展にこれが是止が希求されてゐる、即ち高度技術を要する部品生
産は前に於て少なく技術簡易な部品の生産はこれに反し多量に生産さ
れ自動車工業が綜合工業である限り最も緊急なる解決が望まれてゐる
理由である、この見地から部品の生産に關しては産工省に於ては積極
的な増産計畫をとり、昨年中に於て東京自動車工業系の自動車部成品
製造株式會社（五百萬圓）の設立を初めとして國産自動車工業株式會
社（百萬圓）、東北振興製糖株式會社（二百萬圓）等の部品製作會
社の設立を見た、以上の如き部品生産會社が本格的な生産開始と共に
國産自動車工業界が更に一段の飛躍を約束されること今更尙言の必要
はない

タイヤ生産界

國産收支の調整上タイヤ原料たる生ゴムの輸
入は極度の制限を受けると共にタイヤメーカーたるブリクヂェストン株
式會社、ダンロップ株式會社、横濱護謨株式會社は累月その生産數量
が減少しタイヤ市場を未曾有の渾沌状態に陥れ、トラクタ及乗用車
用以外の特殊サイズ物に至つては殆ど製造中止の絶望状態を示現し一
方價格は益々高きことを知らざる趨勢を示すに至り、各方面に於て再生ゴ
ム、人造ゴム等のゴム代用品が生産されたが到底實用の域に至らず結
局時局の終焉せざる限り現状の續續であらうと見られてゐる

輸入車陣營總崩れ

昭和十三年度はフォード、シボレー兩
大車種を初め輸入各車が本邦市場より總退却を斷行し、シボレー同
時にそのもとあつた地歩を國産車と完全に轉移せしめられた歴史的な
年であつた

の販賣額不整價が多分に伴ひした、都市ディーラーにあつては起死回生
のあらゆる方策が講された、ライセンス系五社に上りタレデット設
定が目論まれ、同じ時インスター・ナショナル權限會社により物々交換
制輸入さへも企圖されたが、何れも失敗に歸した、漸れる者に要の
費へがあるが外車ディーラーの眼界からはその重さへもが失はれて了つ
た、斯くてカー・ディーラーの新動向は大なり小なり生産分野とタツチ
する方向に招き示され安全自動車を主眼とする「社系五社の「日光號」
を初め栗澤（ビュイック）金剛（ダイヤモンド）等何れも從來輸入
に當つてゐた外車のコツピー國産化計畫が押進められるに至つた、他
面他ディーラーに依り自動車用品、部品の製造販賣輸出が現はれ既に實
現の途についてゐる向もある、何れにしても相當激しい變遷が遂げら
れた譯でこの一年が常時の五年、十年にも匹敵するものであつたこと
が肯ける

時流に乗つた代燃車界

木炭自動車

自動車燃料としての揮発油消費量が時局の進展
に正比例して騰貴されると共に他方代用燃料車使用が最も燃料節約の
妥當な方法として國産の波に乗つて自備するに至つたが各種代用燃料
車中最も我が國情に適應性あるものとして木炭自動車を探り上げられ
産工省に於てはこれに對し積極的な奨励策として使用者に對する補助
金交付制度の實施を爲すこととし補助金交付の資格を決定すべく木炭
瓦斯發生機メーカーに對し嚴重なる性能テストを施行した、而してそ
の際一回の性能テストが昨年四月トラクタ、バス専用發生機に就て臨

航空工業、世界水準へ

八月三十日より施行された航空機製造事業法は一時行き過ぎの懸念のた航空機工業のメーカーにプレキの役目を務め同時に新業を格段の飛躍的段階に突入せしめるとなつた、加ふるに事便の拍車は所謂創始期と見做される時期を須臾にして時代の眼界からはるかなものとし新進古豪押しなべて本格的増産過極へと押進するに百花擷燦の花盛り時代を邁へるに至つた、現在世界第一人者の稱を恣いすに於ける獨逸の航空機工業生産力擴充が實に歐洲大戦の砲臺となつた最中に遂行されたのであると思ひ合せる時これは極めて興深い事實である増産計畫遂行に伴ひ航空機製造各社の資金吸収は上、下半期を通じて順る旺盛を示し、總體にそれはパツツ上りの一貫製作を可能ならしむる程の能力具有に役立つたことが顯著に認められる、然しこのとは同時に従來からの努力者である下請工場との離脱を必然ならしめこの間に若干の相剋を生じ來つたとも見逃せない事實である、由來我國の航空機工業はその初期的發展段階に於て多數部品下請工場の配屬を必要とし之等の業者は所謂シャドー・スキームと稱される生産機構下に極めて緊密な連繫をアツセンブリー工場との間に保ち來り政府も亦物資動員計畫遂行による轉失業者を可及的航空機關係工場に收容する方策を

採つた爲その数は十三年度殊に激増を見て百餘工場を數へるに至つたが航空機各社の急激なる質的量的向上は之等下請工場との懸隔を漸次増大する結果となり早くも轉業者の再轉業整理をたゞよはせるまでに至つた、然しこれは國產航空機工業が舊い殻から脱して充實伸長の時期に到達したことを意味するものである以上一時的な生産壓迫があるとしても何等危懼するべき性質のものではなく時代産業の動きが一切を解決するであらうと思はれる、眼を民間航空に轉ずるとこゝにも亦劇期的飛躍が示現され既に政府は中、北支新政權の樹立を機として十三年度百八十萬圓の豫算を以つて東京—福岡—青島—北京及び福岡—上海—南京の二定期航空路を開設し之を既設の東京—新京線と結んで日滿支提携を基本とする東亞航空事業の整備を圖る等自費ましいものがあつた、更に民間航空振興の先決要件たる航空機製造技術者、乗員養成に飛行場開設等に關し平戰兩時の要求に應じ得るやうこれが充實を期して明年度豫算に中央航空研究機關設置を決定、これが設立準備部を六月十五日經濟省航空局内に置き同日附官報を以つて官制を公布これにより相次ぐ増産を昭和十四年度に繰越し期待されることとなつた

國策氾濫の石油界

「石油一滴は血の一滴に値する」と叫ばしめるに至つた我國石油業界

は正にこの持たざる責歟——國內需要に對する國內生産産區は僅か九%に過ぎない——而も近代國家の必需資源であるこの石油業の振興といふより寧ろ自家自給を目指しての死闘は早くより始められ他産業より一歩先んじて戦時體制を備へて來たが、今回の事變これが一層の拍車づけとなり未曾有の多岐な年を送つたのである、廣田、林、近衛の三内閣に繼承された「燃料政策」は、戦時體制の強化によつて、この國防の血液であり國家自衛の大動脈である液體燃料——石油の自給自足に向つて邁進しつゝあるのが昭和十三年に於ける石油業界の姿である

人造石油事業と天然石油増産

昨昭和十三年六月閣下省に燃料局設置と同時にこれまでの燃料政策の準備工作より具體的實踐のスタートを切つたのである、同局の設置に伴ひ重大燃料政策としての二つの方策が樹立され、積極的工作として「天然石油と人造石油」後者は「揮發油及びアルコール混用法」「アルコール専賣法」を生んだのである、斯くて増産政策と消費制限の併置的強硬は閣下の第二年内に入ると共に長期建設の國策樹立されるや、より一層の之が計画的實踐に入つたのである二元主義、一、他方消極的政策として「アルコール混用制度」の制定と徹底的消費節約運動をなすに至つたのである、即ち前者は「帝國燃料興業會社法」「人造石油製造事業法」となり「石油試掘獎勵」「油田地質調査」となり、政府にあつては昨年帝國燃料興業會社の創設により人造石油の大増産を企圖せしが、本年に入り第七十三議會に「石油資源開發法」の提出可決に成功してこれが促進に層一層努力することになつた、即ち帝燃の當初の石油増産七々年計

畫は重油、ガソリン各百萬トン合計二百萬トンの生産を目標にしたものであるが、その後の國際情勢の發展は總額に於いて約三百七十萬トン（ガソリン、重油各半額）の生産に計畫を増大させるに至つたのであつて、石油資源開發法は、試掘助成金の増額、一、石油業者の石油資源開發事業計畫の政府への提出、一、有價石油地質調査の強制命令を發し得ること等を制定し、これが助成金として十三年度は百七十二萬圓の計上を見るに至つた

アルコール強制混用

一方この増産計畫に對して前年一第七十議會に於いて樹立された「揮發油及アルコール混用法遂行令」一及「同施行規則」を轉令せしめるに至り、次いで前年末政府は消費節約運動の一環として揮發油および工場用重油に對する消費節約の方針を決定せるに従ひ自ら意を示しつゝ民間業者の協力を求めつゝあつたが、本年に入りなほ之が實現を高めんため一割五分—二割の消費節約の爲めに配給限制に乘出し有名なる切符制の實施は殊に「揮發油及重油販賣取締規則」となり、五月一日を期して斷行されるに至り、これと同時に政府にあつてはこの消費規定に對應するべく本年度の石油販賣割當を決定したのである、この販賣割當數の特效は、一、昨年度に比して相當數種の削減を行はれたこと、二、人造石油は本割當數以外とすること、三、揮發油はアルコールを混入せるものを含むことである、しかしこれら石油消費制限政策も決して安々然に進行してゐるのではなく、これが産業界に於ける影響は重大なるものがあり就中重油は工業の主要燃料であり、揮發油は原材料および製品供給の整備品である爲にこれが配給適當に維持の難産を生じ、數々の實民懇談會等は一時は可成りにその成行を憂慮されるに至らした程である、爲に石油聯合會にあつては政府の諸方策の圓滑なる遂行に協力すべくかねてよりの懸案たる石油の計画的配給限制を一氣に斷行することとなつた、同案の要項は